
まちづくり（市民アンケート）調査報告書

平成 30 年 11 月
小 牧 市

まちづくり(市民アンケート)調査報告書

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の要旨	3
III	調査の結果	6
1	回答者の属性【問 1～9】	6
2	まちの住みやすさ、今後の定住意向【問 10～13】	9
(1)	まちの住みやすさ	9
(2)	今後の定住意向	11
(3)	今後も暮らしたい理由、暮らしたいとは思わない理由	13
3	市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度【問 14～43】	18
	今後より充実を図るべき取組	
(1)	安全・環境	20
(2)	保健・福祉	30
(3)	教育・子育て	42
(4)	文化・スポーツ	48
(5)	産業・交流	56
(6)	都市基盤	62
(7)	その他	78
	資料編 (アンケート調査票)	

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 31（2019）～38（2026）年度を計画期間として、市政全般に関わるまちづくりの指針をなすもので、小牧市が目指すまちづくりの方向性やそれを実現するための施策等を定める「小牧市まちづくり推進計画」の策定にあたっての重要な基礎資料として活用するため、小牧市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度や、今後より充実を図るべき取組等に対する市民の意向を把握することを目的に実施したものです。

2 調査の実施方法・期間

（1）調査の対象者

小牧市に住民登録している満 18 歳以上の市民の中から、無作為抽出した 6,000 人

（2）調査の実施方法

郵送による調査票の配布・回収

（3）調査の実施期間

平成 30（2018）年 5 月 31 日（木）～6 月 15 日（金）

（4）回収状況

回収数 3,112 票、回収率 51.9%

3 質問の構成

【問 1～9】回答者の属性

【問 10～13】まちの住みやすさ、今後の定住意向

【問 14～43】市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度、今後より充実を図るべき取組

【その他】市政全般に対する自由意見

4 報告書を読む際の注意事項

（1）集計方法

- 回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、性別や年代等の属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。
- 年代別のクロス集計のうち、10 歳代（18・19 歳）は回答者数が少ないため、本集計の結果が小牧市における当該年代の傾向とは、必ずしも合致しない場合があります。

(2) 集計結果の端数処理

- 回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、個別に積上げたパーセントの合計が100%にならない場合や、内訳の合計が表示されている値と一致しない場合があります。
- 回答比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。（※複数回答を除く）

(3) 集計結果の補正

- 一般に年代を特定せず広く住民を対象に実施するアンケート調査では、年代別の回収率にバラつきが生じ、集計結果には回収率の高い年代の意向が色濃く反映されます。
- 本調査では、回収率の低い年代の意向も適正に反映できるよう、問14～43の「市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度」及び「今後より充実を図るべき取組」では、対象者を抽出した際の住民基本台帳の年代別人口構成比に基づき、回答結果を補正しています。具体的な補正方法は、以下に示す通りです。

- ①対象者抽出時の住民基本台帳に基づき、年代別人口構成比を算出
- ②本調査の「問2 あなたの年齢」の回答結果に基づく、年代別人口構成比を算出
- ③上記①を②で除した年代別補正係数を算出

表－1 年代別補正係数

年代	人口構成比(%)		③補正係数 (①/②)
	①住民基本 台帳人口	②回答結果	
18・19歳	2.7	1.2	2.24
20歳代	13.8	7.2	1.92
30歳代	14.5	12.0	1.21
40歳代	19.6	16.5	1.19
50歳代	14.4	15.0	0.96
60歳代	14.4	19.8	0.73
70歳以上	20.6	28.3	0.73

- ④各質問における年代別の回答実数に、上記③で算出した年代別補正係数を乗じて年代別の回答実数を補正
- ⑤上記④で補正した年代別の回答実数を全年代で合計

(4) その他

- 一般的に母集団が2万人以上の場合、統計上は無限母集団として捉えるため、2,000人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映しているといわれています。本調査は2万人以上の無限母集団であり、対象者数6,000人（回収数3,112人）は、統計上有効な数値であると考えられます。
- 本文及び図表において、回答選択肢の表記が長いものに関しては、適宜、表記を一部簡略化しています。

Ⅱ 調査結果の要旨

◆まちの住みやすさ、今後の定住意向

- 「まちの住みやすさ」では、「住みよい (31.5%) 」と「どちらかといえば住みよい (54.0%) 」を合わせた「住みよい」が 85.5%を占め、前々回調査 (平成 18 年度) の 75.9%を 9.6 ポイント、前回調査 (平成 24 年度) の 82.9%を 2.6 ポイント、いずれも上回っています。
- 「今後の定住意向」では、「今後も暮らしたい」が 84.5%に上っており、前々回調査 (平成 18 年度) の 76.5%を 8.0 ポイント、前回調査 (平成 24 年度) の 79.0%と 5.5 ポイント、いずれも上回っています。
- 今後も暮らしたい理由では、「自然災害の危険性が低い」が 50.7%で最も高く、以下、「日頃の買い物や外食が便利」の 34.0%、「愛着があるから」の 31.9%の順、また、暮らしたいとは思わない理由では、「交通が不便」が 72.4%で突出しているなど、前回調査 (平成 24 年度) と同様の傾向となっています。

◆市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度、今後より充実を図るべき取組

(1) 安全・環境【P20~29】

- 満足度について、「防災」では、20 歳代及び 30 歳代の約 4 分の 1 が「わからない・そもそも関心がない」と回答しているほか、「消防・救急」では、いずれの年代も「満足・まあ満足 (30.0~51.1%) 」が「やや不満・不満 (2.2~5.9%) 」を大きく上回っています。
- 今後より充実を図るべき取組について、「生活安全」では「区や商店街による防犯カメラ等の設置への支援」の回答数が 1,525 件と最も多くなっています。
- 「ごみ対策」では、「転入者や外国人市民へのごみの分別方法の周知」「ごみ集積場への適正管理への支援」の回答数がともに多くなっています。

(2) 保健・福祉【P30~41】

- 満足度について、「健康づくり」では、いずれの年代も「満足・まあ満足 (22.8~45.9%) 」が「やや不満・不満 (5.7~10.8%) 」を大きく上回っています。また、「地域医療」では、40・50・60 歳代で「やや不満・不満 (13.1~15.9%) 」が比較的高くなっているほか、「高齢者福祉」では、70 歳以上の「満足・まあ満足 (26.7%) 」が他の年代に比べて高くなっています。
- 今後より充実を図るべき取組について、「地域医療」では、「市民病院と他の病院・診療所との連携」「市民が病院を選べる情報提供体制」「休日急病診療体制の整備」の回答数がいずれも多くなっています。

- 「高齢者福祉」では、「高齢者が社会参加（ボランティア、生涯学習など）しやすい環境の整備」「高齢者の見守り体制の強化」「高齢者の就労の場（機会）の確保」の回答数がいずれも多くなっています。
- 「保険・福祉医療」では、「障がいのある人や母子家庭、ひとり暮らし高齢者の医療費の助成」「介護施設の整備」の回答数がともに多くなっています。

（3）教育・子育て【P42～47】

- 満足度について、「学校教育」では、40歳代以下で「満足・まあ満足（24.7～29.7%）」が「やや不満・不満（9.4～16.2%）」を大きく上回っています。また、「子育て支援」では、30・40歳代の「満足・まあ満足」がそれぞれ34.9%、31.1%で他の年代に比べて高くなっています。
- 今後より充実を図るべき取組について、「学校教育」では、「いじめ・不登校対策」「通学路の安全対策の推進」の回答数がいずれも多くなっています。
- 「子育て支援」では、「児童虐待の防止への取り組み」の回答数が多くなっています。

（4）文化・スポーツ【P48～55】

- 満足度について、「スポーツ」では、40歳代以下で「満足・まあ満足（21.2～35.1%）」が「やや不満・不満（6.5～10.8%）」を大きく上回っています。また、「文化振興」「生涯学習」では、概ねいずれの年代も「やや不満・不満」が10%未満となっています。
- 今後より充実を図るべき取組について、「生涯学習」では、「図書館での多種多様な資料の提供」「生涯学習活動への参加機会の確保」の回答数がともに多くなっています。

（5）産業・交流【P56～61】

- 満足度について、「シティプロモーション」では、いずれの年代も「満足・まあ満足（6.4～16.2%）」が「やや不満・不満（12.0～25.8%）」を下回っています。
- 今後より充実を図るべき取組について、「シティプロモーション」では、「魅力あるイベントやまつりの開催」の回答数が1,417件と最も多くなっています。

（6）都市基盤【P62～77】

- 満足度について、「市街地整備」「都市交通」「道路」では、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を下回っています。
- 今後より充実を図るべき取組について、「市街地整備」では、「複数の交通手段が集結する都市の拠点における広場や道路の整備」の回答数が1,640件と最も多くなっています。
- 「都市交通」では、「「こまき巡回バス」のルート・ダイヤ・乗り継ぎ性の向上」の回答数が1,814件と最も多くなっています。
- 「道路」では、「照明等などの交通安全施設の整備」「通学路などの歩道の整備」の回答数がともに多くなっています。

(7) その他【P78~81】

- 満足度について、「行政サービス」「地域協働」では、概ねいずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を上回っています。
- 今後より充実を図るべき取組について、「行政サービス」では、「平日時間外や土日の窓口サービスの充実」の回答数が最も多くなっています。

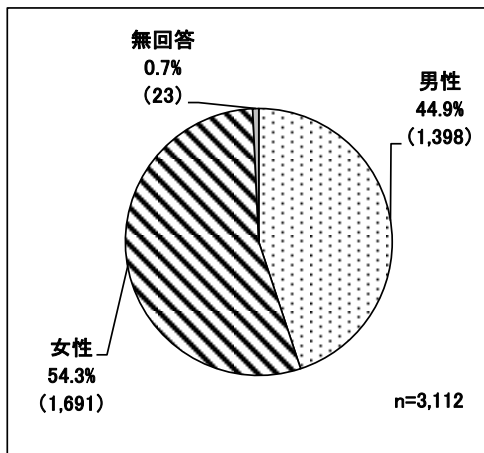
Ⅲ 調査の結果

1 回答者の属性【問1～9】

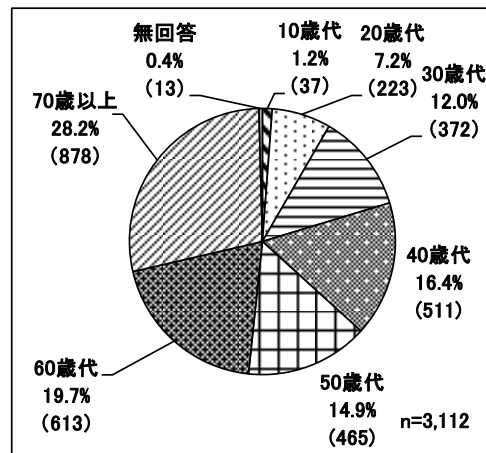
<概要>

○ 年齢では、「70歳以上」が28.2%で最も多く、「60歳代」が19.7%でこれに次いでおり、両者を合計した「60歳以上」が全体の47.9%を占めています。【図表3-1-2】

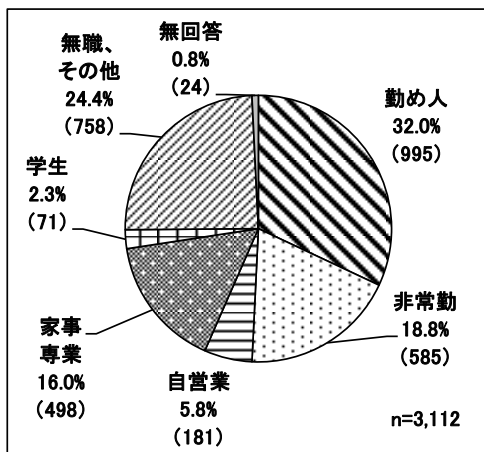
図表3-1-1 性別



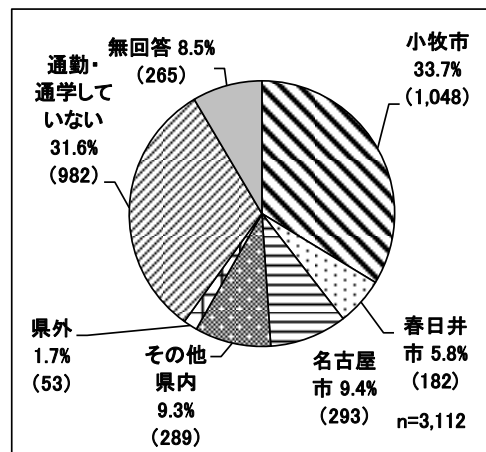
図表3-1-2 年代



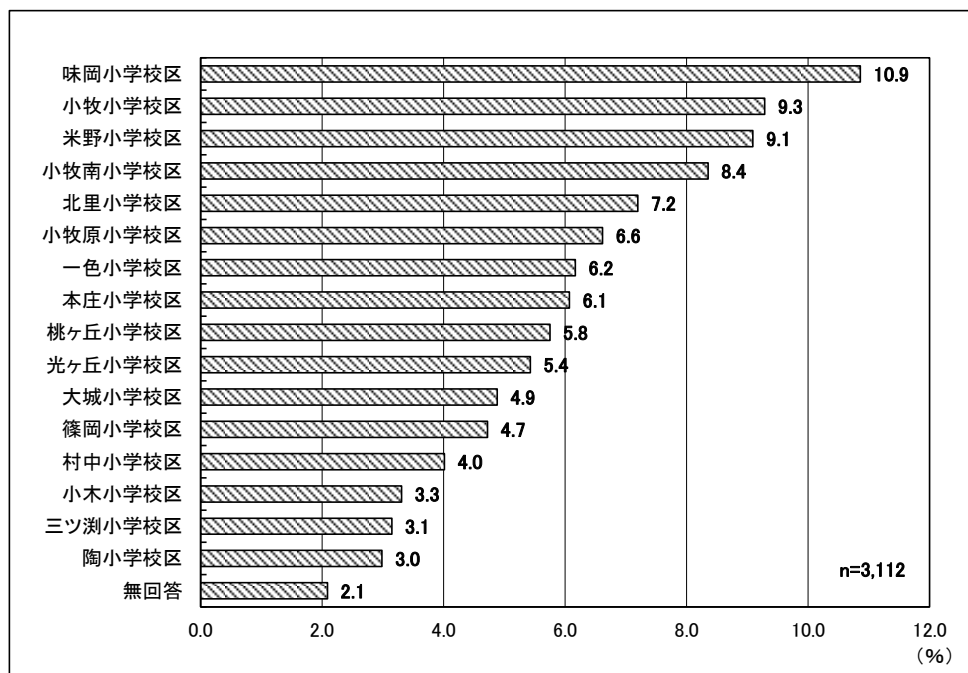
図表3-1-3 職業



図表3-1-4 通勤・通学先



図表 3-1-5 居住地区（小学校区）

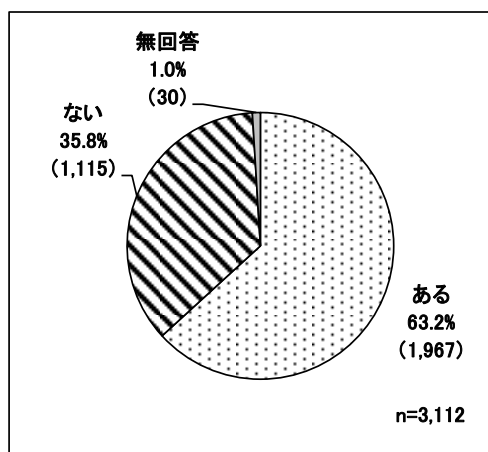


○ 市外から市内への引っ越し経験の有無では、「ある」が約6割を占め、そのうちの71.8%が「県内の他市町村から引っ越しをした」と回答しています。【図表3-1-6・7】

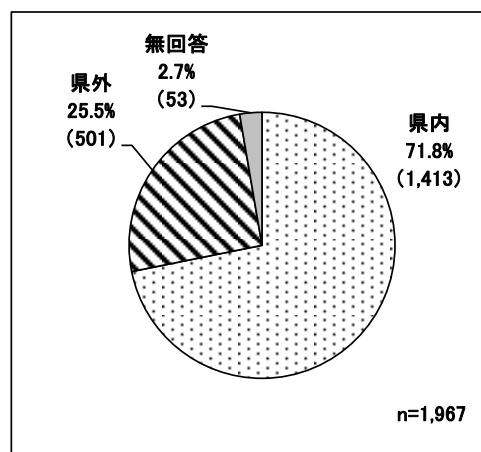
○ 市外から市内に引っ越しをした理由では、「転勤など仕事の事情」が23.9%で最も多く、以下、「市内に土地や家屋があるため」の22.1%、「結婚のため」の19.1%の順となっています。【図表3-1-8】

○ 市内の居住年数（通算）では、「20年以上」が72.0%で突出しており、「10年以上20年未満」が13.5%でこれに次いでいます。【図表3-1-9】

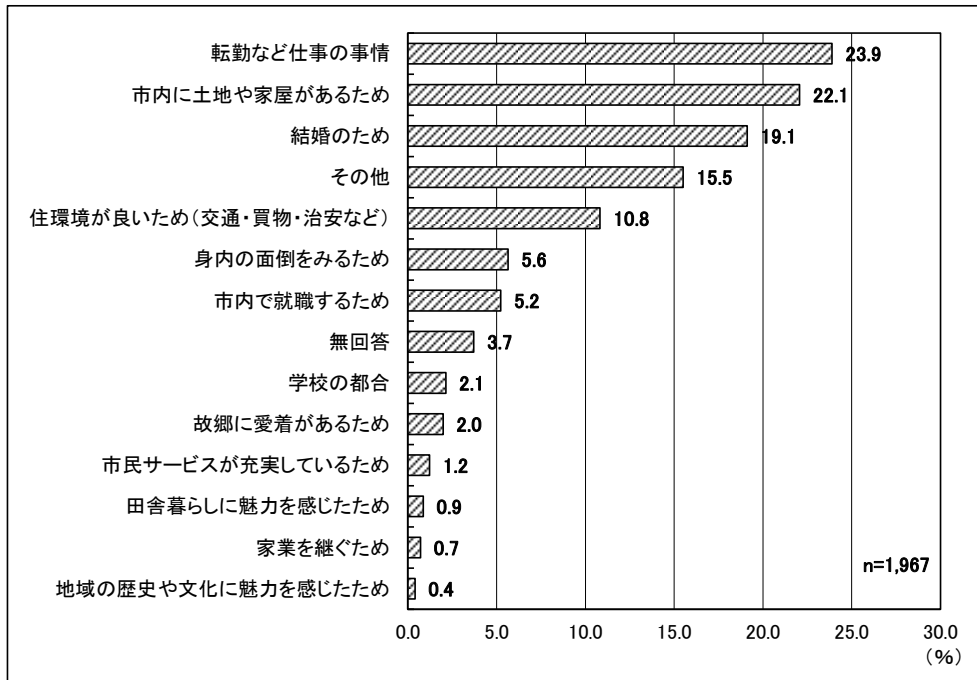
図表 3-1-6 市外からの引っ越し経験



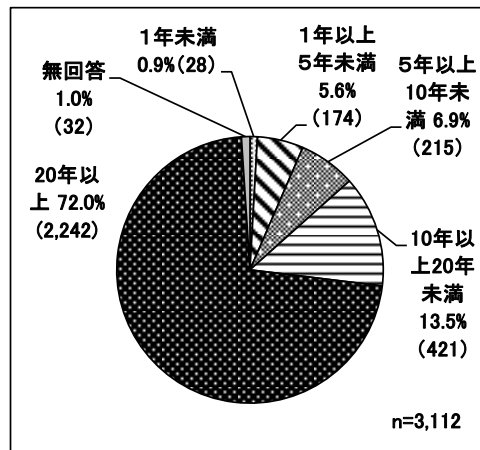
図表 3-1-7 引っ越し以前の居住先



図表 3-1-8 市外から市内に引っ越しをした理由（複数回答）



図表 3-1-9 居住年数（通算）



2 まちの住みやすさ、今後の定住意向【問 10～13】

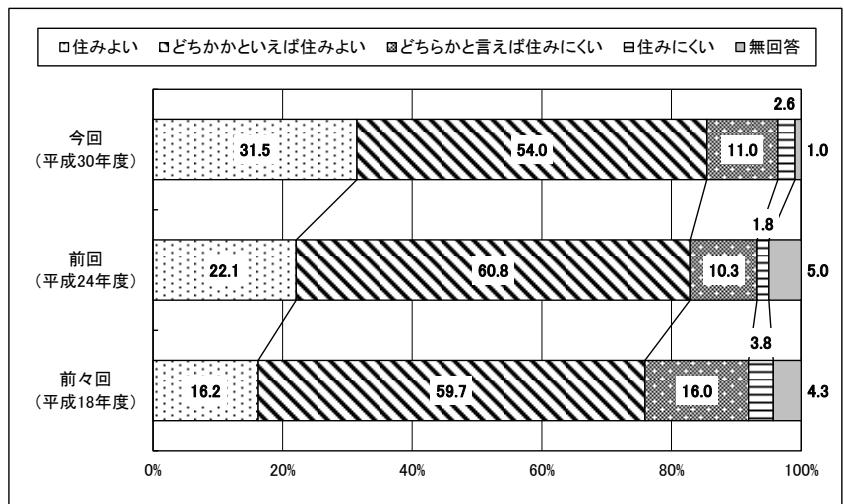
(1) まちの住みやすさ

問 10) あなたは、総合的にみて小牧市は住みよいまちだと思いますか。

－「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計が 85.5% を占め、
前々回の 75.9%、前回の 82.9% を上回る－

- 「住みよい」が 31.5%、「どちらかといえば住みよい」が 54.0%、両者を合わせた「住みよい」が 85.5% を占めています。両者を合わせた「住みよい」は、前々回調査（平成 18 年度）の 75.9% と比べて 9.6 ポイント、前回調査（平成 24 年度）の 82.9% と比べて 2.6 ポイント、いずれも増加しています。【図表 3-2-1】

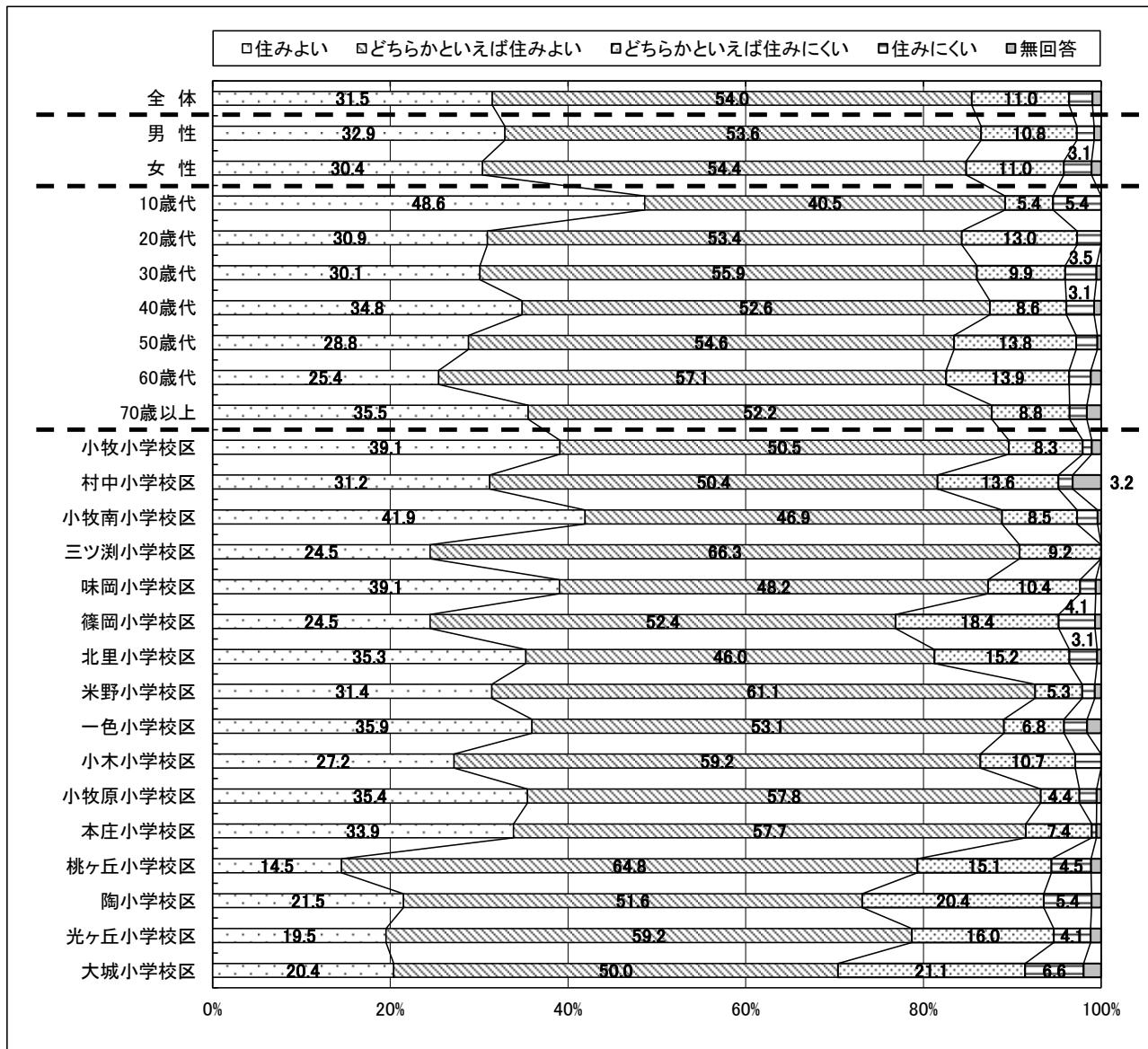
図表 3-2-1 総合的にみた小牧市の住みやすさ



- 年代別にみると、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた「住みよい」は、いずれの年代も 80% 台となっており、これらのうち 10 歳代 (89.1%)、30 歳代 (86.0%)、40 歳代 (87.4%) 及び 70 歳以上 (87.7%) では 85% を超えています。【図表 3-2-2】
- さらに、居住地区別にみると、三ツ瀨 (90.8%)、米野 (92.5%)、小牧原 (93.2%) 及び本庄 (91.6%) では 90% を超えている一方、篠岡 (76.9%)、桃ヶ丘 (79.3%)、陶 (73.1%)、光ヶ丘 (78.7%) 及び大城 (70.4%) では 70% 台にとどまっています。【同上】

図表 3-2-2 総合的にみた小牧市の住みやすさ

注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は非表示としている場合がある。(以下同様)



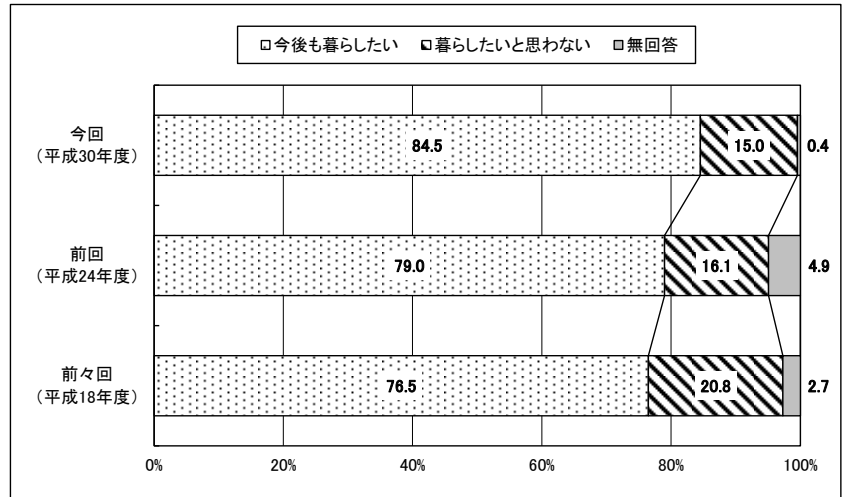
(2) 今後の定住意向

問 11) あなたは、今後も小牧市で暮らしたいと思いますか。

— 「今後も暮らしたい」が 84.5%を占め、前々回の 76.5%、前回の 79.0%を上回る—

○ 「今後も暮らしたい」が 84.5%に上っており、前々回調査(平成 18 年度)の 76.5%と比べて 8.0 ポイント増、前回調査(平成 24 年度)の 79.0%と比べて 5.5 ポイント増となっています。【図表 3-2-3】

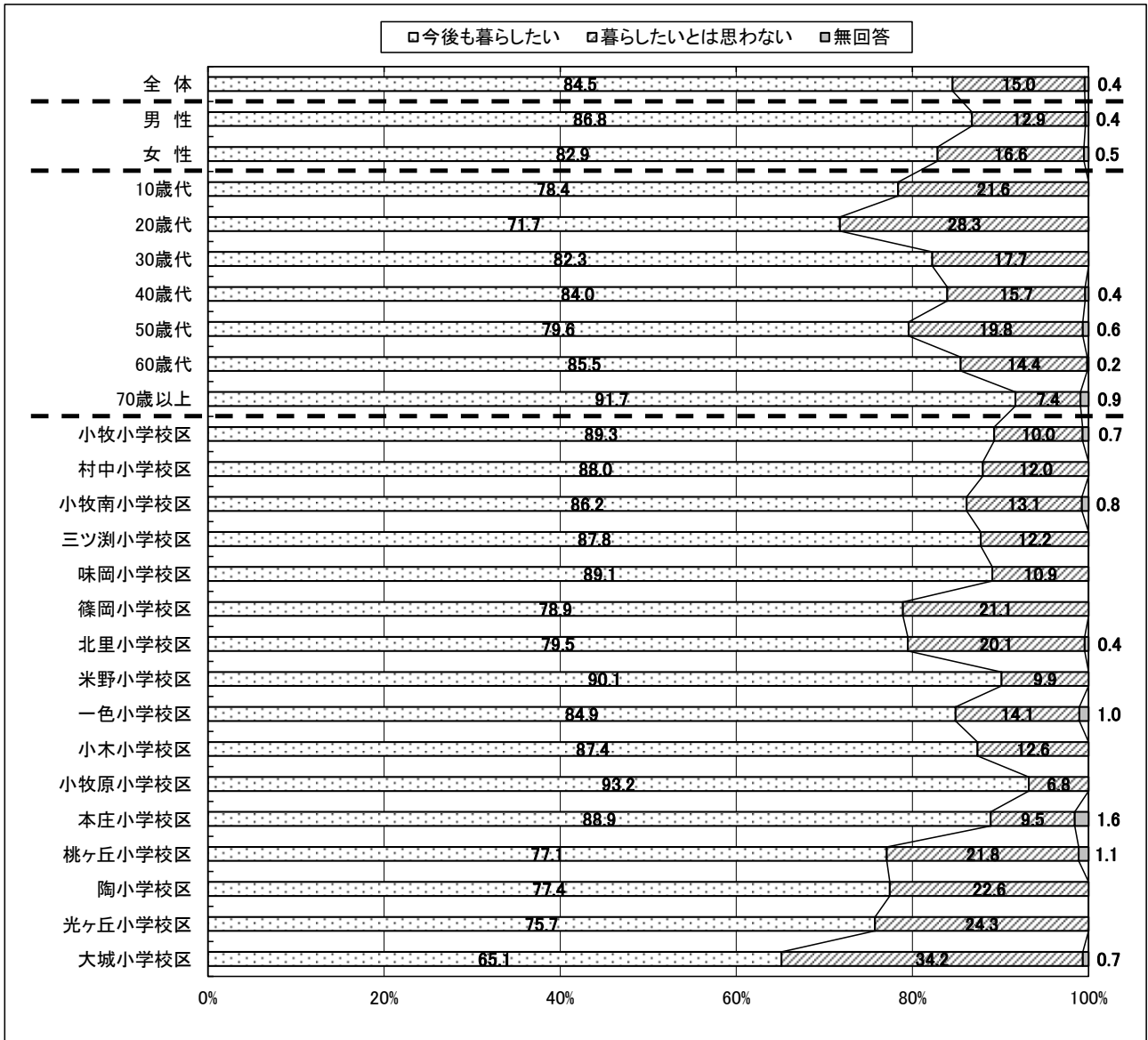
図表 3-2-3 今後の定住意向



○ 年代別にみると、「今後も暮らしたい」は、70 歳以上が 91.7%で突出しているほか、30 歳代 (82.3%)、40 歳代 (84.0%) 及び 60 歳代 (85.5%) で 80%台となっています。【図表 3-2-4】

○ 居住地区別にみると、「今後も暮らしたい」は、米野 (90.1%) と小牧原 (93.2%) では 90%台に上っている一方、大城では 65.1%にとどまっているなど、地区間で大きな差があります。【同上】

図表 3-2-4 今後の定住意向



(3) 今後も暮らしたい理由、暮らしたいとは思わない理由

問12) 問11で「1 今後も暮らしたい」を選んだ方にうかがいます。次の中からあてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

問13) 問11で「2 暮らしたいとは思わない」を選んだ方にうかがいます。その理由としてあてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

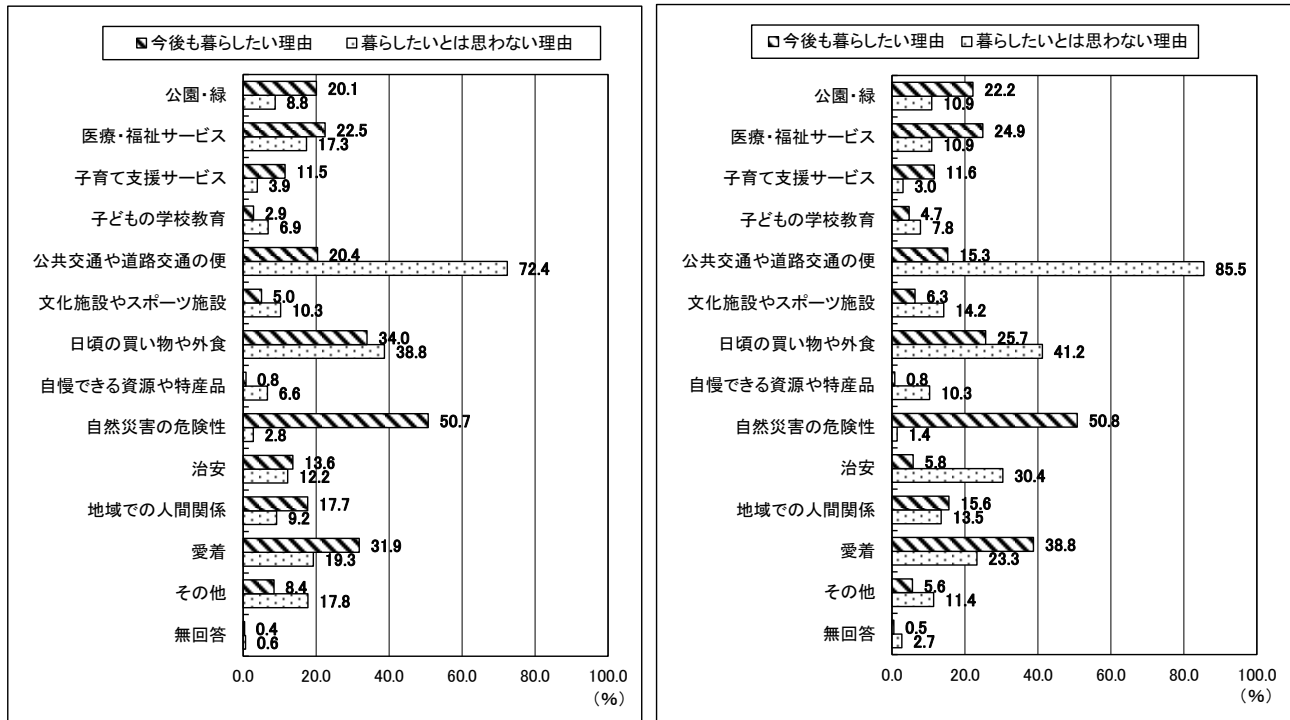
—今後も暮らしたい理由では「自然災害の危険性が低い」、
暮らしたいとは思わない理由では「交通が不便」が突出している—

○ 今後も暮らしたい理由では、「自然災害の危険性が低い」が50.7%で最も高く、以下、「日頃の買い物や外食が便利」の34.0%、「愛着があるから」の31.9%の順、また、暮らしたいとは思わない理由では、「交通が不便」が72.4%で突出しているなど、前回調査（平成24年度）と同様の傾向となっています。【図表3-2-5】

○ 年代別にみると、今後も暮らしたい理由で最も回答比率が高かったのは、20歳代で「愛着があるから」、30歳代で「子育て支援サービスが充実」、それ以外の年代ではいずれも「自然災害の危険性が低い」となっています。【図表3-2-6】

○ 一方、暮らしたいとは思わない理由では、性別、年代別及び居住地区別ともに、「交通が不便」が最も高くなっています。【図表3-2-7】

図表3-2-5 「今後も暮らしたい」「暮らしたいとは思わない」理由
(左図：今回調査（平成30年度）、右図：前回調査（平成24年度）)



図表3-2-6 「今後も暮らしたい」理由

(上段：回答者数、下段：回答比率(%))

注) 網掛けは、回答比率が最も高かった選択肢。(以下同様)

	回答者数	合計	気軽に憩える公園や緑が多いから	医療・福祉サービスが充実しているから	子育て支援サービスが充実しているから	子どもの学校教育に満足しているから	公共交通や道路交通の便が良いから	文化施設やスポーツ施設が多いから	日頃の買い物や外食が便利だから	自慢できる資源や特産品が多いから	自然災害の危険性が低いから	治安が良いから	
			()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
全体	2,631	6,310	529 (20.1)	591 (22.5)	303 (11.5)	75 (2.9)	537 (20.4)	132 (5.0)	894 (34.0)	20 (0.8)	1,335 (50.7)	359 (13.6)	
性別	男性	1,213	2,925	252 (20.8)	289 (23.8)	111 (9.2)	29 (2.4)	273 (22.5)	65 (5.4)	405 (33.4)	7 (0.6)	608 (50.1)	176 (14.5)
	女性	1,401	3,339	270 (19.3)	297 (21.2)	191 (13.6)	46 (3.3)	258 (18.4)	66 (4.7)	484 (34.5)	12 (0.9)	717 (51.2)	181 (12.9)
	無回答	17	46	7 (41.2)	5 (29.4)	1 (5.9)	0 (-)	6 (35.3)	1 (5.9)	5 (29.4)	1 (5.9)	10 (58.8)	2 (11.8)
年齢	10歳代	29	71	7 (24.1)	7 (24.1)	3 (10.3)	2 (6.9)	11 (37.9)	1 (3.4)	10 (34.5)	0 (-)	8 (27.6)	6 (20.7)
	20歳代	160	358	27 (16.9)	26 (16.3)	40 (25.0)	5 (3.1)	27 (16.9)	13 (8.1)	52 (32.5)	0 (-)	42 (26.3)	17 (10.6)
	30歳代	306	703	80 (26.1)	61 (19.9)	121 (39.5)	16 (5.2)	42 (13.7)	15 (4.9)	88 (28.8)	5 (1.6)	86 (28.1)	25 (8.2)
	40歳代	429	983	67 (15.6)	88 (20.5)	87 (20.3)	33 (7.7)	71 (16.6)	25 (5.8)	145 (33.8)	4 (0.9)	155 (36.1)	53 (12.4)
	50歳代	370	840	67 (18.1)	52 (14.1)	20 (5.4)	8 (2.2)	80 (21.6)	19 (5.1)	141 (38.1)	2 (0.5)	170 (45.9)	42 (11.4)
	60歳代	524	1,293	109 (20.8)	101 (19.3)	16 (3.1)	6 (1.1)	104 (19.8)	27 (5.2)	193 (36.8)	3 (0.6)	323 (61.6)	83 (15.8)
	70歳以上	805	2,041	168 (20.9)	254 (31.6)	15 (1.9)	5 (0.6)	202 (25.1)	31 (3.9)	263 (32.7)	5 (0.6)	549 (68.2)	132 (16.4)
	無回答	8	21	4 (50.0)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (-)	0 (-)	1 (12.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	1 (25.0)	1 (12.5)
住まいの小学校区	小牧小学校区	258	624	42 (16.3)	54 (20.9)	34 (13.2)	9 (3.5)	83 (32.2)	6 (2.3)	107 (41.5)	1 (0.4)	132 (51.2)	37 (14.3)
	村中小小学校区	110	251	16 (14.5)	24 (21.8)	7 (6.4)	0 (-)	16 (14.5)	7 (6.4)	38 (34.5)	3 (2.7)	61 (55.5)	13 (11.8)
	小牧南小学校区	224	572	40 (17.9)	57 (25.4)	32 (14.3)	6 (2.7)	61 (27.2)	16 (7.1)	115 (51.3)	2 (0.9)	103 (46.0)	28 (12.5)
	三ツ淵小学校区	86	193	6 (7.0)	18 (20.9)	9 (10.5)	4 (4.7)	13 (15.1)	2 (2.3)	25 (29.1)	0 (-)	38 (44.2)	15 (17.4)
	味岡小学校区	301	733	39 (13.0)	73 (24.3)	50 (16.6)	6 (2.0)	83 (27.6)	22 (7.3)	114 (37.9)	1 (0.3)	152 (50.5)	33 (11.0)
	篠岡小学校区	116	270	40 (34.5)	29 (25.0)	9 (7.8)	3 (2.6)	12 (10.3)	5 (4.3)	24 (20.7)	2 (1.7)	57 (49.1)	18 (15.5)
	北里小学校区	178	406	17 (9.6)	39 (21.9)	21 (11.8)	4 (2.2)	31 (17.4)	3 (1.7)	47 (26.4)	0 (-)	87 (48.9)	33 (18.5)
	米野小学校区	255	604	27 (10.6)	60 (23.5)	32 (12.5)	11 (4.3)	68 (26.7)	12 (4.7)	106 (41.6)	0 (-)	124 (48.6)	24 (9.4)
	一色小学校区	163	415	25 (15.3)	43 (26.4)	20 (12.3)	5 (3.1)	35 (21.5)	4 (2.5)	72 (44.2)	1 (0.6)	89 (54.6)	23 (14.1)
	小木小学校区	90	213	13 (14.4)	18 (20.0)	7 (7.8)	1 (1.1)	20 (22.2)	5 (5.6)	32 (35.6)	0 (-)	44 (48.9)	10 (11.1)
	小牧原小学校区	192	477	37 (19.3)	47 (24.5)	22 (11.5)	5 (2.6)	36 (18.8)	17 (8.9)	78 (40.6)	0 (-)	103 (53.6)	18 (9.4)
	本庄小学校区	168	399	25 (14.9)	40 (23.8)	20 (11.9)	5 (3.0)	30 (17.9)	9 (5.4)	49 (29.2)	1 (0.6)	88 (52.4)	16 (9.5)
	桃ヶ丘小学校区	138	335	69 (50.0)	23 (16.7)	10 (7.2)	3 (2.2)	11 (8.0)	7 (5.1)	29 (21.0)	2 (1.4)	81 (58.7)	24 (17.4)
	陶小学校区	72	158	13 (18.1)	11 (15.3)	12 (16.7)	2 (2.8)	7 (9.7)	3 (4.2)	15 (20.8)	1 (1.4)	35 (48.6)	12 (16.7)
	光ヶ丘小学校区	128	303	61 (47.7)	20 (15.6)	9 (7.0)	7 (5.5)	8 (6.3)	9 (7.0)	13 (10.2)	2 (1.6)	67 (52.3)	24 (18.8)
	大城小学校区	99	232	49 (49.5)	20 (20.2)	8 (8.1)	4 (4.0)	6 (6.1)	4 (4.0)	7 (7.1)	2 (2.0)	50 (50.5)	20 (20.2)
	無回答	53	125	10 (18.9)	15 (28.3)	1 (1.9)	0 (-)	17 (32.1)	1 (1.9)	23 (43.4)	2 (3.8)	24 (45.3)	11 (20.8)

地域での 人間関係 が良いか ら	愛着があ るから	その他	無回答
465 (17.7)	838 (31.9)	222 (8.4)	10 (0.4)
177 (14.6)	418 (34.5)	110 (9.1)	5 (0.4)
284 (20.3)	416 (29.7)	112 (8.0)	5 (0.4)
4 (23.5)	4 (23.5)	0 (-)	0 (-)
3 (10.3)	12 (41.4)	1 (3.4)	0 (-)
19 (11.9)	78 (48.8)	10 (6.3)	2 (1.3)
35 (11.4)	96 (31.4)	32 (10.5)	1 (0.3)
66 (15.4)	139 (32.4)	47 (11.0)	3 (0.7)
56 (15.1)	138 (37.3)	45 (12.2)	0 (-)
99 (18.9)	183 (34.9)	43 (8.2)	3 (0.6)
184 (22.9)	188 (23.4)	44 (5.5)	1 (0.1)
3 (37.5)	4 (50.0)	0 (-)	0 (-)
27 (10.5)	76 (29.5)	15 (5.8)	1 (0.4)
18 (16.4)	37 (33.6)	9 (8.2)	2 (1.8)
36 (16.1)	66 (29.5)	9 (4.0)	1 (0.4)
20 (23.3)	30 (34.9)	13 (15.1)	0 (-)
41 (13.6)	96 (31.9)	22 (7.3)	1 (0.3)
20 (17.2)	39 (33.6)	12 (10.3)	0 (-)
42 (23.6)	68 (38.2)	13 (7.3)	1 (0.6)
34 (13.3)	83 (32.5)	23 (9.0)	0 (-)
36 (22.1)	53 (32.5)	8 (4.9)	1 (0.6)
23 (25.6)	32 (35.6)	8 (8.9)	0 (-)
36 (18.8)	66 (34.4)	12 (6.3)	0 (-)
42 (25.0)	57 (33.9)	17 (10.1)	0 (-)
27 (19.6)	26 (18.8)	22 (15.9)	1 (0.7)
9 (12.5)	30 (41.7)	8 (11.1)	0 (-)
23 (18.0)	40 (31.3)	19 (14.8)	1 (0.8)
22 (22.2)	29 (29.3)	10 (10.1)	1 (1.0)
9 (17.0)	10 (18.9)	2 (3.8)	0 (-)

図表3-2-7 「暮らしたいとは思わない」理由
(上段：回答者数、下段：回答比率(%))

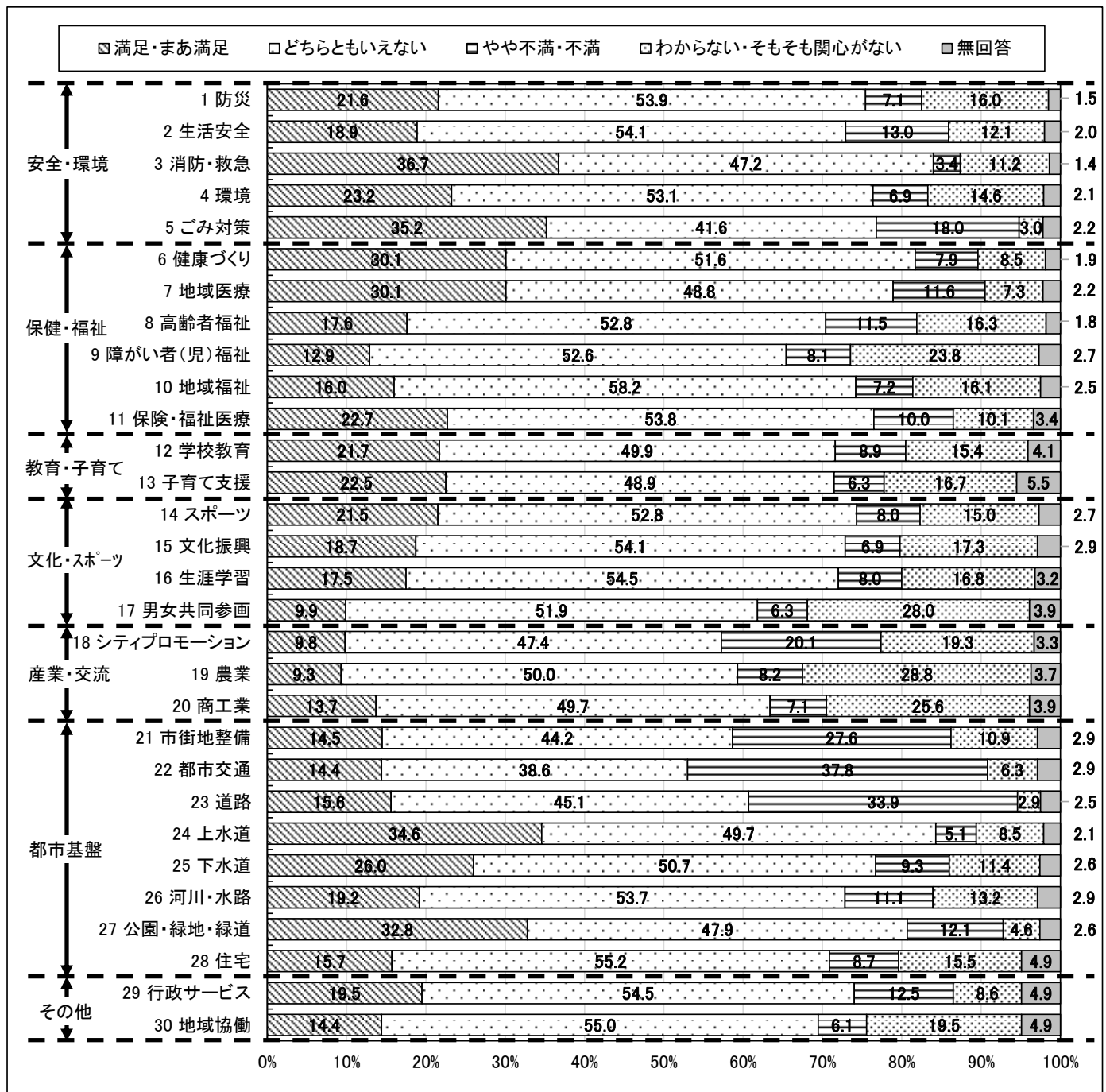
	回答者数	合計	気軽に憩える公園や緑が少 ないから	医療・福祉 サービスが不十分 だから	子育て支 援サービ スが不十分 だから	子どもの 学校教育 に不満が あるから	公共交通 や道路交 通が不便 だから	文化施設 やスポーツ 施設が少 ないから	日頃の買 い物や外 食が不便 だから	自慢できる 資源や特 産品が少 ないから	自然災害 の危険性 が高いか ら	治安が悪 いから
			()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
全体	467	1,059	41 (8.8)	81 (17.3)	18 (3.9)	32 (6.9)	338 (72.4)	48 (10.3)	181 (38.8)	31 (6.6)	13 (2.8)	57 (12.2)
性別	男性	180	18 (10.0)	35 (19.4)	7 (3.9)	10 (5.6)	119 (66.1)	21 (11.7)	63 (35.0)	14 (7.8)	3 (1.7)	24 (13.3)
	女性	281	23 (8.2)	45 (16.0)	11 (3.9)	22 (7.8)	214 (76.2)	27 (9.6)	114 (40.6)	17 (6.0)	9 (3.2)	31 (11.0)
	無回答	6	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)	0 (-)	5 (83.3)	0 (-)	4 (66.7)	0 (-)	1 (16.7)	2 (33.3)
年齢	10歳代	8	1 (12.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	4 (50.0)	0 (-)	5 (62.5)	1 (12.5)	0 (-)	2 (25.0)
	20歳代	63	2 (3.2)	5 (7.9)	2 (3.2)	3 (4.8)	49 (77.8)	4 (6.3)	19 (30.2)	4 (6.3)	0 (-)	6 (9.5)
	30歳代	66	11 (16.7)	10 (15.2)	5 (7.6)	4 (6.1)	46 (69.7)	6 (9.1)	23 (34.8)	5 (7.6)	1 (1.5)	12 (18.2)
	40歳代	80	6 (7.5)	8 (10.0)	5 (6.3)	16 (20.0)	54 (67.5)	9 (11.3)	32 (40.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	16 (20.0)
	50歳代	92	8 (8.7)	19 (20.7)	1 (1.1)	5 (5.4)	70 (76.1)	6 (6.5)	29 (31.5)	5 (5.4)	2 (2.2)	9 (9.8)
	60歳代	88	9 (10.2)	24 (27.3)	3 (3.4)	3 (3.4)	66 (75.0)	13 (14.8)	44 (50.0)	4 (4.5)	1 (1.1)	8 (9.1)
	70歳以上	65	4 (6.2)	15 (23.1)	2 (3.1)	1 (1.5)	45 (69.2)	10 (15.4)	26 (40.0)	11 (16.9)	7 (10.8)	2 (3.1)
	無回答	5	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	4 (80.0)	0 (-)	3 (60.0)	0 (-)	1 (20.0)	2 (40.0)
住まいの小学校区	小牧小学校区	29	1 (3.4)	8 (27.6)	2 (6.9)	3 (10.3)	19 (65.5)	4 (13.8)	8 (27.6)	1 (3.4)	1 (3.4)	6 (20.7)
	村中小小学校区	15	2 (13.3)	1 (6.7)	1 (6.7)	0 (-)	9 (60.0)	1 (6.7)	4 (26.7)	0 (-)	0 (-)	2 (13.3)
	小牧南小学校区	34	5 (14.7)	4 (11.8)	1 (2.9)	4 (11.8)	20 (58.8)	1 (2.9)	6 (17.6)	3 (8.8)	1 (2.9)	8 (23.5)
	三ツ淵小学校区	12	1 (8.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	0 (-)	8 (66.7)	2 (16.7)	4 (33.3)	2 (16.7)	0 (-)	2 (16.7)
	味岡小学校区	37	5 (13.5)	4 (10.8)	4 (10.8)	6 (16.2)	16 (43.2)	3 (8.1)	7 (18.9)	3 (8.1)	3 (8.1)	6 (16.2)
	篠岡小学校区	31	2 (6.5)	7 (22.6)	0 (-)	0 (-)	24 (77.4)	4 (12.9)	20 (64.5)	4 (12.9)	0 (-)	2 (6.5)
	北里小学校区	45	7 (15.6)	9 (20.0)	2 (4.4)	2 (4.4)	34 (75.6)	7 (15.6)	10 (22.2)	3 (6.7)	3 (6.7)	4 (8.9)
	米野小学校区	28	2 (7.1)	5 (17.9)	1 (3.6)	5 (17.9)	20 (71.4)	2 (7.1)	9 (32.1)	2 (7.1)	0 (-)	3 (10.7)
	一色小学校区	27	5 (18.5)	3 (11.1)	1 (3.7)	4 (14.8)	13 (48.1)	1 (3.7)	7 (25.9)	3 (11.1)	1 (3.7)	6 (22.2)
	小木小学校区	13	2 (15.4)	4 (30.8)	1 (7.7)	2 (15.4)	6 (46.2)	1 (7.7)	3 (23.1)	2 (15.4)	1 (7.7)	0 (-)
	小牧原小学校区	14	2 (14.3)	2 (14.3)	0 (-)	0 (-)	8 (57.1)	3 (21.4)	4 (28.6)	2 (14.3)	0 (-)	4 (28.6)
	本庄小学校区	18	3 (16.7)	1 (5.6)	0 (-)	1 (5.6)	13 (72.2)	3 (16.7)	9 (50.0)	0 (-)	2 (11.1)	0 (-)
	桃ヶ丘小学校区	39	1 (2.6)	8 (20.5)	1 (2.6)	4 (10.3)	34 (87.2)	4 (10.3)	23 (59.0)	3 (7.7)	0 (-)	2 (5.1)
	陶小学校区	21	2 (9.5)	3 (14.3)	1 (4.8)	0 (-)	19 (90.5)	2 (9.5)	7 (33.3)	0 (-)	0 (-)	4 (19.0)
	光ヶ丘小学校区	41	0 (-)	9 (22.0)	0 (-)	1 (2.4)	36 (87.8)	3 (7.3)	25 (61.0)	0 (-)	0 (-)	4 (9.8)
	大城小学校区	52	1 (1.9)	10 (19.2)	2 (3.8)	0 (-)	49 (94.2)	7 (13.5)	30 (57.7)	2 (3.8)	1 (1.9)	2 (3.8)
	無回答	11	26	0 (-)	1 (9.1)	0 (-)	0 (-)	10 (90.9)	0 (-)	5 (45.5)	1 (9.1)	0 (-)

地域での 人間関係 が悪いから	愛着がな いから	その他	無回答
43 (9.2)	90 (19.3)	83 (17.8)	3 (0.6)
16 (8.9)	38 (21.1)	36 (20.0)	1 (0.6)
27 (9.6)	50 (17.8)	46 (16.4)	2 (0.7)
0 (-)	2 (33.3)	1 (16.7)	0 (-)
0 (-)	1 (12.5)	2 (25.0)	0 (-)
0 (-)	14 (22.2)	15 (23.8)	1 (1.6)
4 (6.1)	11 (16.7)	11 (16.7)	0 (-)
6 (7.5)	16 (20.0)	12 (15.0)	0 (-)
6 (6.5)	16 (17.4)	18 (19.6)	0 (-)
11 (12.5)	19 (21.6)	14 (15.9)	0 (-)
16 (24.6)	11 (16.9)	10 (15.4)	2 (3.1)
0 (-)	2 (40.0)	1 (20.0)	0 (-)
3 (10.3)	7 (24.1)	8 (27.6)	0 (-)
0 (-)	3 (20.0)	6 (40.0)	0 (-)
4 (11.8)	12 (35.3)	6 (17.6)	1 (2.9)
1 (8.3)	3 (25.0)	3 (25.0)	0 (-)
5 (13.5)	7 (18.9)	12 (32.4)	0 (-)
3 (9.7)	4 (12.9)	2 (6.5)	0 (-)
6 (13.3)	8 (17.8)	10 (22.2)	0 (-)
4 (14.3)	4 (14.3)	6 (21.4)	0 (-)
6 (22.2)	5 (18.5)	7 (25.9)	0 (-)
2 (15.4)	3 (23.1)	3 (23.1)	0 (-)
1 (7.1)	1 (7.1)	4 (28.6)	0 (-)
1 (5.6)	4 (22.2)	5 (27.8)	1 (5.6)
3 (7.7)	5 (12.8)	1 (2.6)	0 (-)
0 (-)	3 (14.3)	2 (9.5)	0 (-)
4 (9.8)	9 (22.0)	5 (12.2)	0 (-)
0 (-)	6 (11.5)	3 (5.8)	0 (-)
0 (-)	6 (54.5)	0 (-)	1 (9.1)

市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度、今後より充実を図るべき取組【問 14～43】

本書P20以降では、「1 防災」から「30 地域協働」まで、現行の新基本計画（分野別計画編）に掲げられている30の基本施策ごとに、「これまで取り組んできた施策に対する満足度」について、年代別にどの程度差異があるのか、また、「今後より充実を図るべき取組」では、回答数が多かった取組を中心に記述しています。

図表3-3-1 基本施策に対する満足度の一覧



(1) 安全・環境

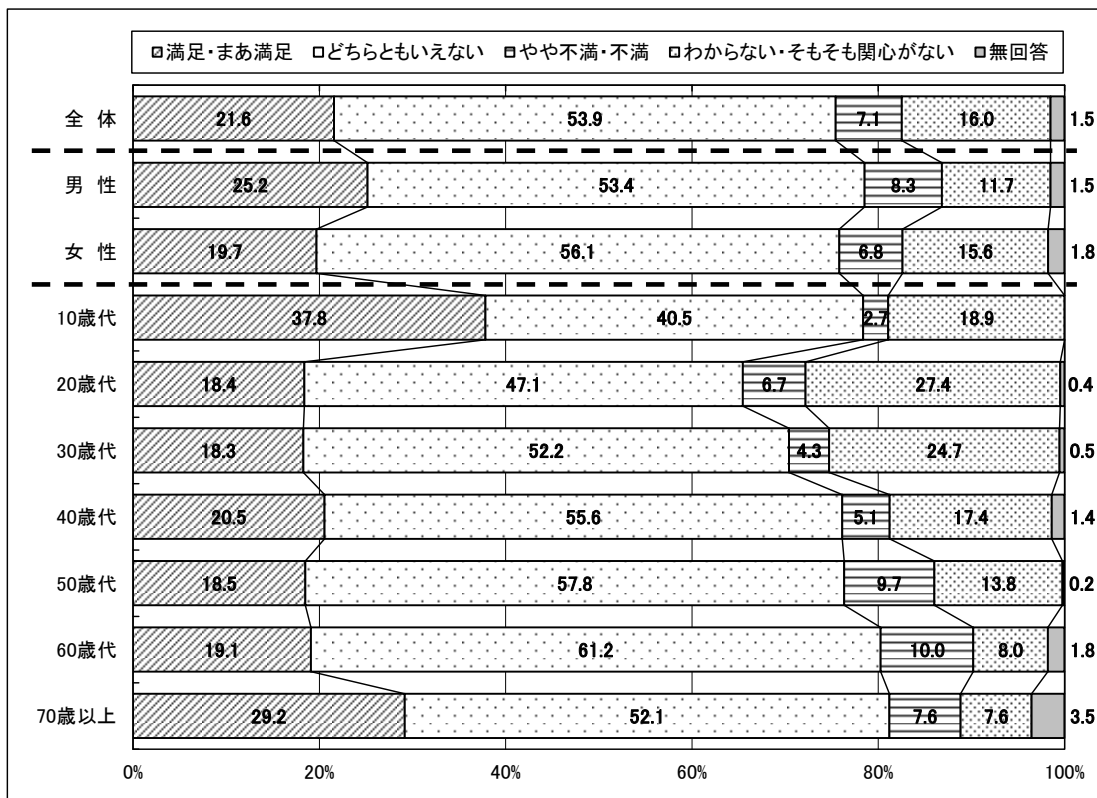
①防災

地域や学校など関係機関と連携した防災訓練や水防訓練、さまざまな機会を捉えた市民の防災意識の啓発、災害時に迅速に対応できる体制の強化などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 53.9%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 21.6%、「わからない・そもそも関心がない」の 16.0%の順であり、「やや不満・不満」は 7.1%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は、概ね年代が高くなるほど回答比率が上昇傾向にあります。また、「わからない・そもそも関心がない」は、20歳代及び30歳代がいずれも20%台と、他の年代に比べて回答比率が高くなっているのが目立ちます。

図表 3-3-2 「防災」に対する満足度



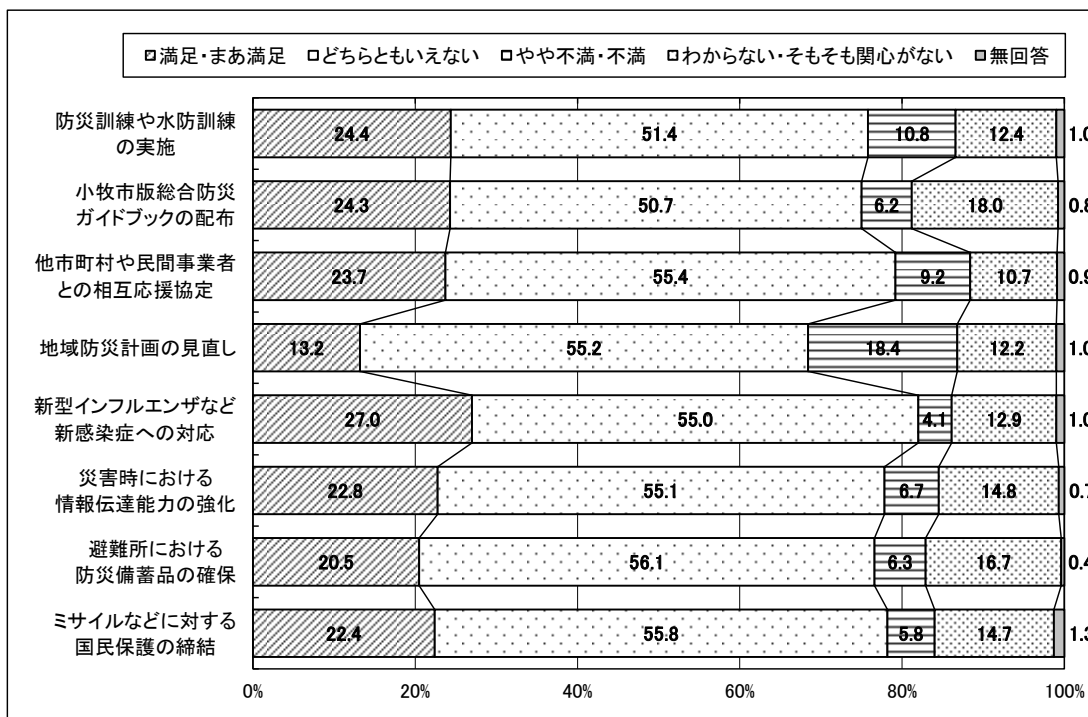
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「災害時における情報伝達能力の強化（1,592件）」が最も多く、「避難所における防災備蓄品の確保（1,136件）」がこれに次いで多くなっています。

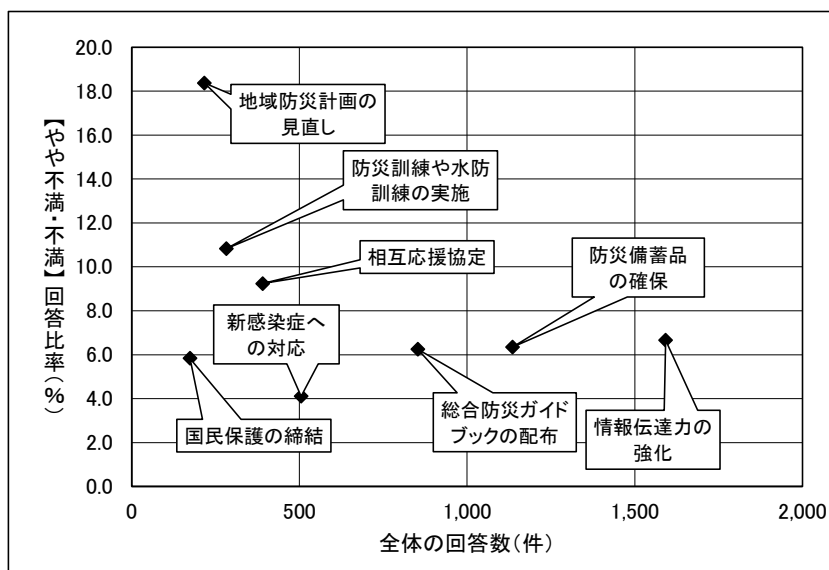
図表 3-3-3 今後より充実を図るべき取組の回答数（単位：件、以下同様）

回答数	防災訓練や水防訓練の実施	小牧市版総合防災ガイドブックの配布	他市町村や民間事業者との相互応援協定	地域防災計画の見直し	新型インフルエンザなど新感染症への対応	災害時における情報伝達能力の強化	避難所における防災備蓄品の確保	ミサイルなどに対する国民保護の締結	その他	無回答
5,337 (〇は2つまで)	282	853	391	217	505	1,592	1,136	174	93	93

図表 3-3-4 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-5 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



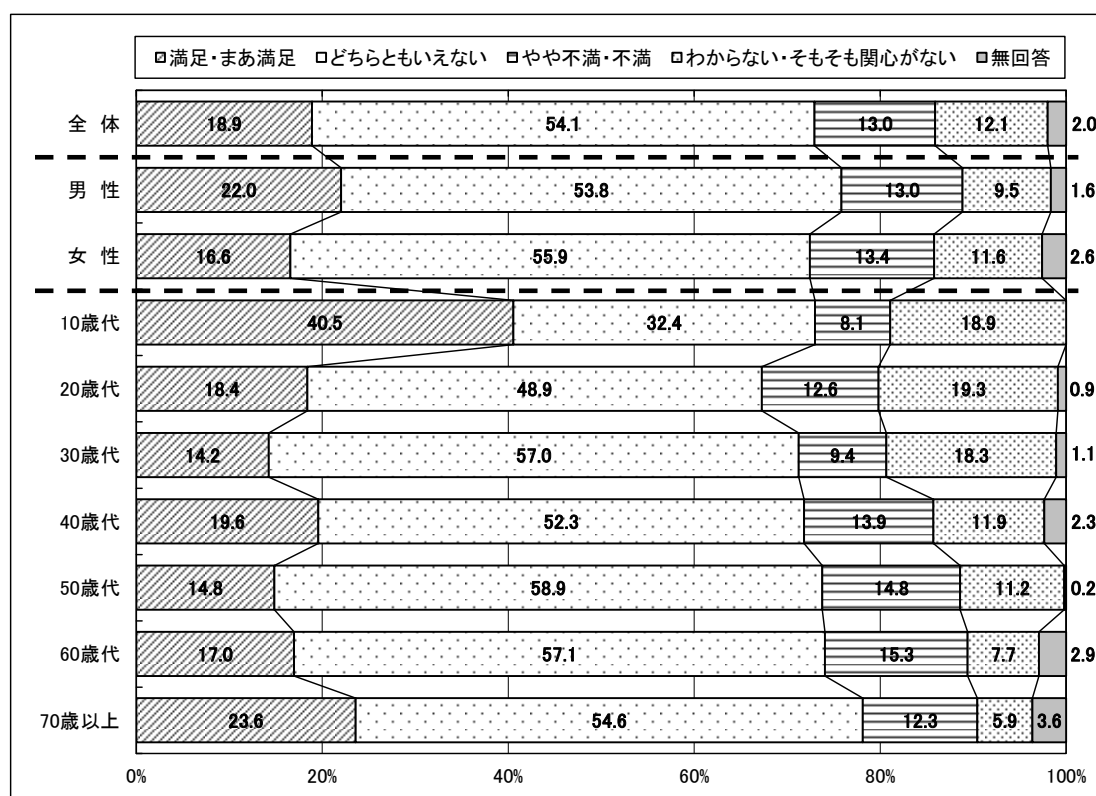
②生活安全

自主的な防犯活動に対する支援、安全に安心して共存できる交通環境の確保、市民が一人で不安や悩みを抱え込まないための相談体制の充実などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が54.1%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の18.9%、「やや不満・不満」の13.0%、「わからない・そもそも関心がない」の12.1%の順となっています。
- 年代別にみると、50歳代では「満足・まあ満足」と「やや不満・不満」が14.8%で同一の回答比率となっているほか、60歳代でも「満足・まあ満足」の17.0%に対し、「やや不満・不満」が15.3%と比較的きつ抗しています。
- 「わからない・そもそも関心がない」は、20歳代の19.3%に対し、70歳以上では5.9%にとどまっており、若い年代ほど回答比率が高い傾向にあります。

図表3-3-6 「生活安全」に対する満足度



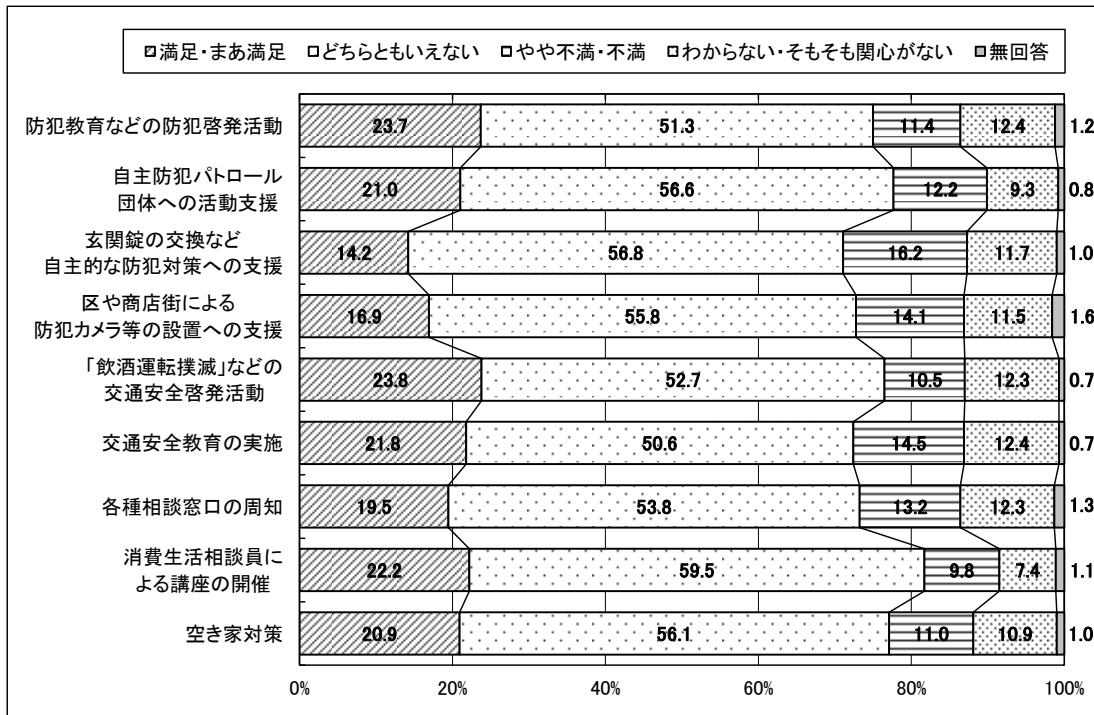
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「区や商店街による防犯カメラ等の設置への支援（1,525件）」が最も多くなっています。

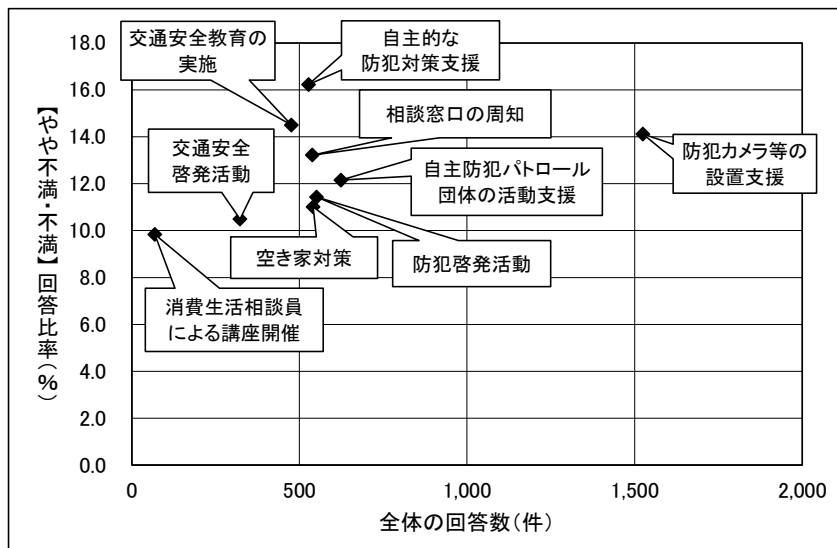
図表 3-3-7 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	防犯教育などの防犯啓発活動	自主防犯パトロール団体への活動支援	玄関錠の交換など自主的な防犯対策への支援	区や商店街による防犯カメラ等の設置への支援	「飲酒運転撲滅」などの交通安全啓発活動	交通安全教育の実施	各種相談窓口の周知	消費生活相談員による講座の開催	空き家対策	その他	無回答
5,379 (〇は2つまで)	552	624	527	1,525	323	476	539	69	541	119	85

図表 3-3-8 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-9 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



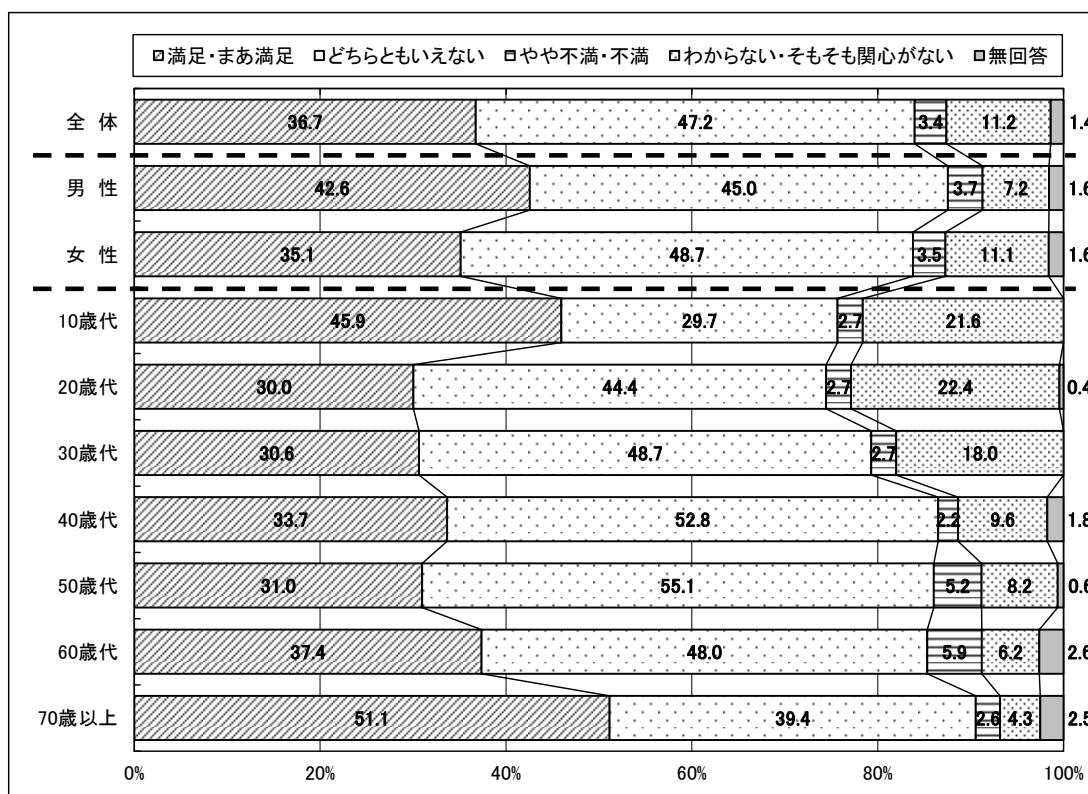
③消防・救急

市民の生命、身体および財産を災害や事故から守れるよう、消防・救急体制や火災予防対策の強化などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が47.2%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の36.7%、「わからない・そもそも関心がない」の11.2%の順であり、「やや不満・不満」は3.4%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は70歳以上が51.1%で突出しているほか、それ以外の年代でも「やや不満・不満」を大きく上回っているのが特徴的といえます。

図表3-3-10 「消防・救急」に対する満足度



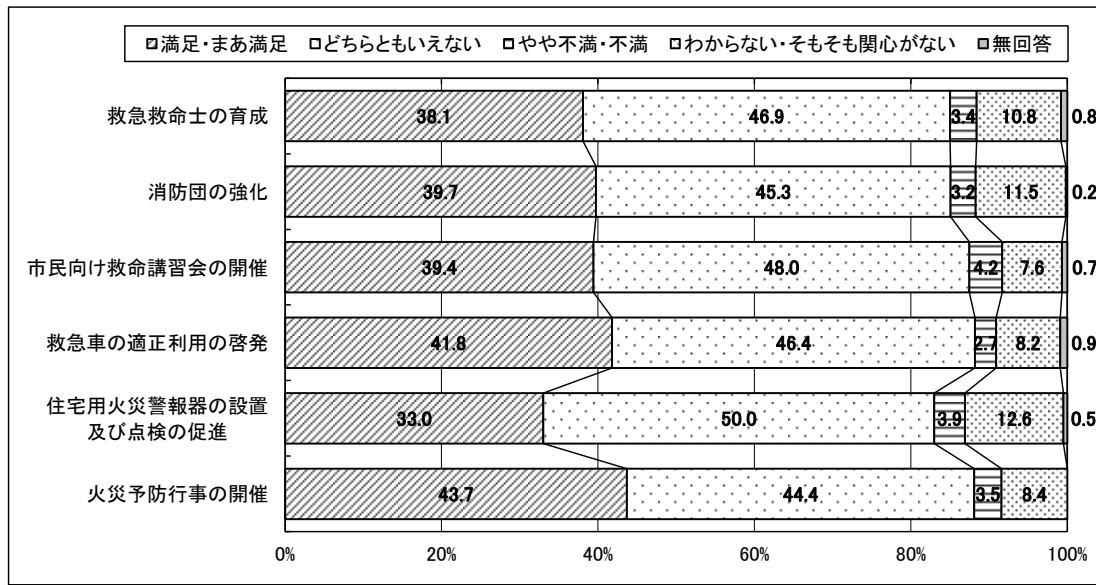
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「救急救命士の育成 (1,348件)」や「救急車の適正利用の啓発 (1,332件)」の回答数が多くなっています。

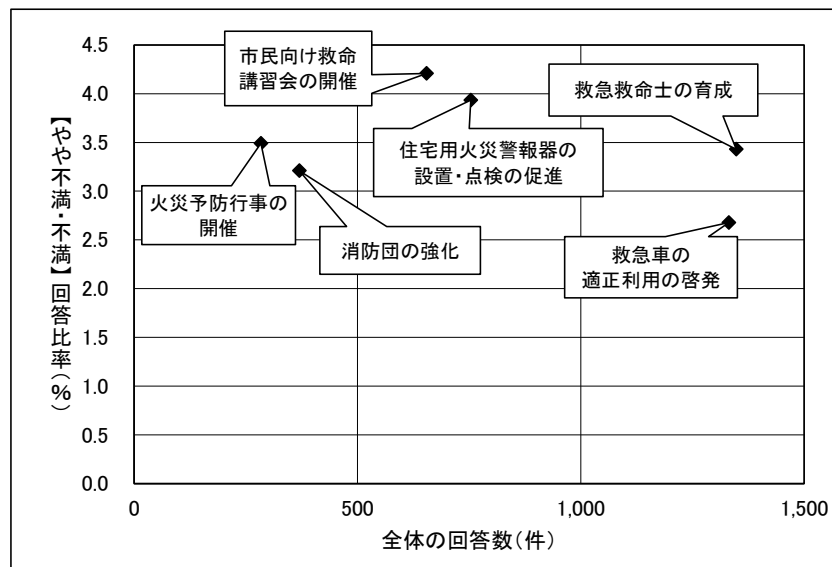
図表 3-3-11 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	救急救命士の育成	消防団の強化	市民向け救命講習会の開催	救急車の適正利用の啓発	住宅用火災警報器の設置及び点検の促進	火災予防行事の開催	その他	無回答
4,974 (〇は2つまで)	1,348	370	655	1,332	754	284	110	121

図表 3-3-12 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-13 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



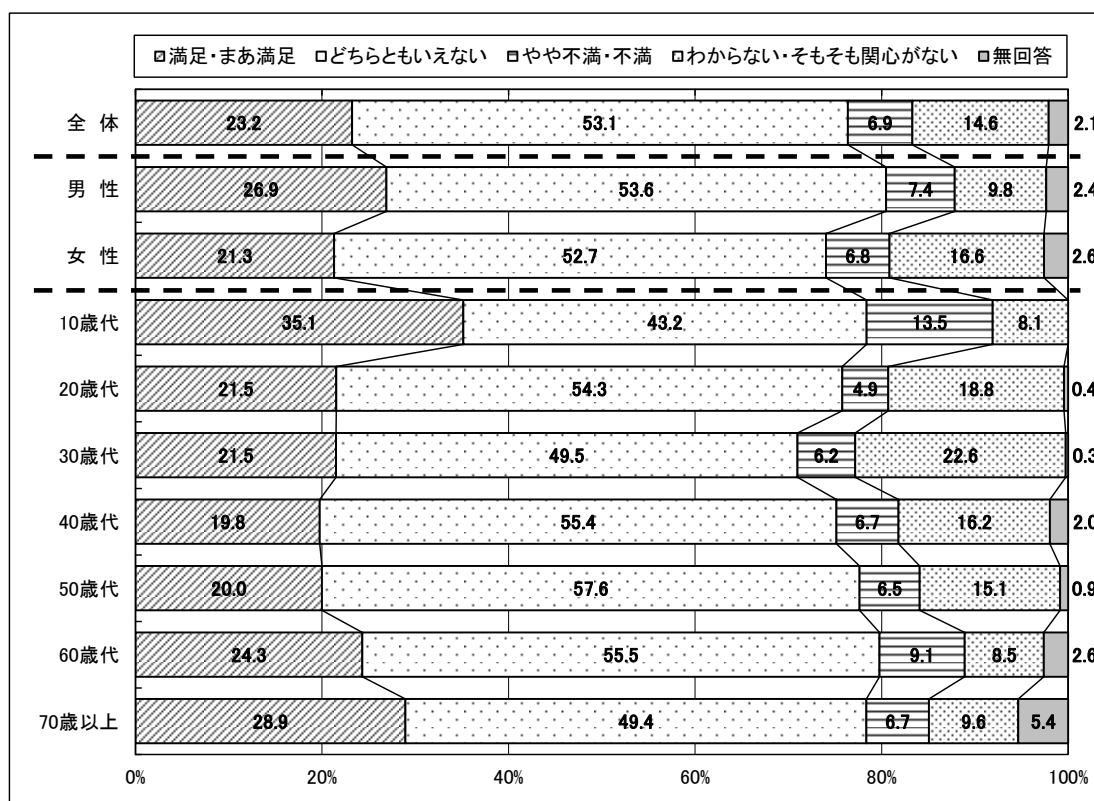
④環境

環境への負荷の少ない低炭素社会の実現、より多くの市民が身近な地域環境を良好な状態に保つための活動に主体的に取り組めるよう支援などを行っています。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 53.1% で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 23.2%、「わからない・そもそも関心がない」の 14.6% の順であり、「やや不満・不満」は 6.9% にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は 40 歳代の 19.8% を境として、年代が高いほど回答比率が上昇しています。また、「わからない・そもそも関心がない」は、30 歳代が 22.6% で他の年代に比べて高い回答比率となっています。

図表 3-3-14 「環境」に対する満足度



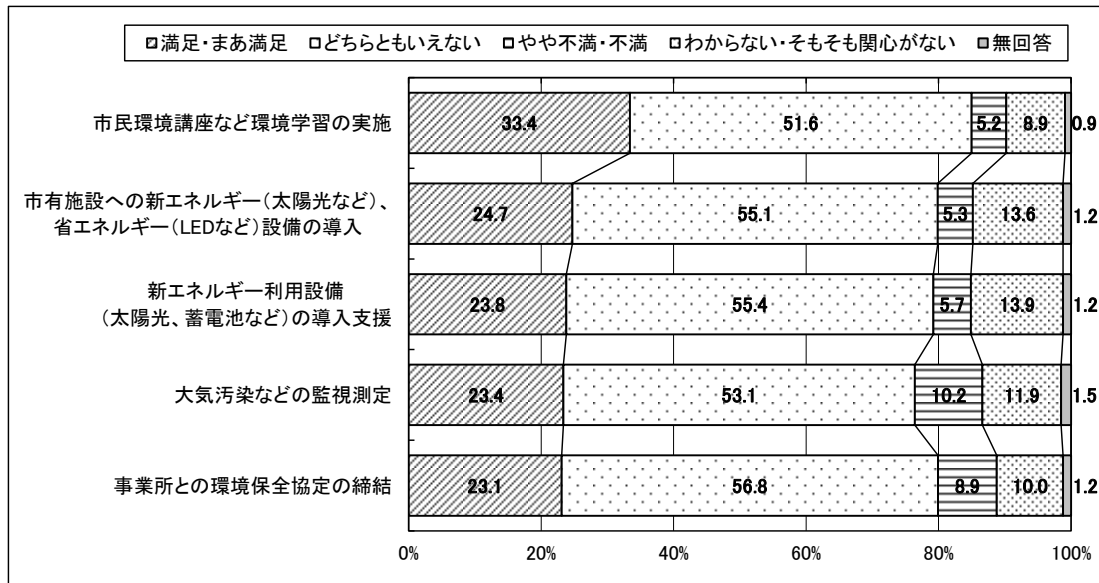
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「市有施設への新エネルギー（太陽光など）、省エネルギー（LED など）設備の導入（1,426 件）」や「新エネルギー利用設備（太陽光、蓄電池など）の導入支援（1,341 件）」の回答数が多くなっています。

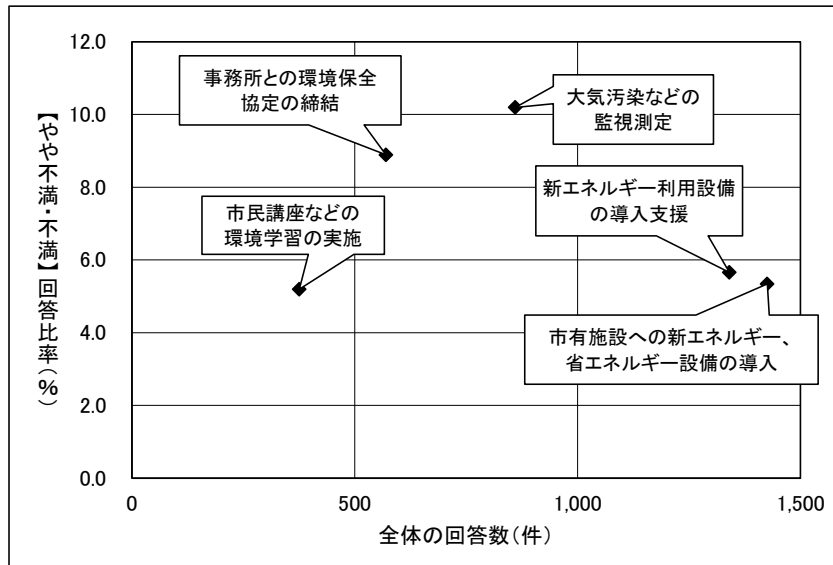
図表 3-3-15 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	市民環境講座など環境学習の実施	市有施設への新エネルギー(太陽光など)、省エネルギー(LEDなど)設備の導入	新エネルギー利用設備(太陽光、蓄電池など)の導入支援	大気汚染などの監視測定	事業所との環境保全協定の締結	その他	無回答
4,865 (〇は2つまで)	376	1,426	1,341	860	570	121	172

図表 3-3-16 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-17 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



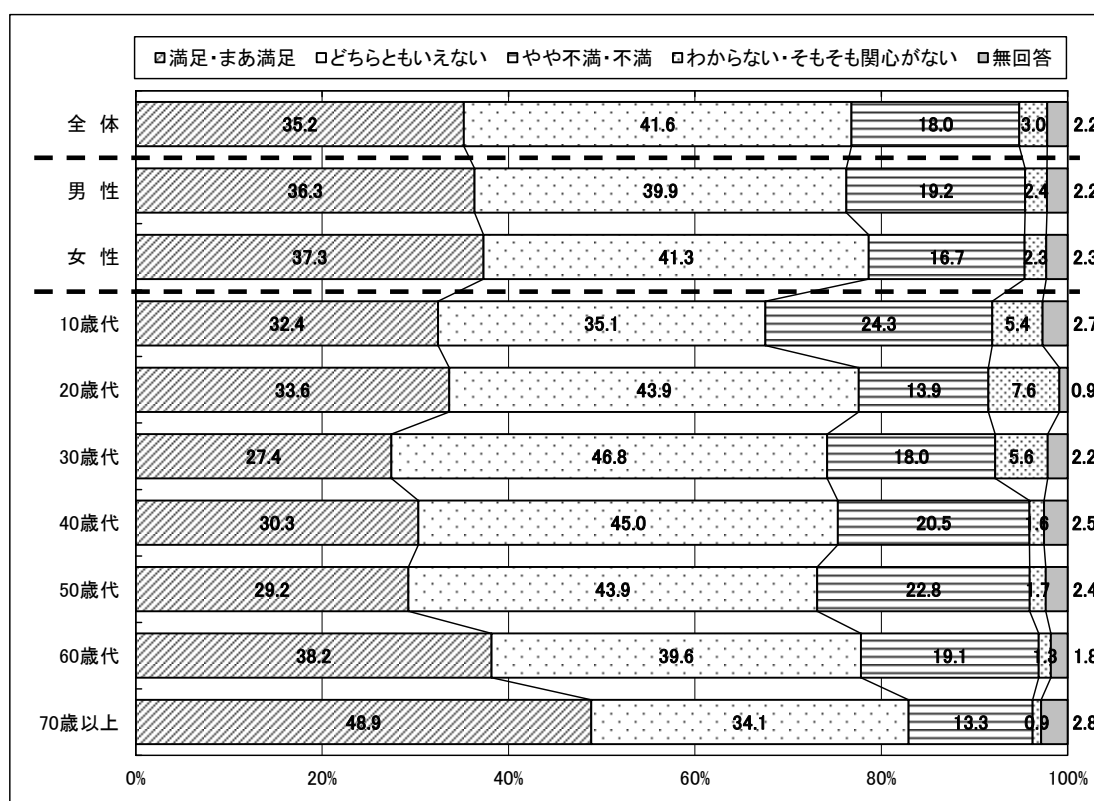
⑤ごみ対策

市民・事業者との適切な役割分担のもと、資源循環型社会の構築、ごみのポイ捨てなどがない快適で清潔な生活環境の確保などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が41.6%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の35.2%、「やや不満・不満」の18.0%の順であり、「わからない・そもそも関心がない」は3.0%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は30歳代の27.4%を境として、概ね年代が高くなるほど回答比率が上昇し、70歳以上では48.9%に上っています。また、「やや不満・不満」は、40歳代が20.5%、50歳代が22.8%と、他の年代に比べて高くなっています。

図表3-3-18 「ごみ対策」に対する満足度



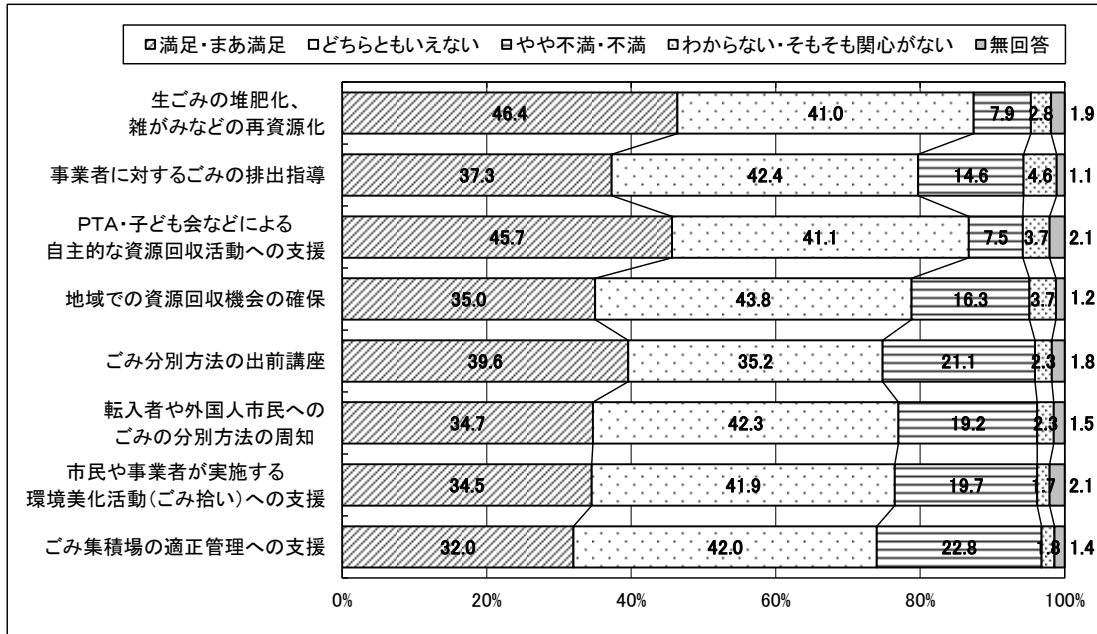
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「転入者や外国人市民へのごみの分別方法の周知（1,727件）」が最も多く、「ごみ集積場の適正管理への支援（1,011件）」がこれに次いで多くなっています。

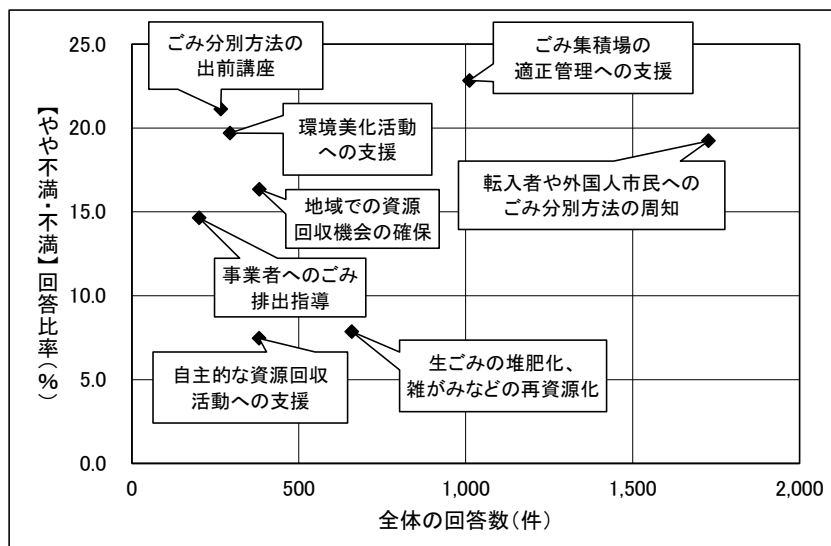
図表 3-3-19 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	生ごみの堆肥化、雑がみなどの再資源化	事業者に対するごみの排出指導	PTA・子ども会などによる自主的な資源回収活動への支援	地域での資源回収機会の確保	ごみ分別方法の出前講座	転入者や外国人市民へのごみの分別方法の周知	市民や事業者が実施する環境美化活動(ごみ拾い)への支援	ごみ集積場の適正管理への支援	その他	無回答
5,202 (〇は2つまで)	659	202	381	382	266	1,727	294	1,011	193	87

図表 3-3-20 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-21 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



(2) 保健・福祉

①健康づくり

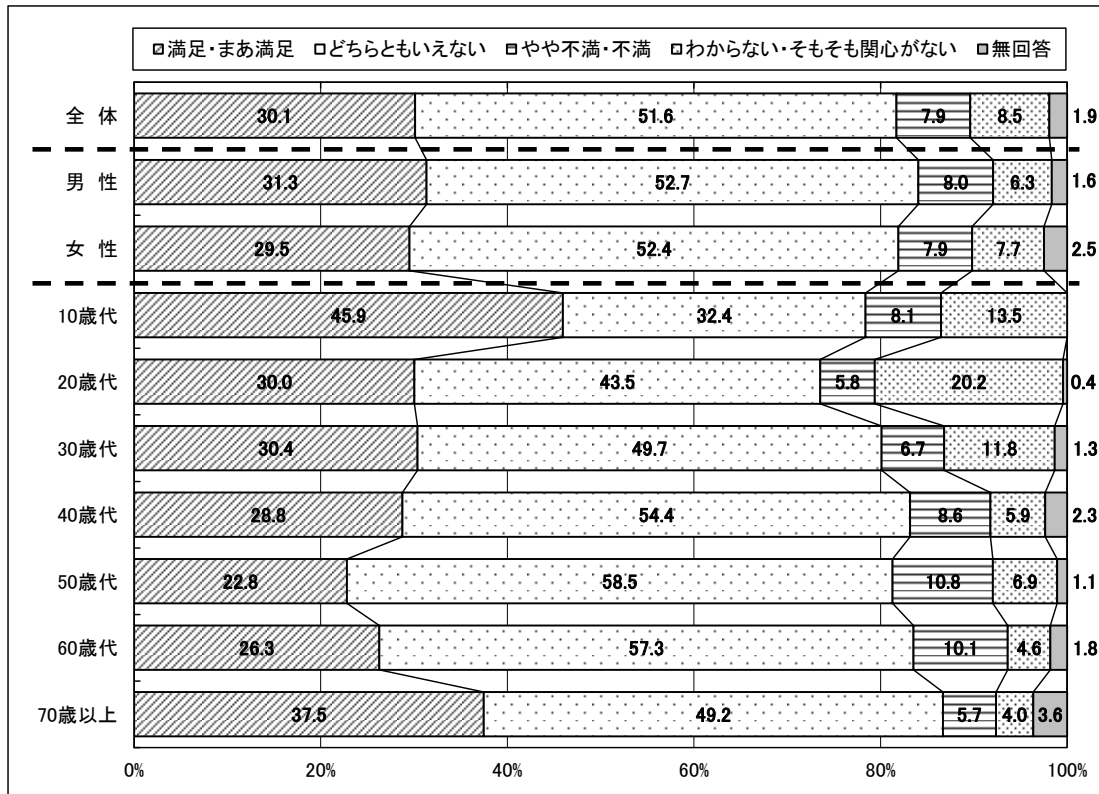
市民による主体的な健康づくりへの支援、病気の予防・早期発見・重症化予防、親子が心身健やかに共に育み合うための支援などに取り組んでいます。

<満足度>

○ 全体では、「どちらともいえない」が51.6%で最も高く、「満足・まあ満足」が30.1%でこれに次いでおり、「やや不満・不満」「わからない・そもそも関心がない」は、それぞれ7.9%、8.5%にとどまっています。

○ 年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を大きく上回っています。「満足・まあ満足」は、20・30歳代及び70歳以上が30.0～37.5%に上っている一方、「やや不満・不満」は、50歳代が10.8%、60歳代が10.1%で他の年代に比べて比較的高くなっています。

図表3-3-22 「健康づくり」に対する満足度



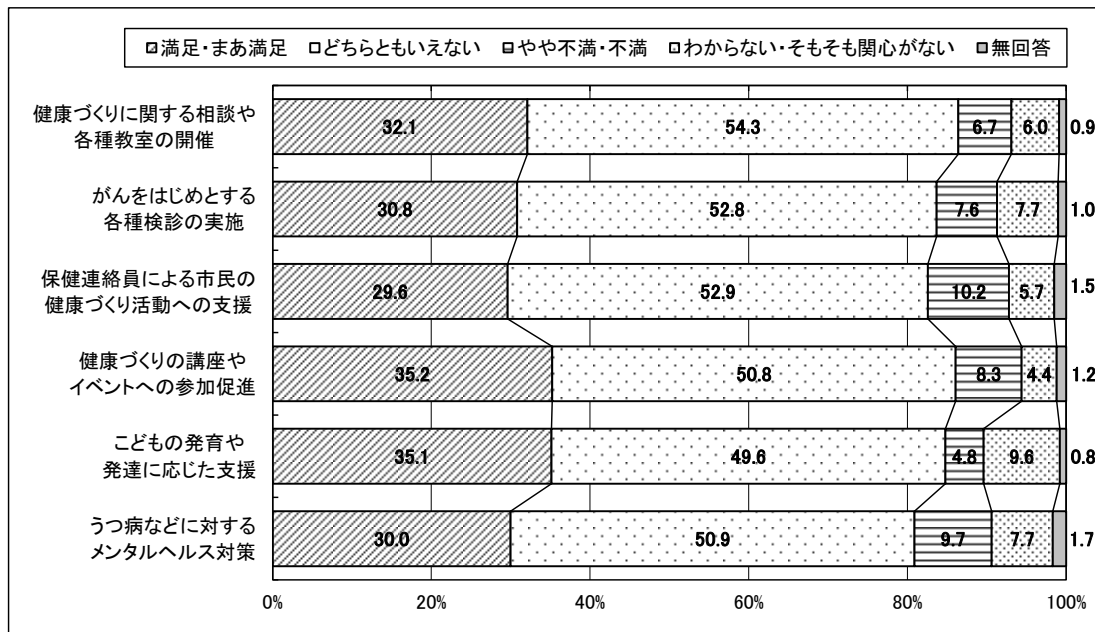
<今後より充実を図るべき取組>

○ 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「がんをはじめとする各種検診の実施(1,662件)」が最も多くなっています。

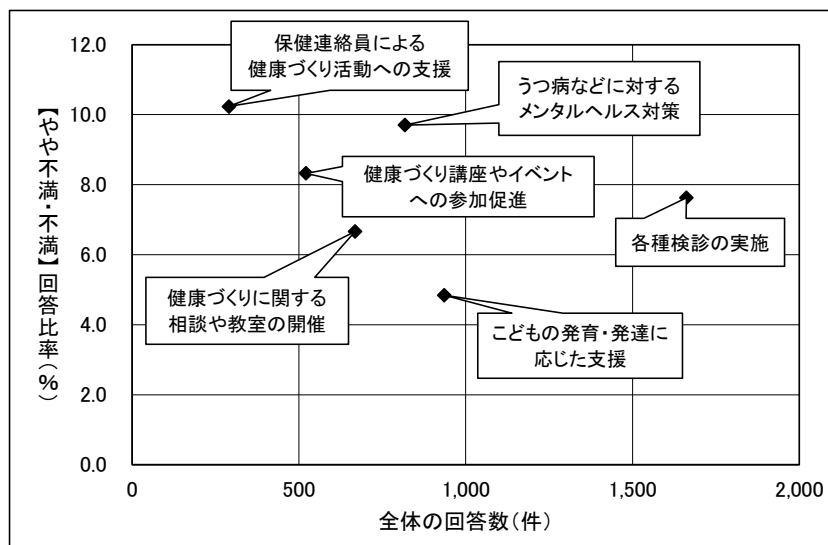
図表 3-3-23 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	健康づくりに関する相談や各種教室の開催	がんをはじめとする各種検診の実施	保健連絡員による市民の健康づくり活動への支援	健康づくりの講座やイベントへの参加促進	こどもの発育や発達に応じた支援	うつ病などに対するメンタルヘルス対策	その他	無回答
5,120 (〇は2つまで)	668	1,662	290	521	935	818	100	125

図表 3-3-24 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-25 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



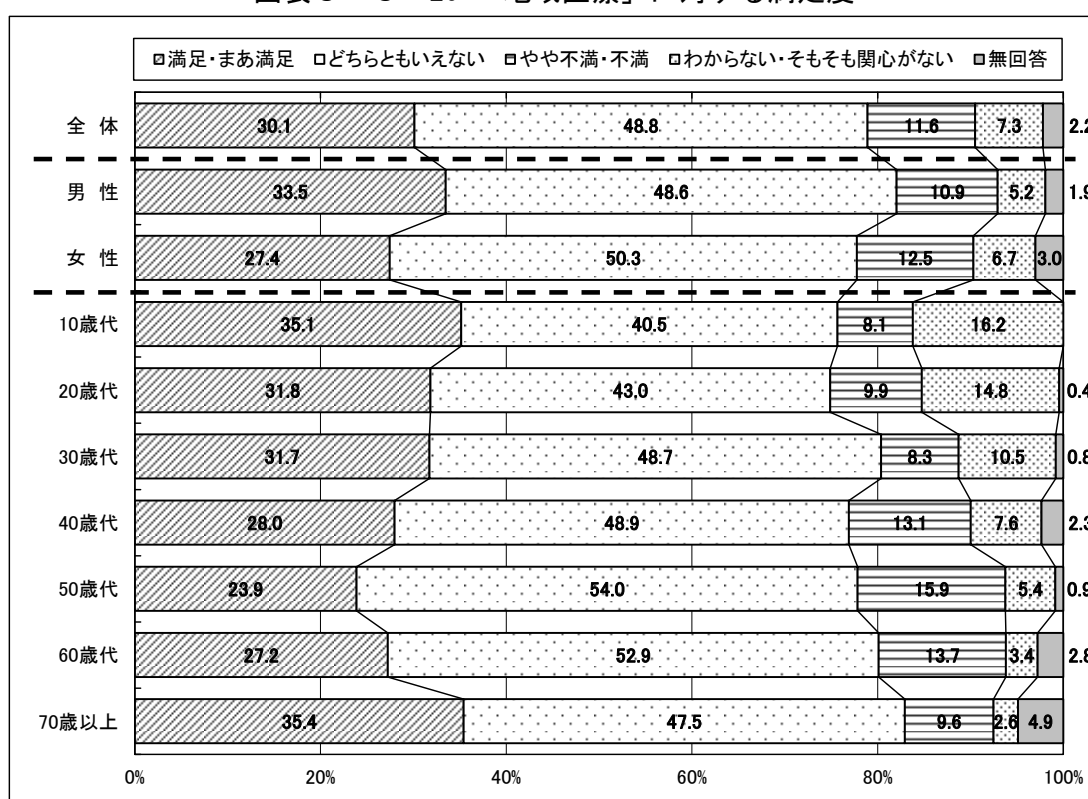
②地域医療

地域の医療機関が機能に応じて役割を分担し、市民の誰もが個々の状況に応じた適切な医療を受けられるよう、地域医療の充実などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が48.8%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の30.1%、「やや不満・不満」の11.6%の順であり、「わからない・そもそも関心がない」は7.3%にとどまっています。
- 年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を上回っているものの、40・50・60歳代では「やや不満・不満」が13.1～15.9%と他の年代に比べて比較的高くなっています。

図表3-3-26 「地域医療」に対する満足度



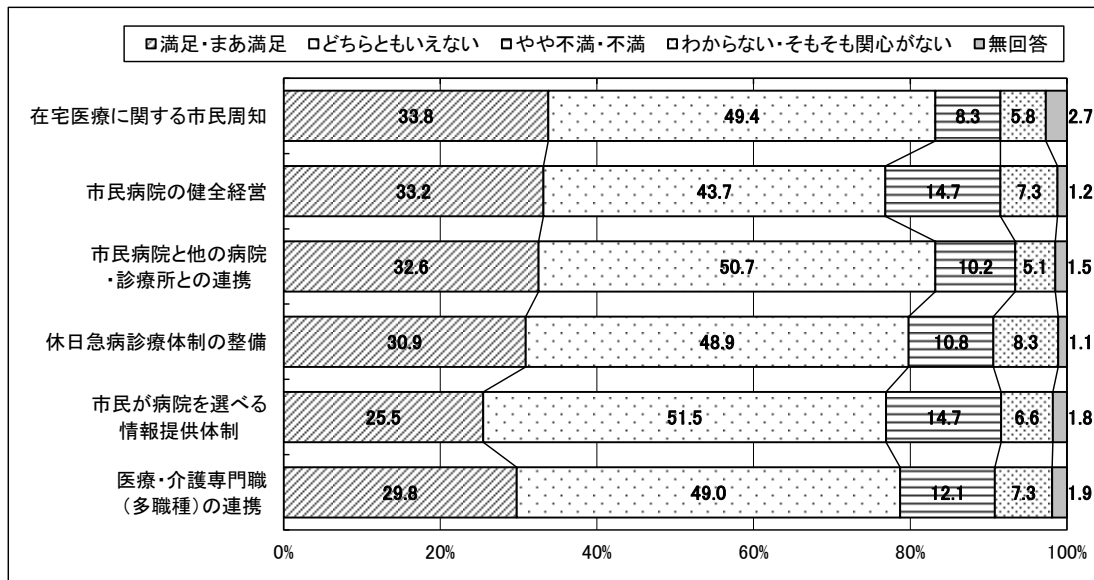
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「市民病院と他の病院・診療所との連携（1,291件）」が最も多く、次いで「市民が病院を選べる情報提供体制（1,058件）」、「休日急病診療体制の整備（1,025件）」の順となっています。

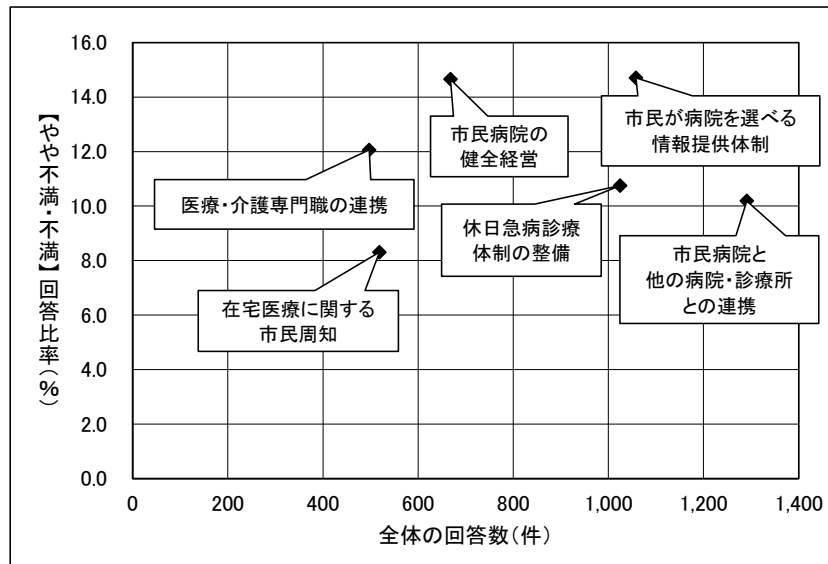
図表 3-3-27 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	在宅医療に関する市民周知	市民病院の健全経営	市民病院と他の病院・診療所との連携	休日急病診療体制の整備	市民が病院を選べる情報提供体制	医療・介護専門職(多職種)の連携	その他	無回答
5,251 (〇は2つまで)	519	668	1,291	1,025	1,058	497	97	96

図表 3-3-28 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-29 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



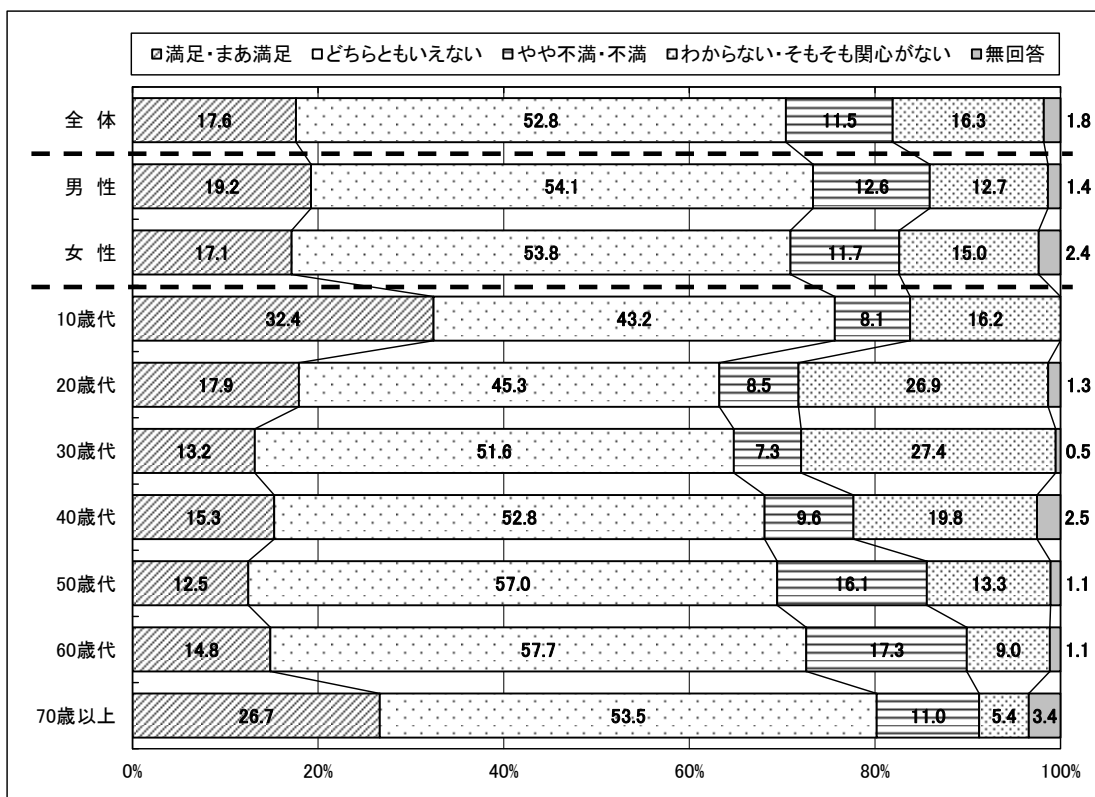
③高齢者福祉

高齢者の社会参加と生きがいづくりへの支援や、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境づくりに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 52.8%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 17.6%、「わからない・そもそも関心がない」の 16.3%、「やや不満・不満」の 11.5%の順となっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は 70 歳以上が 26.7%と高く、「やや不満・不満」は 30 歳代の 7.3%に対し 60 歳代では 17.3%と、年代が上がるほど回答比率が高くなっているのが特徴的といえます。

図表 3-3-30 「高齢者福祉」に対する満足度



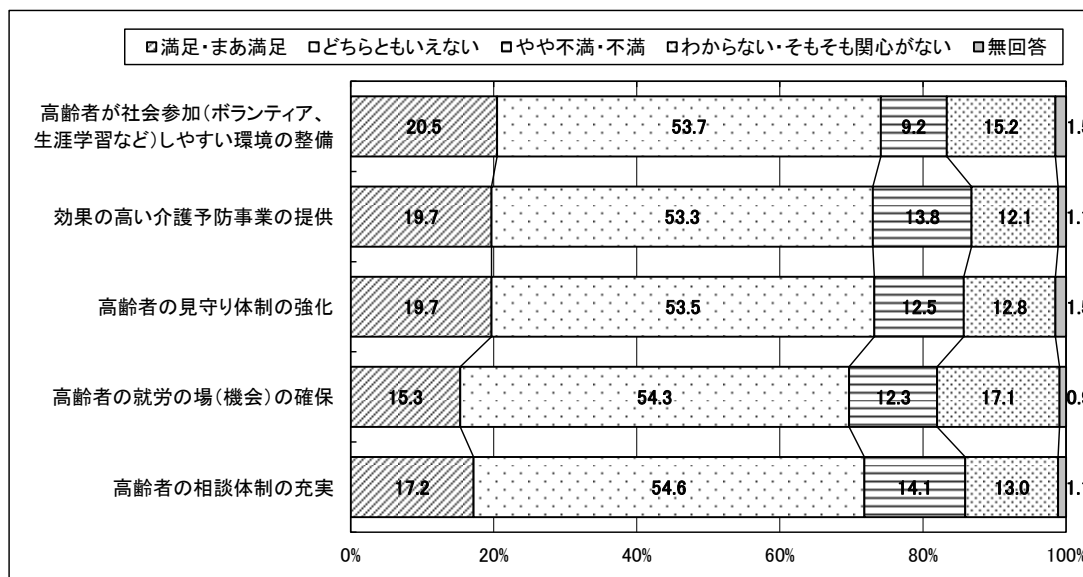
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「高齢者が社会参加（ボランティア、生涯学習など）しやすい環境の整備（1,140件）」や「高齢者の見守り体制の強化（1,106件）」、「高齢者の就労の場（機会）の確保（1,032件）」の回答数が多くなっています。

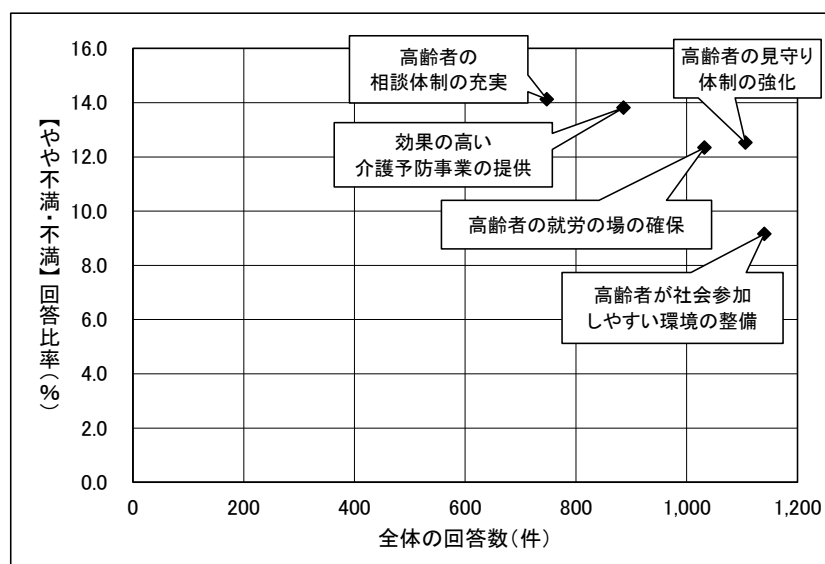
図表 3-3-31 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	高齢者が社会参加(ボランティア、生涯学習など)しやすい環境の整備	効果の高い介護予防事業の提供	高齢者の見守り体制の強化	高齢者の就労の場(機会)の確保	高齢者の相談体制の充実	その他	無回答
5,156 (〇は2つまで)	1,140	886	1,106	1,032	748	99	144

図表 3-3-32 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-33 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



④障がい者（児）福祉

障がいのある市民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、自立した生活を営み、安心して暮らすことができる環境づくりなどに取り組んでいます。

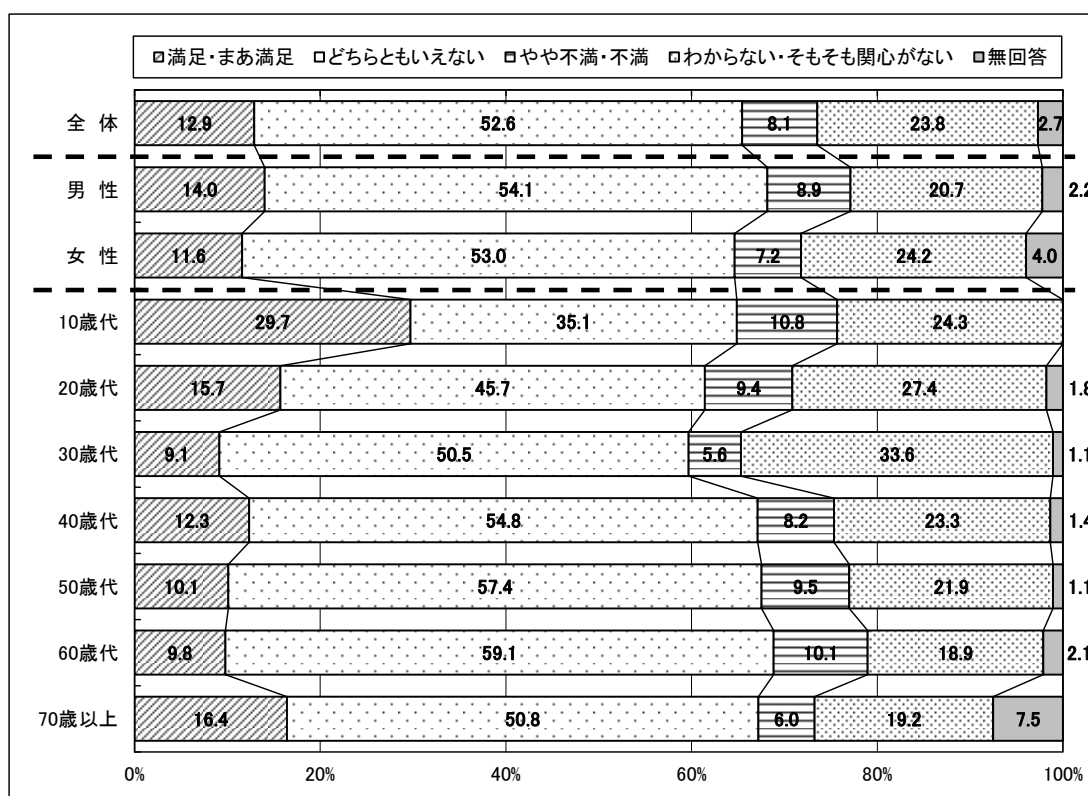
<満足度>

—50・60歳代では「満足・まあ満足」と「やや不満・不満」がきつ抗している—

○全体では、「どちらともいえない」が52.6%で最も高く、次いで「わからない・そもそも関心がない」の23.8%、「満足・まあ満足」の12.9%の順であり、「やや不満・不満」は8.1%にとどまっています。

○年代別にみると、「わからない・そもそも関心がない」は、30歳代が33.6%で最も高くなっているほか、50・60歳代では「満足・まあ満足」と「やや不満・不満」が概ね同じ水準になっています。

図表3-3-34 「障がい者（児）福祉」に対する満足度



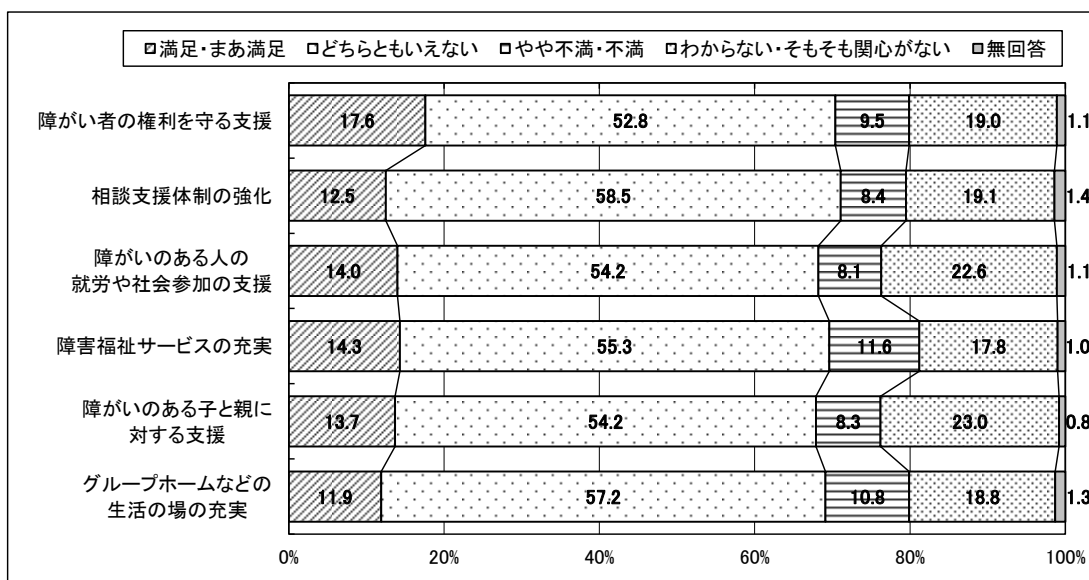
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「障がいのある人の就労や社会参加の支援（1,296件）」や「障がいのある子と親の対する支援（1,178件）」の回答数が多くなっています。

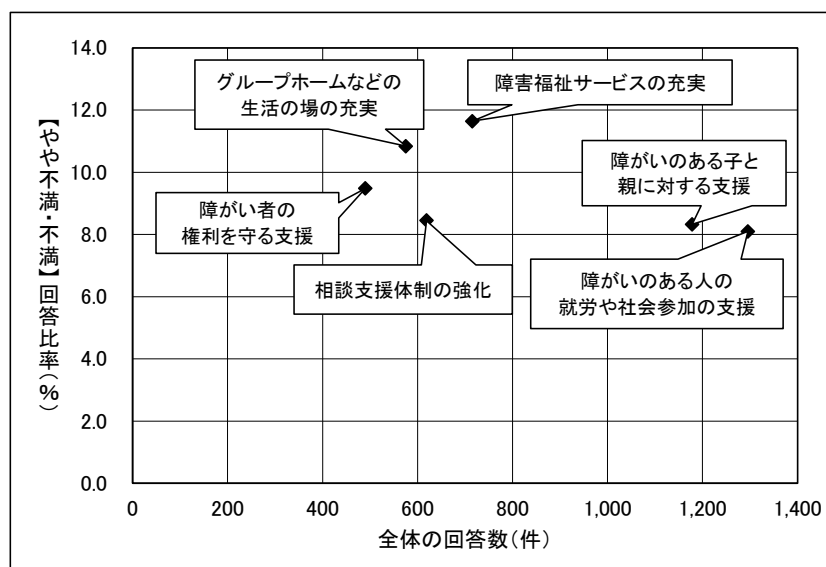
図表 3-3-35 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	障がい者の権利を守る支援	相談支援体制の強化	障がいのある人の就労や社会参加の支援	障害福祉サービスの充実	障がいのある子と親に対する支援	グループホームなどの生活の場の充実	その他	無回答
5,146 (〇は2つまで)	490	619	1,296	716	1,178	575	68	204

図表 3-3-36 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-37 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



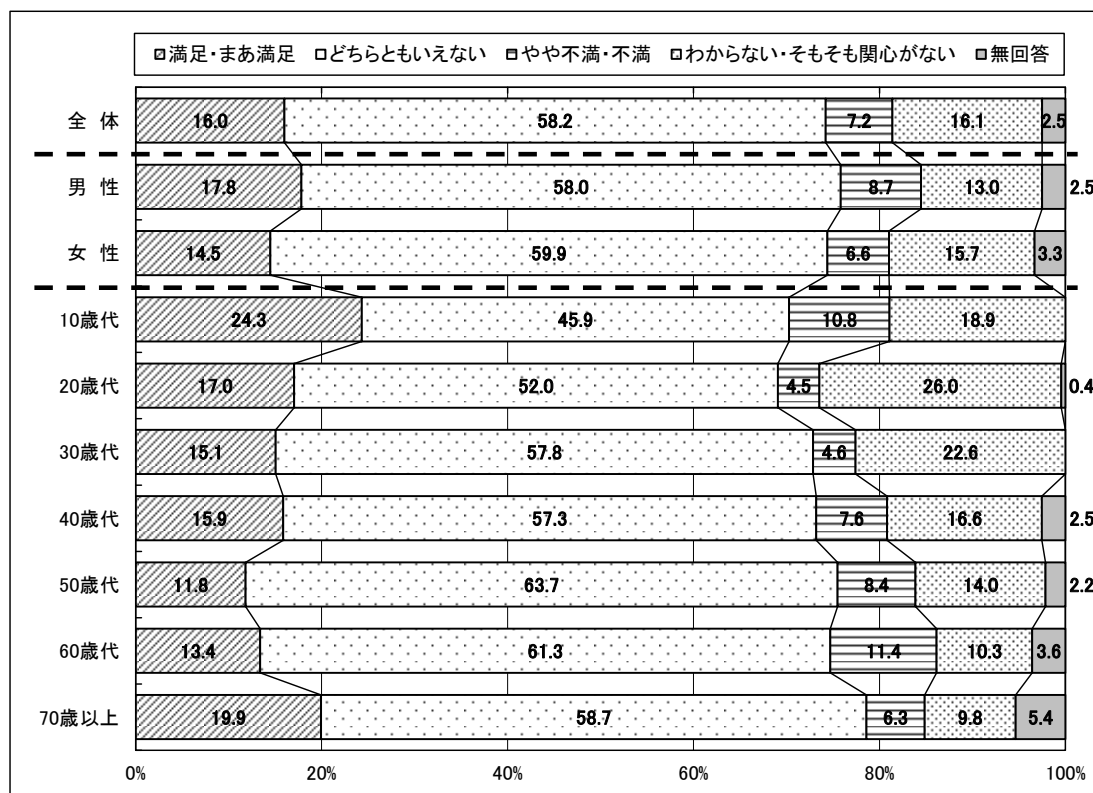
⑤地域福祉

地域住民みんなが支え合って共に生きるという共通認識を持ち、地域で安心して暮らせる環境・仕組みづくりなどに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 58.2%で最も高く、次いで「わからない・そもそも関心がない」の 16.1%、「満足・まあ満足」の 16.0%の順であり、「やや不満・不満」は 7.2%にとどまっています。
- 年代別にみると、20・30 歳代では、「わからない・そもそも関心がない」が 26.0%・22.6%と、他の年代に比べて回答比率が高くなっています。

図表 3-3-38 「地域福祉」に対する満足度



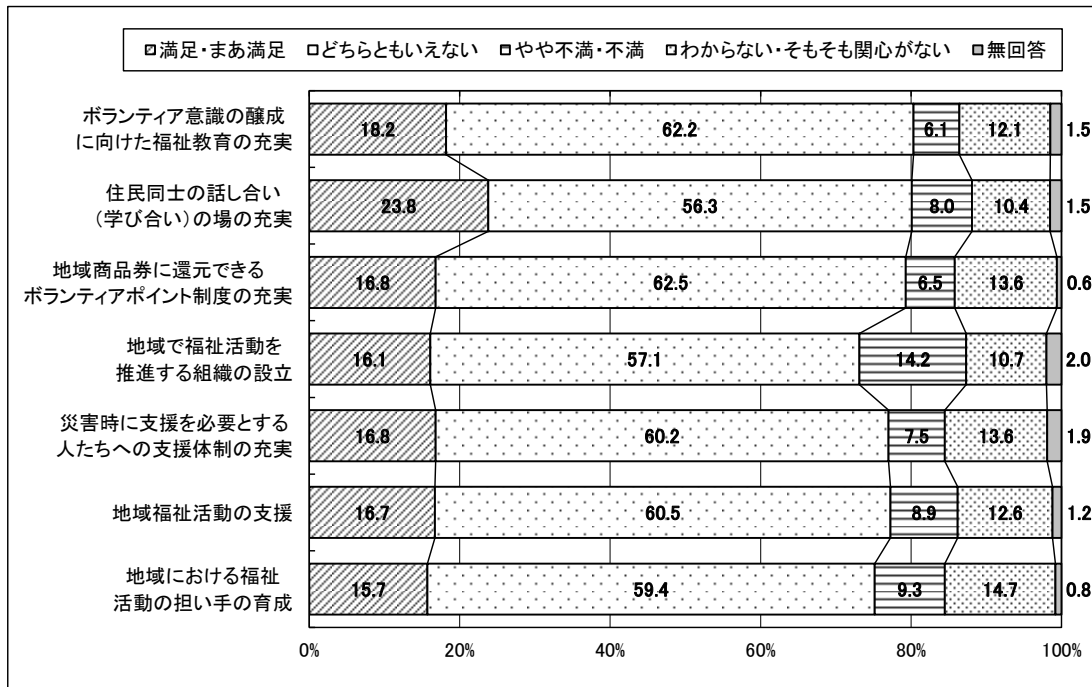
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「高齢者や障がい者など災害時に支援を必要とする人たちへの支援体制の充実（1,404件）」が最も多くなっています。

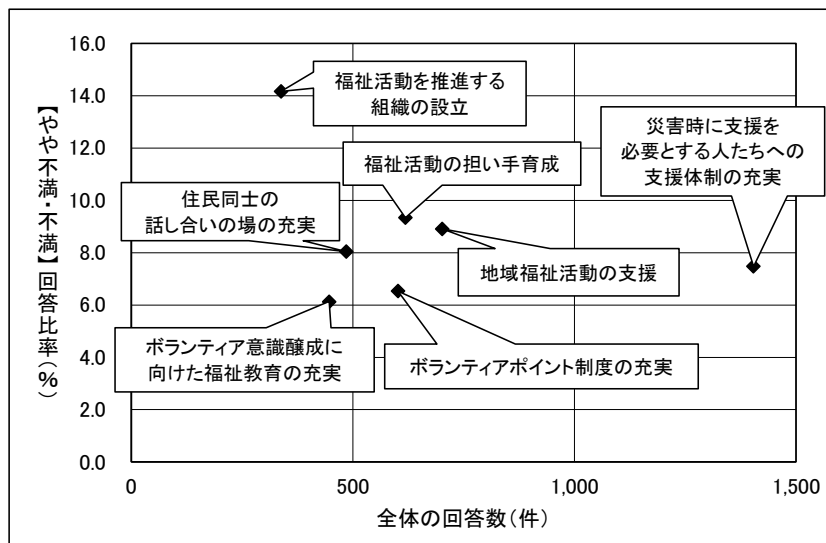
図表 3-3-39 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	ボランティア意識の醸成に向けた福祉教育の充実	住民同士の話し合い(学び合い)の場の充実	地域商品券に還元できるボランティアポイント制度の充実	地域で福祉活動を推進する組織の設立	高齢者や障がい者など災害時に支援を必要とする人々への支援体制の充実	地域福祉活動の支援	地域における福祉活動の担い手の育成	その他	無回答
4,853 (〇は2つまで)	446	485	602	338	1,404	702	618	53	204

図表 3-3-40 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-41 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



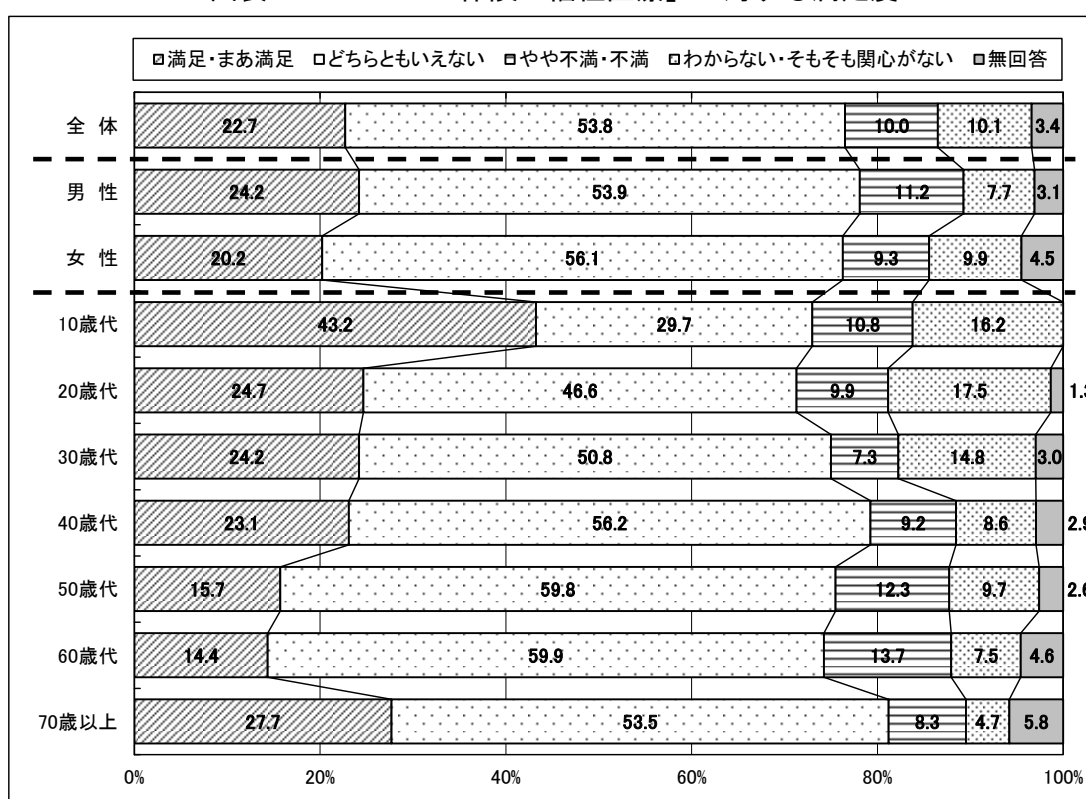
⑥保険・福祉医療

だれもが必要な医療・介護を安心して受けられるよう、保険制度の健全かつ安定的な運営と福祉医療の充実などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 53.8% で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 22.7%、「わからない・そもそも関心がない」の 10.1%、「やや不満・不満」の 10.0% の順となっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は 70 歳以上が 27.7% と高くなっています。一方、「やや不満・不満」は 50 歳代が 12.3%、60 歳代が 13.7% と他の年代に比べて比較的高くなっています。

図表 3-3-42 「保険・福祉医療」に対する満足度



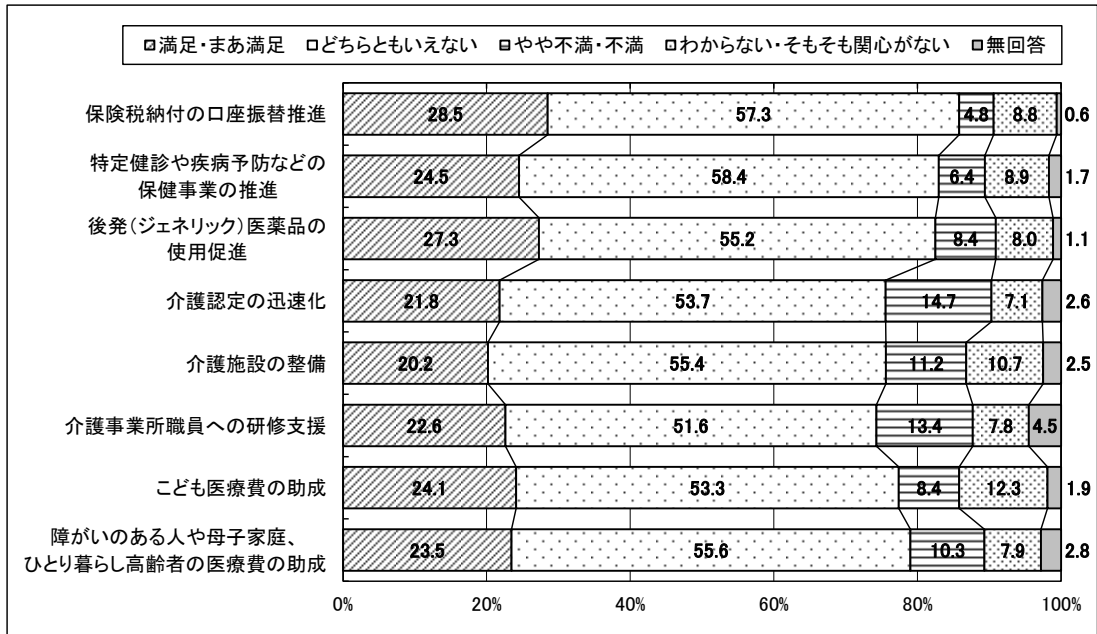
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「障がいのある人や母子家庭、ひとり暮らしの高齢者の医療費の助成（1,019 件）」や「介護施設の整備（1,009 件）」の回答数が多くなっています。

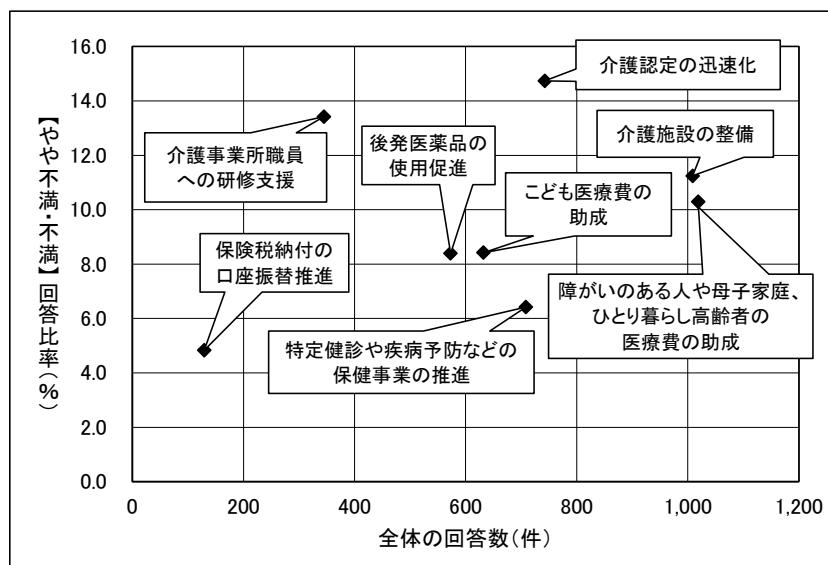
図表 3-3-43 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	保険税納付の口座振替推進	特定健診や疾病予防などの保健事業の推進	後発(ジェネリック)医薬品の使用促進	介護認定の迅速化	介護施設の整備	介護事業所職員への研修支援	こども医療費の助成	障がいのある人や母子家庭、ひとり暮らし高齢者の医療費の助成	その他	無回答
5,350 (〇は2つまで)	129	709	573	743	1,009	345	632	1,019	78	114

図表 3-3-44 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-45 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



(3) 教育・子育て

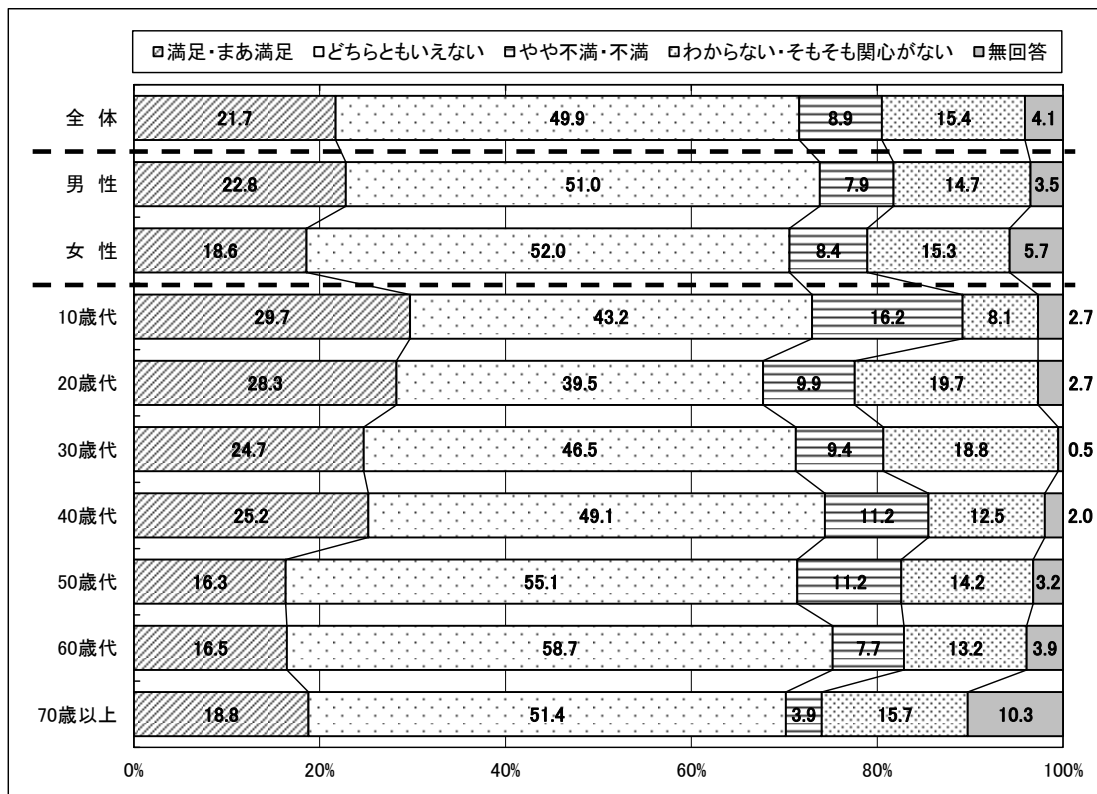
①学校教育

学校・家庭・地域との連携・協力のもと、知・徳・体の調和のとれた人格形成や、社会で自立して生きていくための基礎的な能力の育成などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が49.9%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の21.7%、「わからない・そもそも関心がない」の15.4%の順であり、「やや不満・不満」は8.9%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は40歳代以下ではいずれも20%台となっており、やや不満・不満」を大きく上回っています。

図表3-3-46 「学校教育」に対する満足度



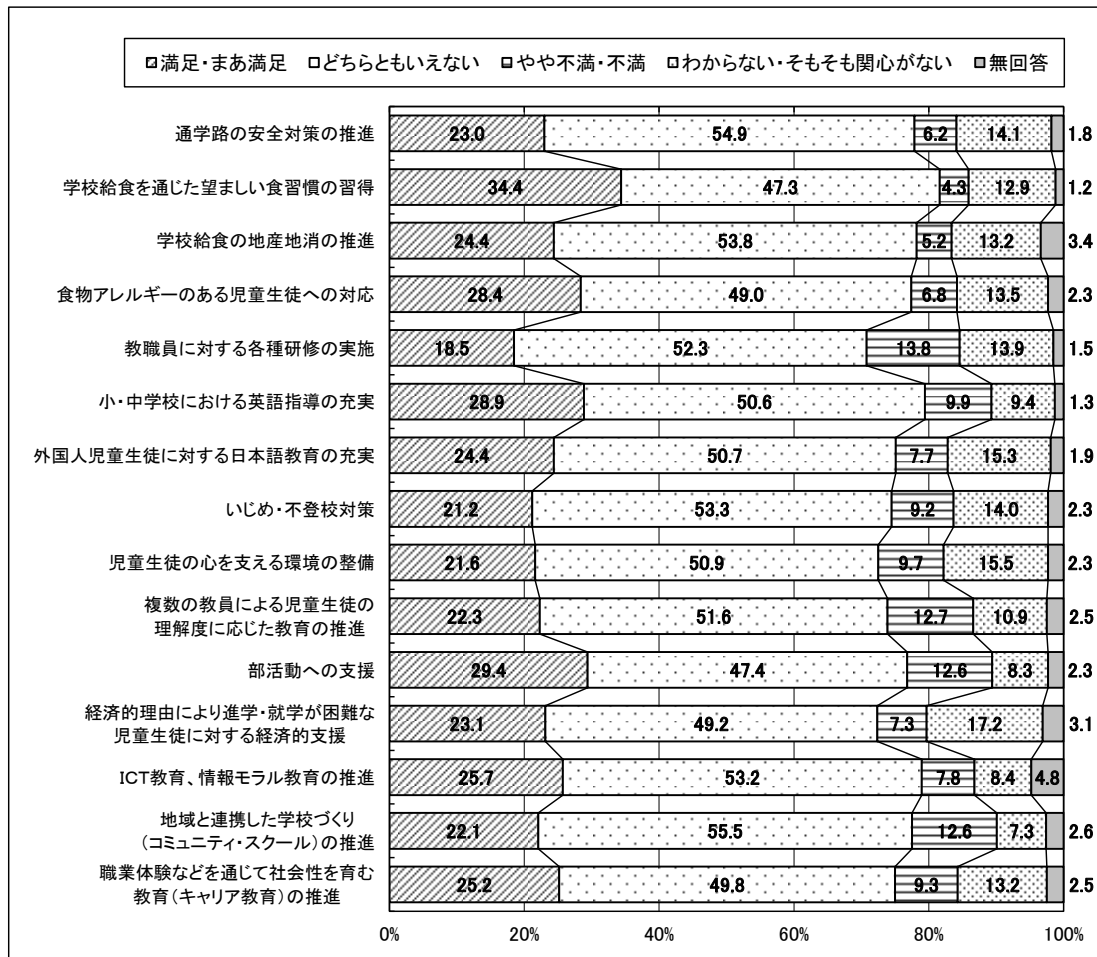
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「いじめ・不登校対策（1,351件）」や「通学路の安全対策の推進（1,202件）」の回答数が多くなっています。

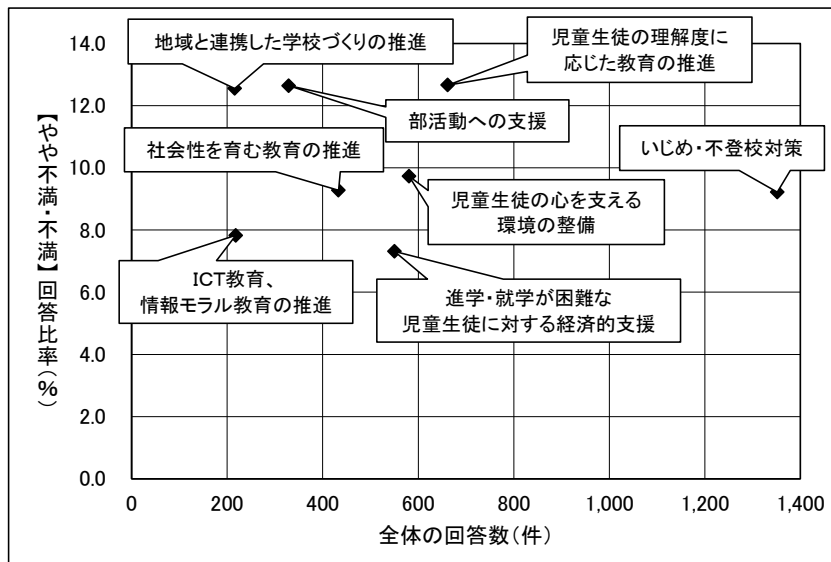
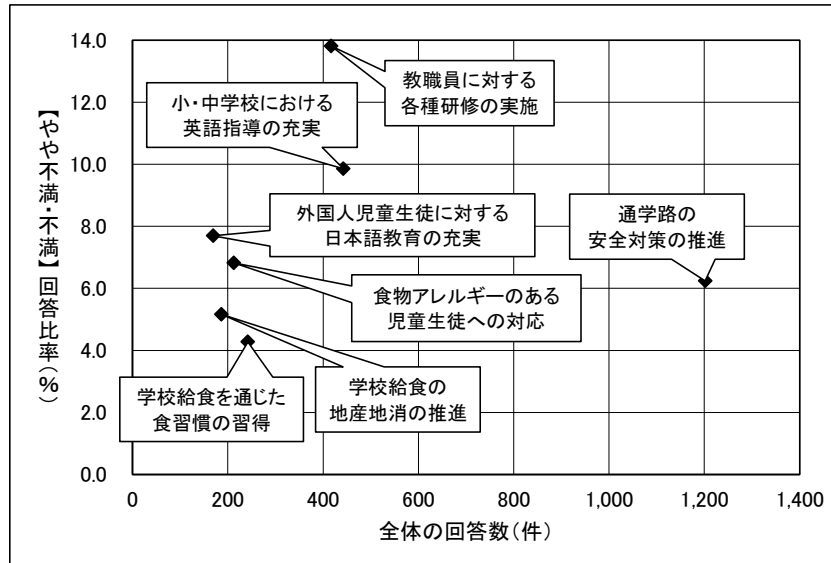
図表 3-3-47 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	通学路の安全対策の推進	学校給食を通じた望ましい食習慣の習得	学校給食の地産地消の推進	食物アレルギーのある児童生徒への対応	教職員に対する各種研修の実施	小・中学校における英語指導の充実	外国人児童生徒に対する日本語教育の充実	いじめ・不登校対策	児童生徒の心を支える環境の整備	複数の教員による児童生徒の理解度に応じた教育の推進
7,500 (〇は3つまで)	1,202	242	186	213	417	442	169	1,351	581	662
	部活動への支援	経済的理由により進学・就学が困難な児童生徒に対する経済的支援	ICT教育、情報モラル教育の推進	地域と連携した学校づくり(コミュニティ・スクール)の推進	職業体験などを通じて社会性を育む教育(キャリア教育)の推進	その他	無回答			
	329	550	218	216	433	117	171			

図表 3-3-48 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-49 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



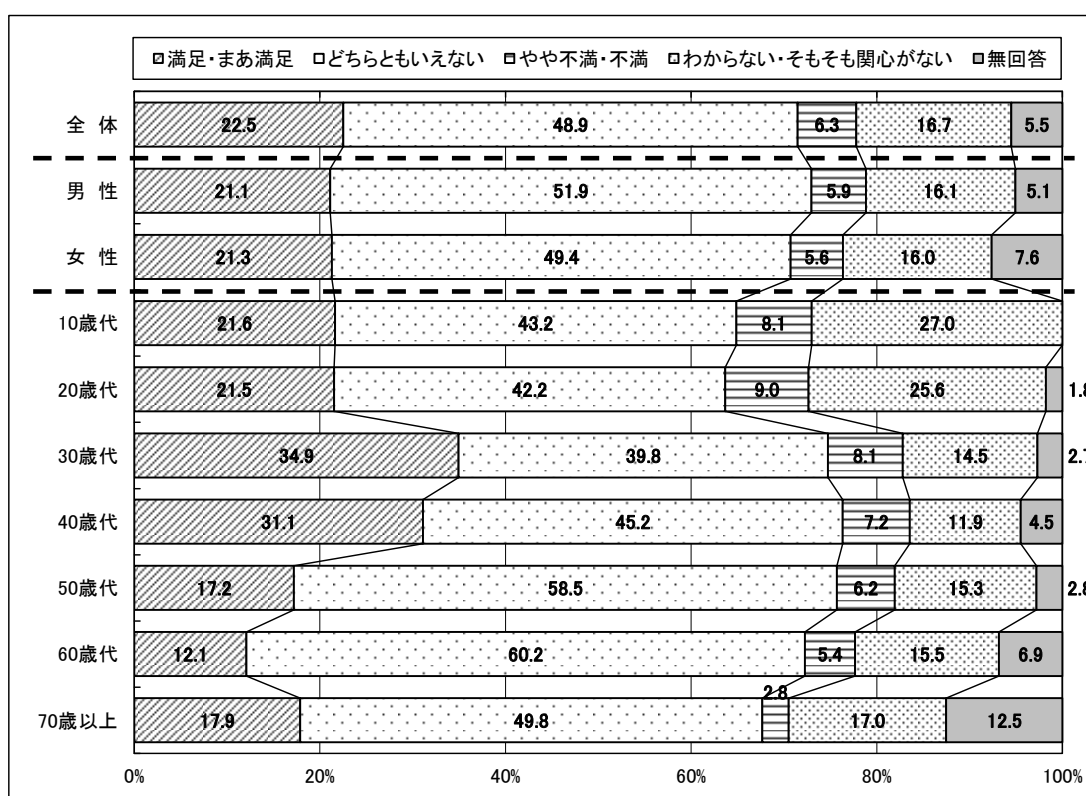
②子育て支援

子育てをしているだれもが、安心して子育てができる体制の強化や、子ども自身が健やかに成長できる環境づくりなどに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が48.9%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の22.5%、「わからない・そもそも関心がない」の16.7%の順であり、「やや不満・不満」は6.3%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は30歳代が34.9%、40歳代が31.1%と他の年代に比べて突出しており、「やや不満・不満」をそれぞれ26.8ポイント、23.9ポイント、大きく上回っているのが特徴的といえます。

図表3-3-50 「子育て支援」に対する満足度



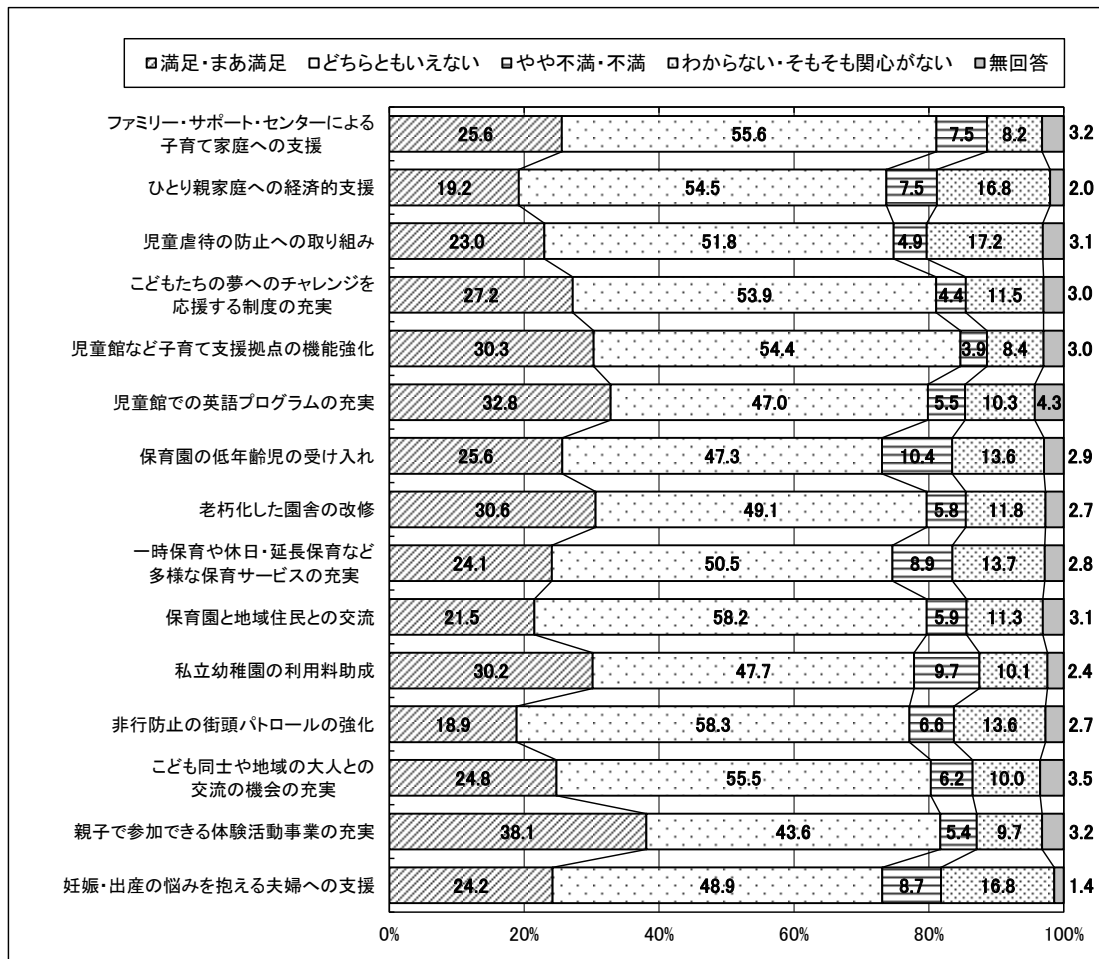
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「児童虐待の防止への取り組み（1,023件）」が最も多くなっています。

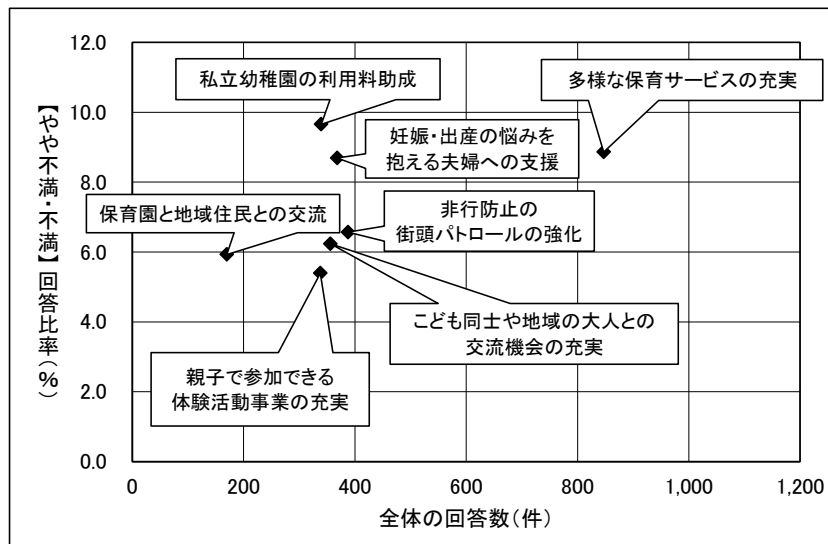
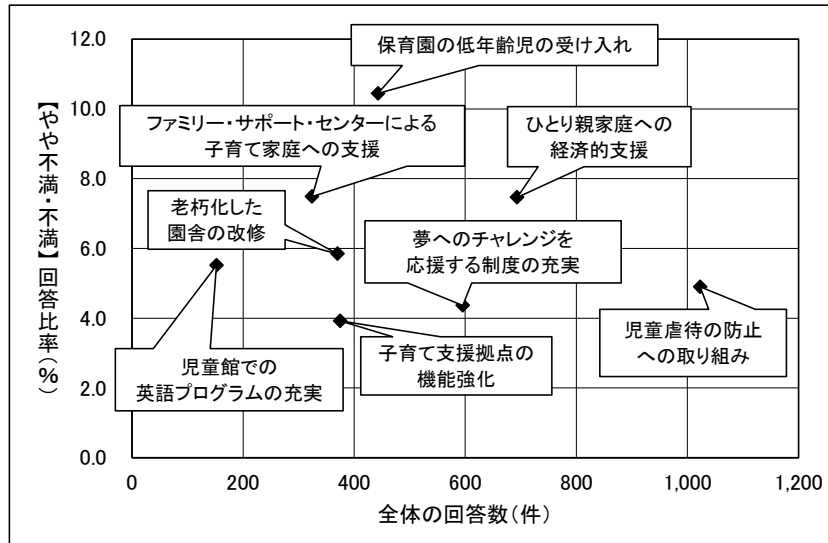
図表 3-3-51 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援	ひとり親家庭への経済的支援	児童虐待の防止への取り組み	こどもたちの夢へのチャレンジを応援する制度の充実	児童館など子育て支援拠点の機能強化	児童館での英語プログラムの充実	保育園の低年齢児の受け入れ	老朽化した園舎の改修	一時保育や休日・延長保育等多様な保育サービスの充実	保育園と地域住民との交流
7,103 (〇は3つまで)	324	693	1,023	596	375	152	443	370	847	170
	私立幼稚園の利用料助成	非行防止の街頭パトロールの強化	こども同士や地域の大人との交流の機会の充実	親子で参加できる体験活動事業の充実	妊娠・出産の悩みを抱える夫婦への支援	その他	無回答			
	340	388	356	338	368	85	235			

図表 3-3-52 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-53 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



(4) 文化・スポーツ

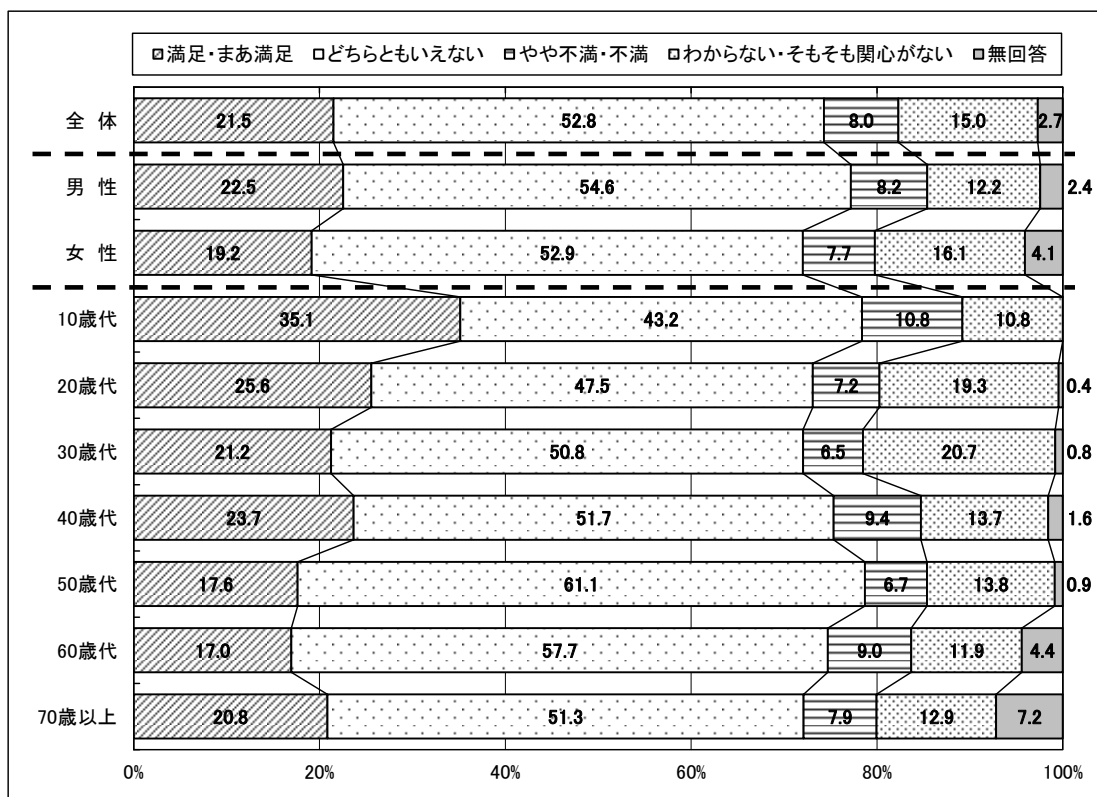
①スポーツ

健康づくりの一環として、だれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツが楽しめるよう、スポーツを生活の中に取り入れる環境づくりなどに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が52.8%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の21.5%、「わからない・そもそも関心がない」の15.0%の順であり、「やや不満・不満」は8.0%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は50・60歳代を除き概ね20%台となっています。

図表3-3-54 「スポーツ」に対する満足度



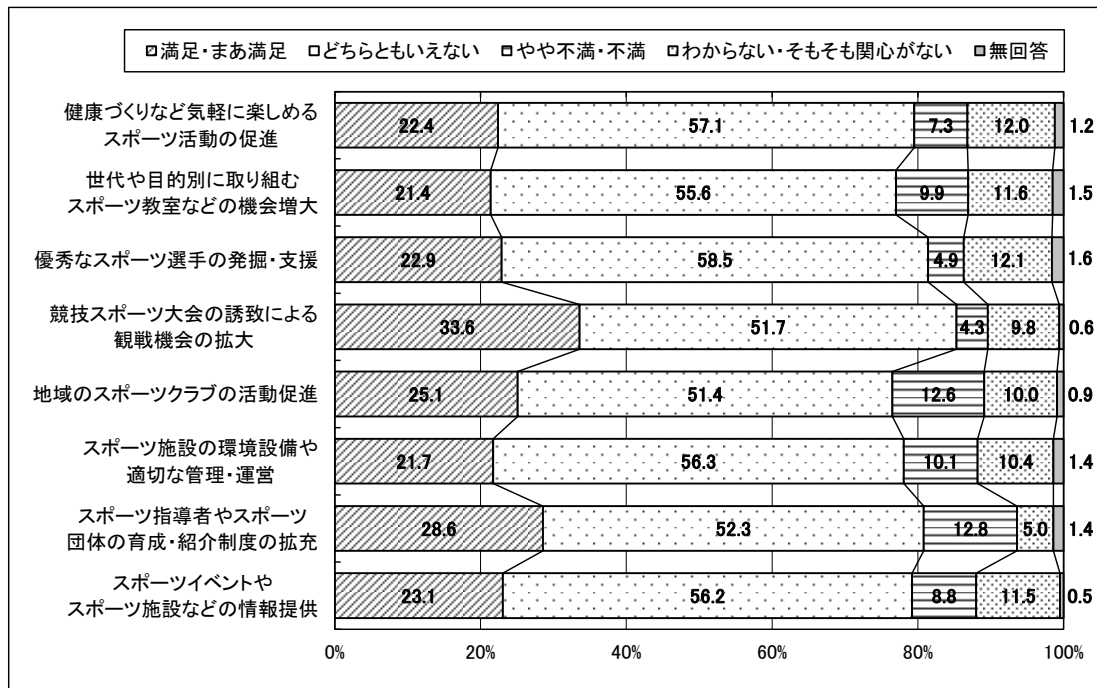
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「健康づくりなど気軽に楽しめるスポーツ活動の促進(1,391件)」が最も多くなっています。

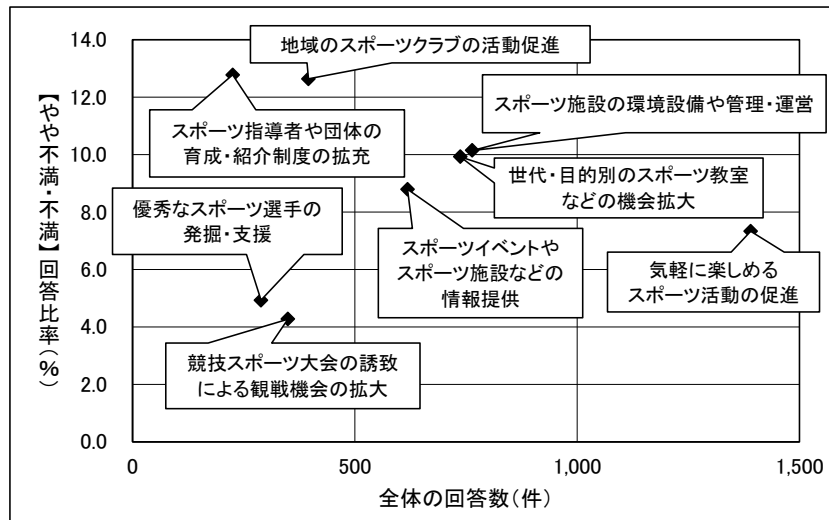
図表 3-3-55 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	健康づくりなど気軽に楽しめるスポーツ活動の促進	世代や目的別に組み込むスポーツ教室などの機会増大	優秀なスポーツ選手の発掘・支援	競技スポーツ大会の誘致による観戦機会の拡大	地域のスポーツクラブの活動促進	スポーツ施設的环境設備や適切な管理・運営	スポーツ指導者やスポーツ団体の育成・紹介制度の拡充	スポーツ教室をはじめとするスポーツイベントやスポーツ施設などの情報提供	その他	無回答
5,069 (〇は2つまで)	1,391	737	289	349	396	764	225	619	90	210

図表 3-3-56 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-57 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



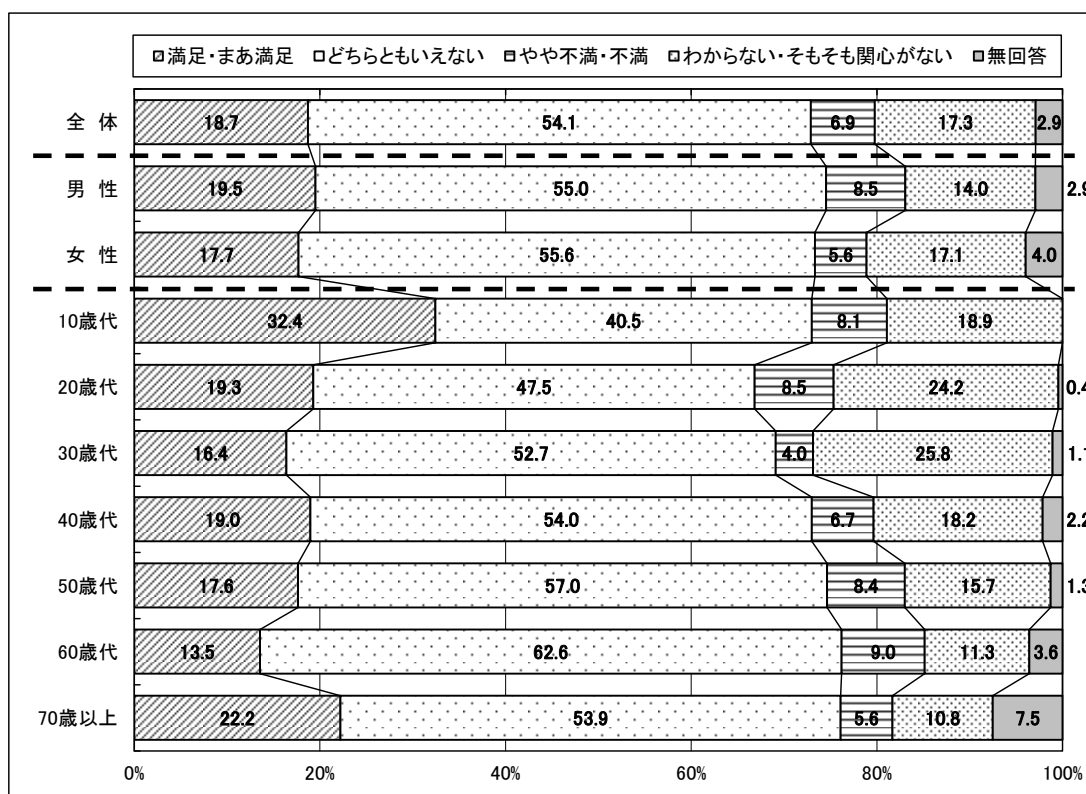
②文化振興

幅広い世代が自主的に文化芸術活動に取り組める環境づくりや、小牧固有の歴史や文化、伝統にふれあえる機会の充実などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が54.1%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の18.7%、「わからない・そもそも関心がない」の17.3%の順であり、「やや不満・不満」は6.9%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は10歳代が32.4%で最も高く、70歳以上が22.2%でこれに次いでいます。また、「やや不満・不満」はいずれの年代も10%未満となっています。

図表3-3-58 「文化振興」に対する満足度



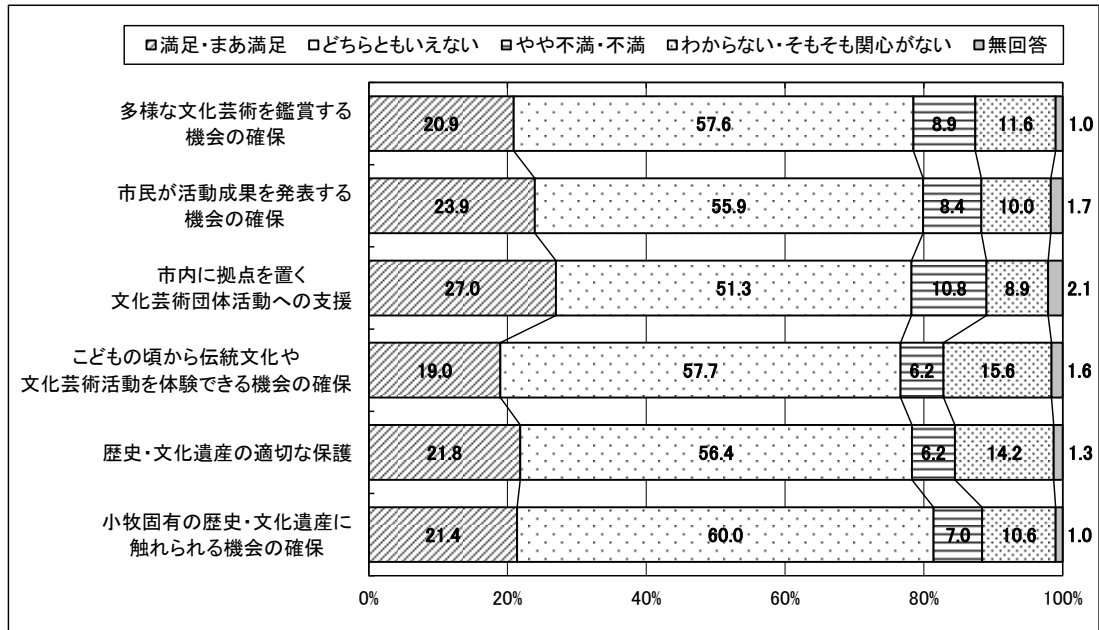
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「こどもの頃から伝統文化や文化芸術活動を体験できる機会の確保（1,177件）」や「小牧固有の歴史・文化遺産に触れられる機会の確保（1,011件）」、「多様な文化芸術を鑑賞する機会の確保（1,008件）」の回答数が多くなっています。

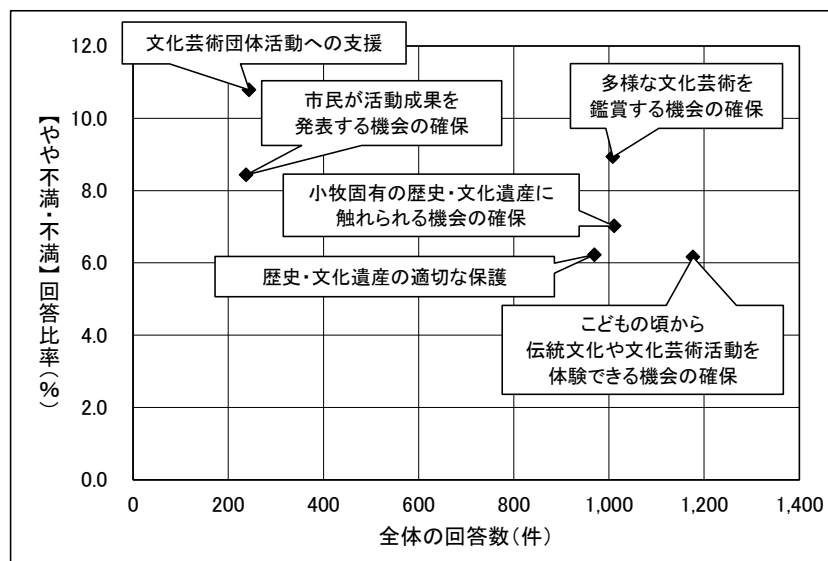
図表 3-3-59 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	多様な文化芸術を鑑賞する 機会の確保	市民が活動成果を 発表する 機会の確保	市内に拠点を置く 文化芸術団体活動への 支援	こどもの頃から伝統 文化や文化芸術活動 を体験できる機会の 確保	歴史・文化 遺産の適 切な保護	小牧固有 の歴史・文 化遺産に 触れられる 機会の確保	その他	無回答
4,954 (〇は2つまで)	1,008	238	244	1,177	970	1,011	58	249

図表 3-3-60 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-61 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



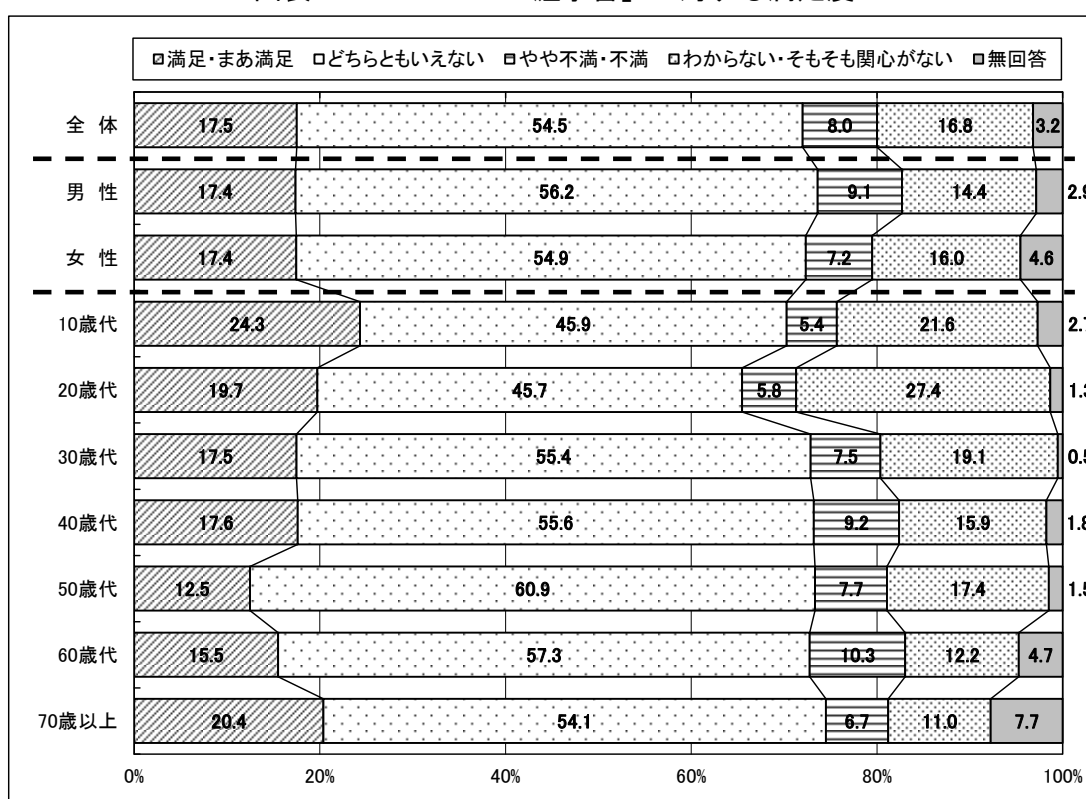
③生涯学習

市民一人ひとりが生涯にわたって、さまざまな学習活動に取り組めるよう、学習機会の提供や学習活動への支援、図書館サービスの充実などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 54.5%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 17.5%、「わからない・そもそも関心がない」の 16.8%の順であり、「やや不満・不満」は 8.0%にとどまっています。
- 年代別にみると、「満足・まあ満足」は 10 歳代が 24.3%で最も高く、70 歳以上が 20.4%でこれに次いでいます。また、「やや不満・不満」は 60 歳代を除き、いずれの年代も 10%未満となっています。

図表 3-3-62 「生涯学習」に対する満足度



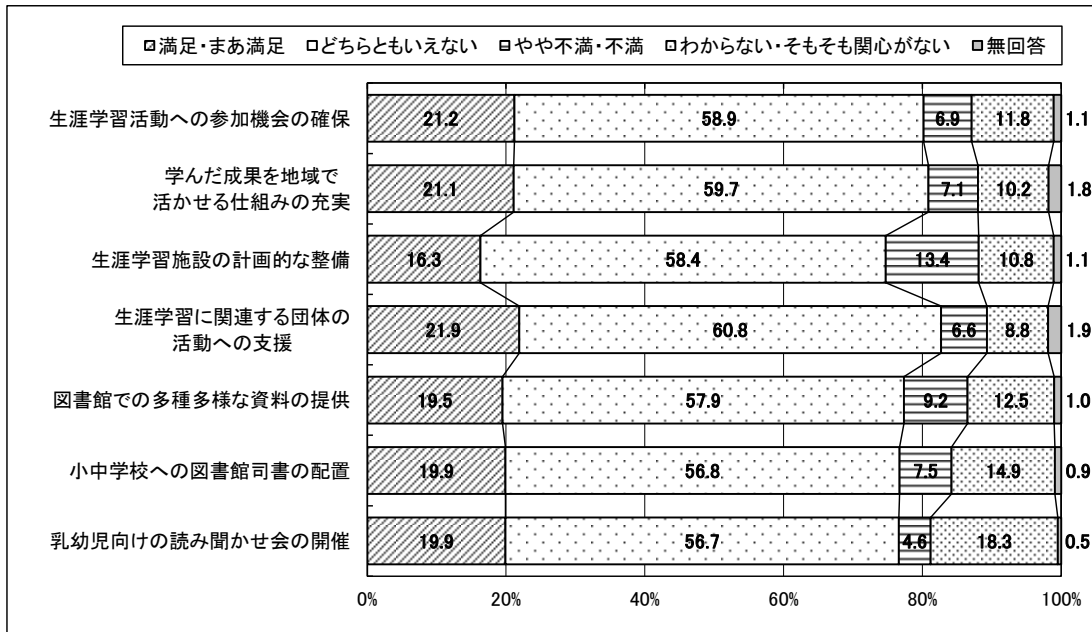
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「図書館での多種多様な資料の提供（1,043 件）」や「生涯学習活動への参加機会の確保（1,020 件）」の回答数が多くなっています。

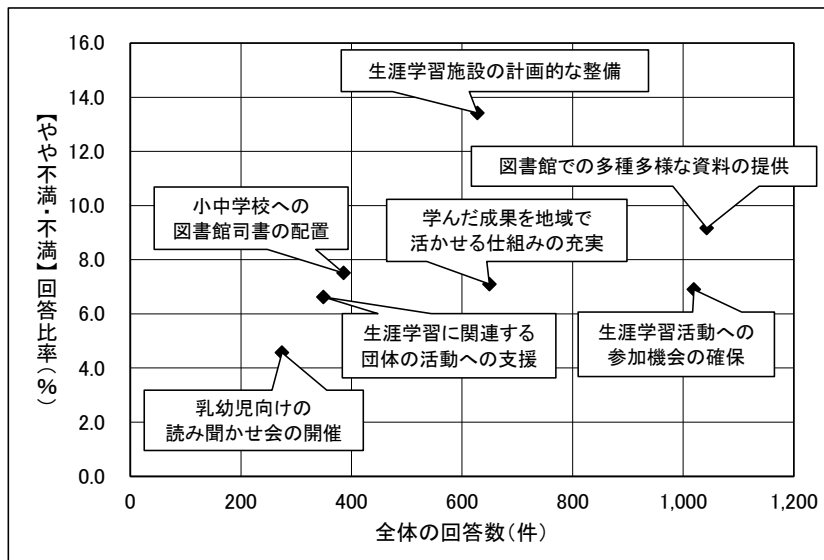
図表 3-3-63 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	生涯学習活動への参加機会の確保	学んだ成果を地域で活かせる仕組みの充実	生涯学習施設の計画的な整備	生涯学習に関連する団体の活動への支援	図書館での多種多様な資料の提供	小中学校への図書館司書の配置	乳幼児向けの読み聞かせ会の開催	その他	無回答
4,729 (〇は2つまで)	1,020	650	628	349	1,043	386	274	97	283

図表 3-3-64 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-65 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



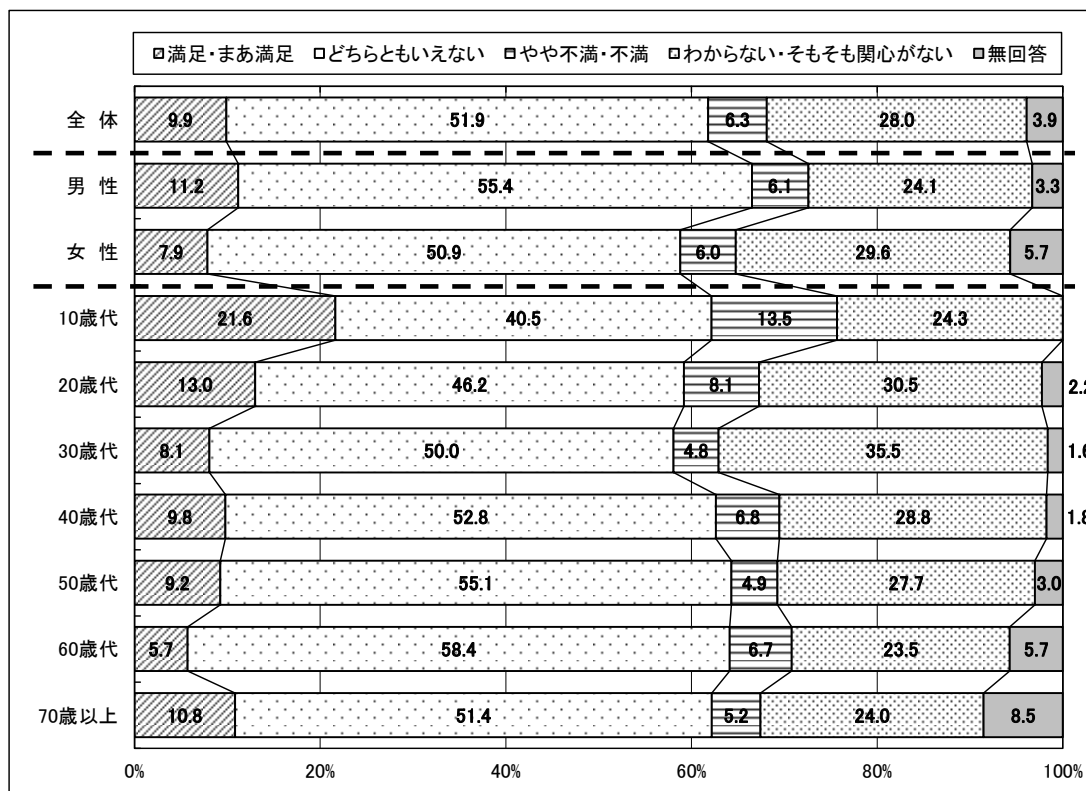
④男女共同参画

男女共同参画意識の広報・啓発活動、あらゆる分野への男女共同参画の促進、男女共同参画を推進するための体制の充実などに取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が51.9%で最も高く、「わからない・そもそも関心がない」が28.0%でこれに次いでおり、「満足・まあ満足(9.9%)」「やや不満・不満(6.3%)」はいずれも10%未満となっています。また、年代別にみても同様の傾向となっています。

図表3-3-66 「男女共同参画」に対する満足度



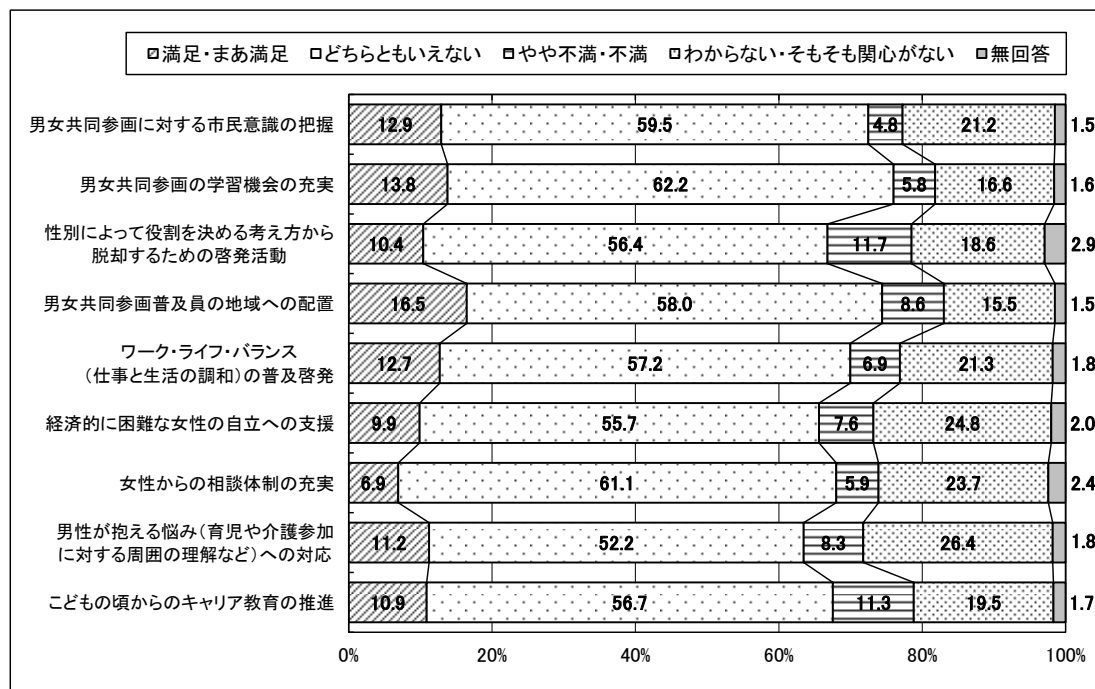
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及啓発（909件）」が最も多くなっています。

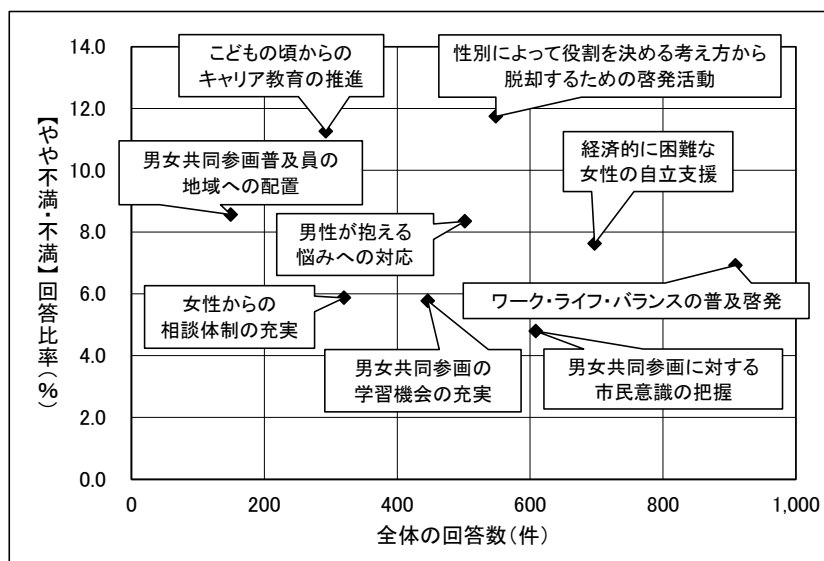
図表 3-3-67 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	男女共同参画に対する市民意識の把握	男女共同参画の学習機会の充実	性別によって役割を決める考え方から脱却するための啓発活動	男女共同参画普及員の地域への配置	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及啓発	経済的に困難な女性の自立への支援	女性からの相談体制の充実	男性が抱える悩み(育児や介護参加に対する周囲の理解など)への対応	こどもの頃からのキャリア教育の推進	その他	無回答
4,895 (〇は2つまで)	609	446	549	149	909	697	320	502	293	65	356

図表 3-3-68 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-69 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



(5) 産業・交流

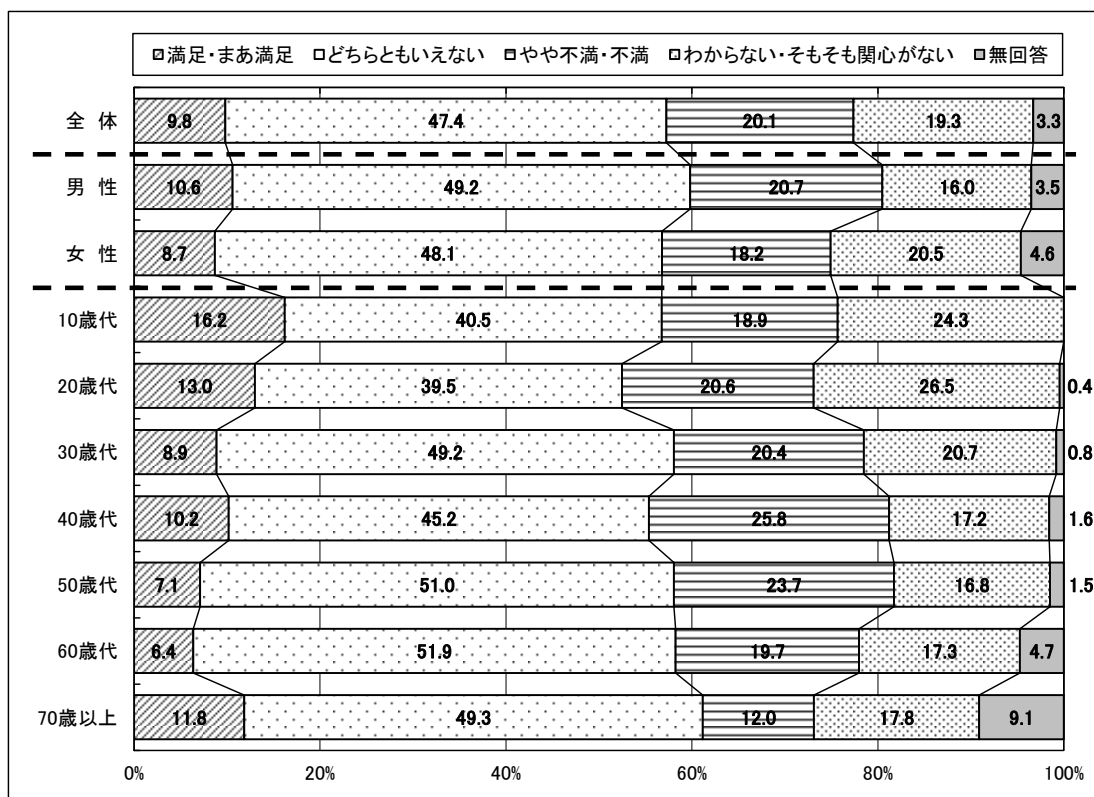
①シティプロモーション

本市に「訪れたい人」が増えるよう、さまざまな地域資源を活用し、まちのブランド力の向上や、まちの魅力の市内外への発信などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が47.4%で最も高く、次いで「やや不満・不満」の20.1%、「わからない・そもそも関心がない」の19.3%の順となっています。また、「満足・まあ満足」は9.8%で「やや不満・不満」を下回っています。
- 年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を下回っています。

図表3-3-70 「シティプロモーション」に対する満足度



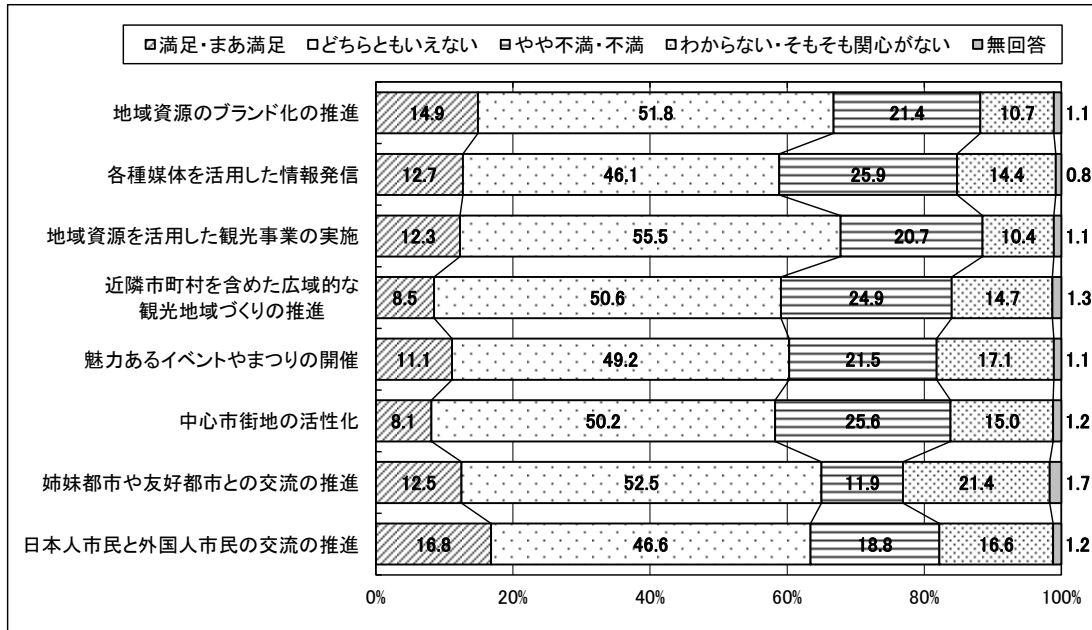
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「魅力あるイベントやまつりの開催(1,417件)」が最も多くなっています。

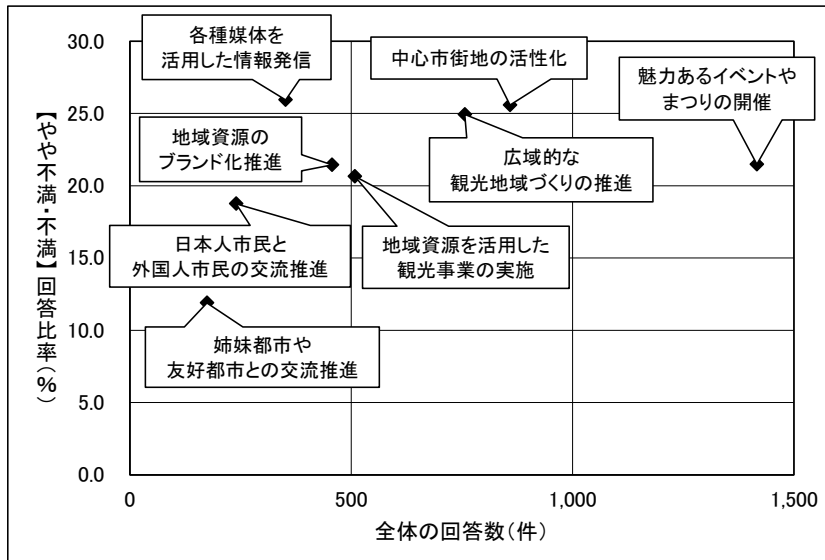
図表 3-3-71 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	地域資源のブランド化の推進	各種媒体を活用した情報発信	地域資源を活用した観光事業の実施	近隣市町村を含めた広域的な観光地域づくりの推進	魅力あるイベントやまつりの開催	中心市街地の活性化	姉妹都市や友好都市との交流の推進	日本人市民と外国人市民の交流の推進	その他	無回答
5,092 (〇は2つまで)	457	352	508	757	1,417	859	174	240	80	249

図表 3-3-72 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-73 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



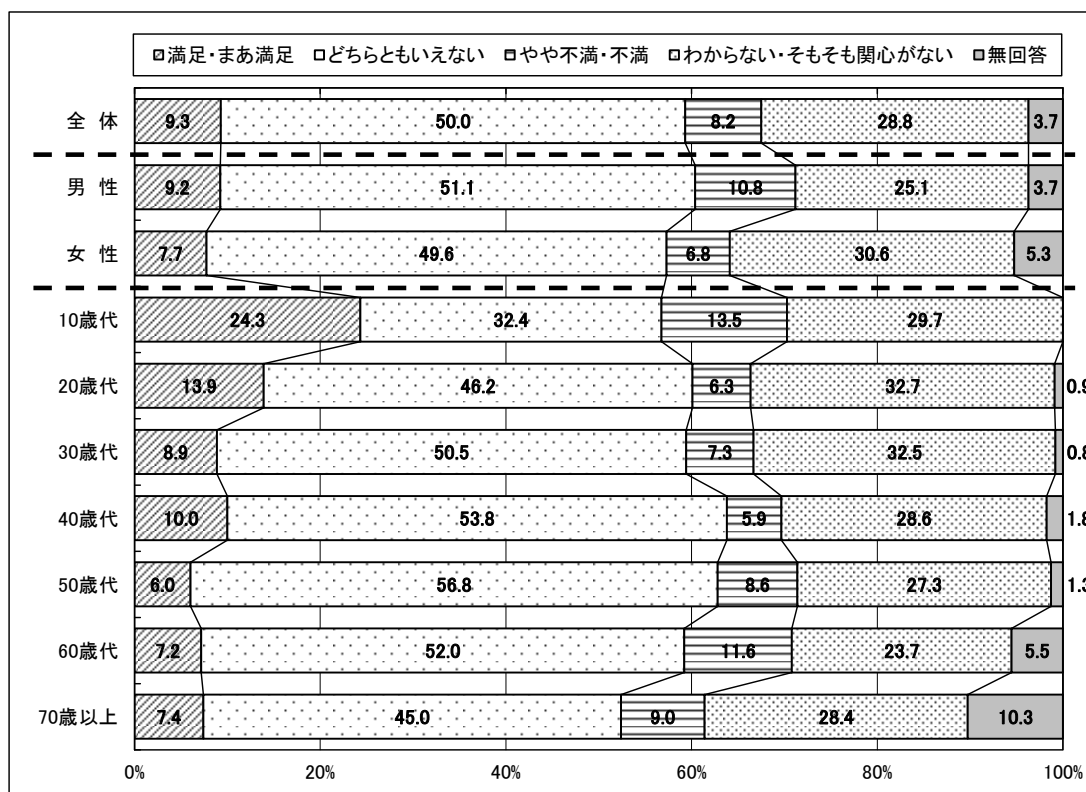
②農業

市民の農業に対する理解の促進、安定した農業経営と農業生産基盤の維持・向上への支援、優良な農地の保全などに取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が50.0%で最も高く、「わからない・そもそも関心がない」が28.8%でこれに次いでおり、「満足・まあ満足(9.3%)」「やや不満・不満(8.2%)」はいずれも10%未満となっています。また、年代別にみても概ね同様の傾向となっています。

図表3-3-74 「農業」に対する満足度



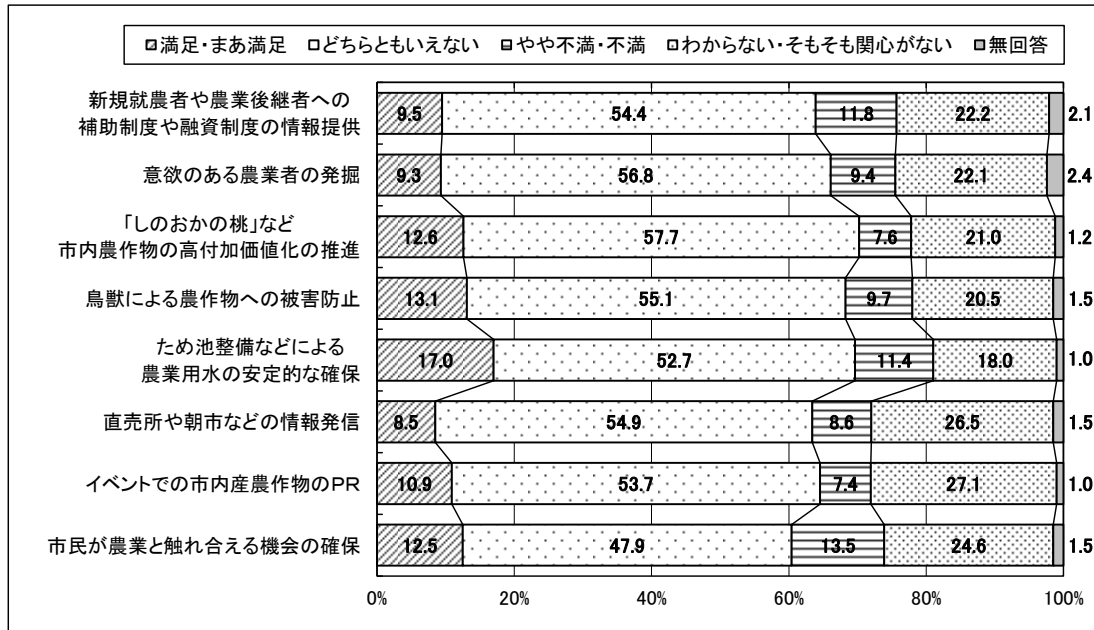
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「直売所や朝市などの情報発信(1,264件)」が最も多くなっています。

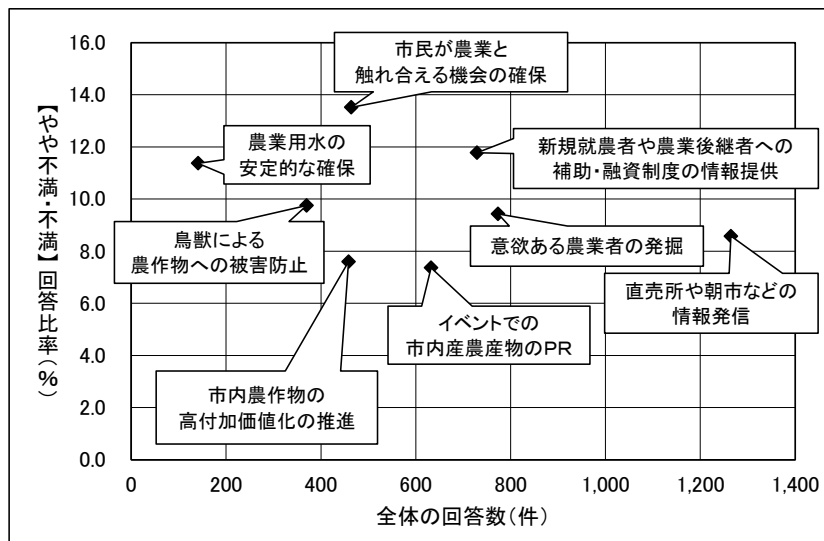
図表 3-3-75 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	新規就農者や農業後継者への補助制度や融資制度の情報提供	意欲のある農業者の発掘	「しのおかの桃」など市内農作物の高付加価値化の推進	鳥獣による農作物への被害防止	ため池整備などによる農業用水の安定的な確保	直売所や朝市などの情報発信	イベントでの市内産農作物のPR	市民が農業と触れ合える機会の確保	その他	無回答
5,172 (〇は2つまで)	729	774	458	370	141	1,264	632	464	64	276

図表 3-3-76 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-77 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



③商工業

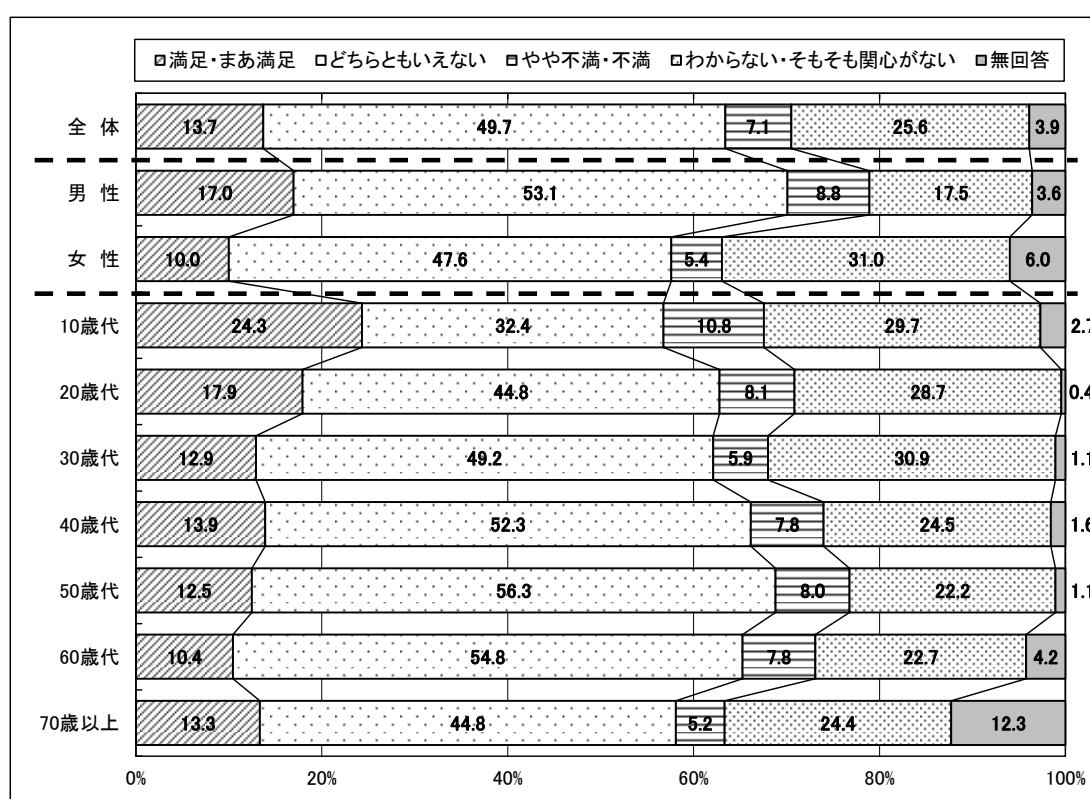
工業用地の整備と企業誘致、既存商工業の経営の支援、起業・創業希望者への支援、就職希望者や未就労者の就労への支援などに取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が49.7%で最も高く、次いで「わからない・そもそも関心がない」の25.6%、「満足・まあ満足」の13.7%の順であり、「やや不満・不満」は7.1%にとどまっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を上回っています。

図表3-3-78 「商工業」に対する満足度



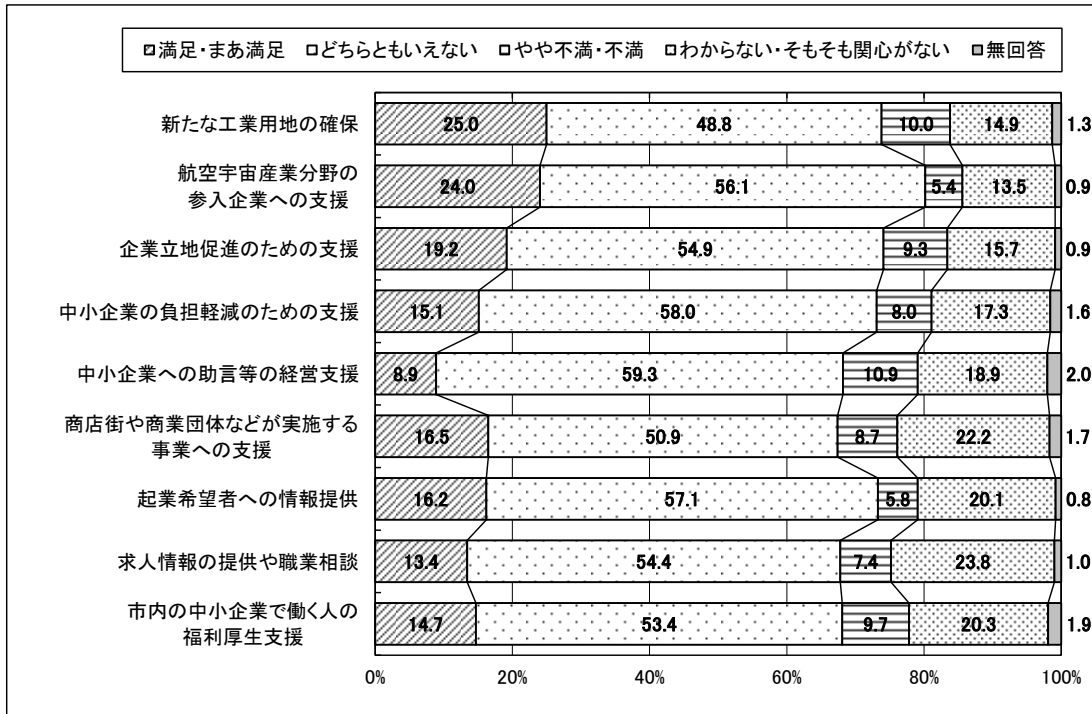
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「求人情報の提供や職業相談（824件）」や「中小企業の負担軽減のための支援（802件）」、「市内の中小企業で働く人の福利厚生支援（799件）」の回答数が多くなっています。

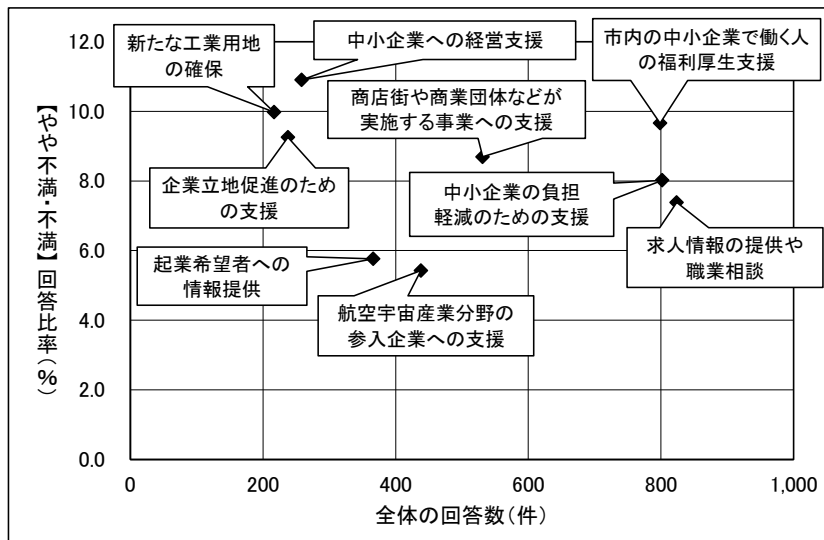
図表 3-3-79 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	新たな工業用地の確保	航空宇宙産業分野の参入企業への支援	企業立地促進のための支援	中小企業の負担軽減のための支援	中小企業への助言等の経営支援	商店街や商業団体などが実施する事業への支援	起業希望者への情報提供	求人情報の提供や職業相談	市内の中小企業で働く人の福利厚生支援	その他	無回答
4,928 (〇は2つまで)	217	438	238	802	258	531	366	824	799	82	373

図表 3-3-80 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-81 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



(6) 都市基盤

①市街地整備

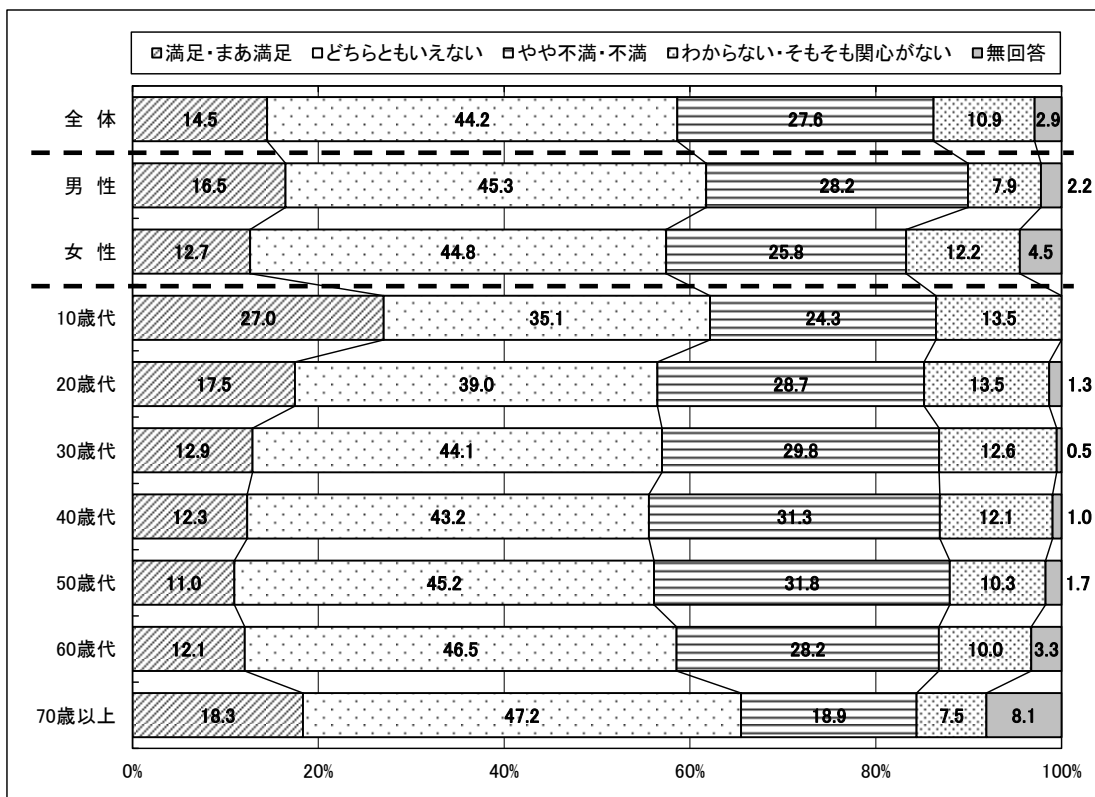
名鉄小牧線沿線を中心に、より多くの市民が便利で快適に暮らせる生活空間の確保や、都市景観の保全などに取り組んでいます。

<満足度>

○ 全体では、「どちらともいえない」が44.2%で最も高く、次いで「やや不満・不満」の27.6%、「満足・まあ満足」の14.5%、「わからない・そもそも関心がない」の10.9%の順であり、他の基本施策に比べて「やや不満・不満」の高さが目立ちます。

○ 年代別にみると、10歳代を除きいずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を大きく下回っています。

図表3-3-82 「市街地整備」に対する満足度



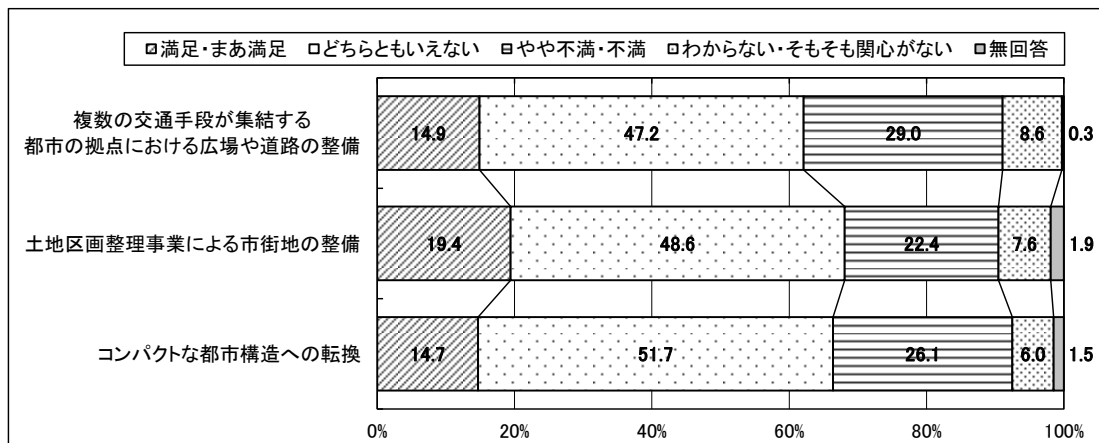
<今後より充実を図るべき取組>

○ 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「複数の交通手段が集結する都市の拠点における広場や道路の整備（1,640件）」が最も多くなっています。

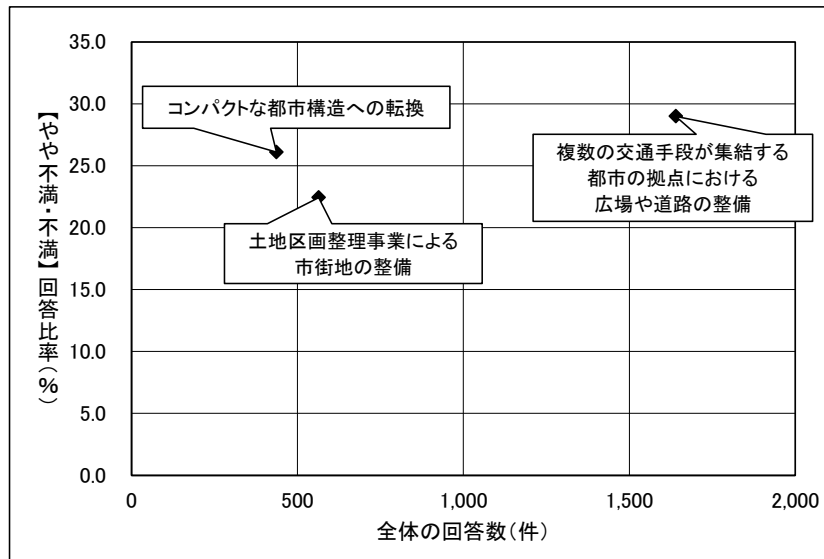
図表 3-3-83 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	複数の交通手段が集結する都市の拠点における広場や道路の整備	土地区画整理事業による市街地の整備	コンパクトな都市構造への転換	その他	無回答
3,112 (○は1つだけ)	1,640	564	437	188	283

図表 3-3-84 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-85 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



②都市交通

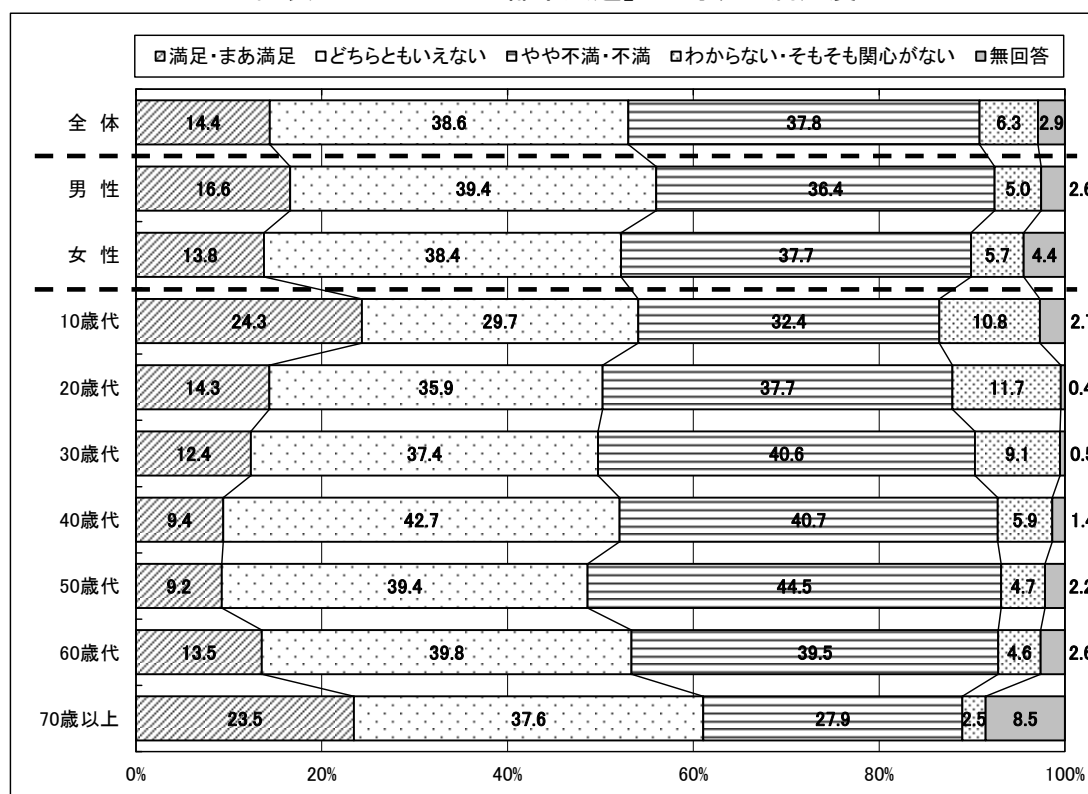
より効果的・効率的な公共交通ネットワークの形成、公共交通の利用の促進などに取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が38.6%で最も高く、次いで「やや不満・不満」の37.8%、「満足・まあ満足」の14.4%、「わからない・そもそも関心がない」の6.3%の順であり、「やや不満・不満」の高さと「わからない・そもそも関心がない」の低さが目立ちます。

○年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を大きく下回っています。

図表3-3-86 「都市交通」に対する満足度



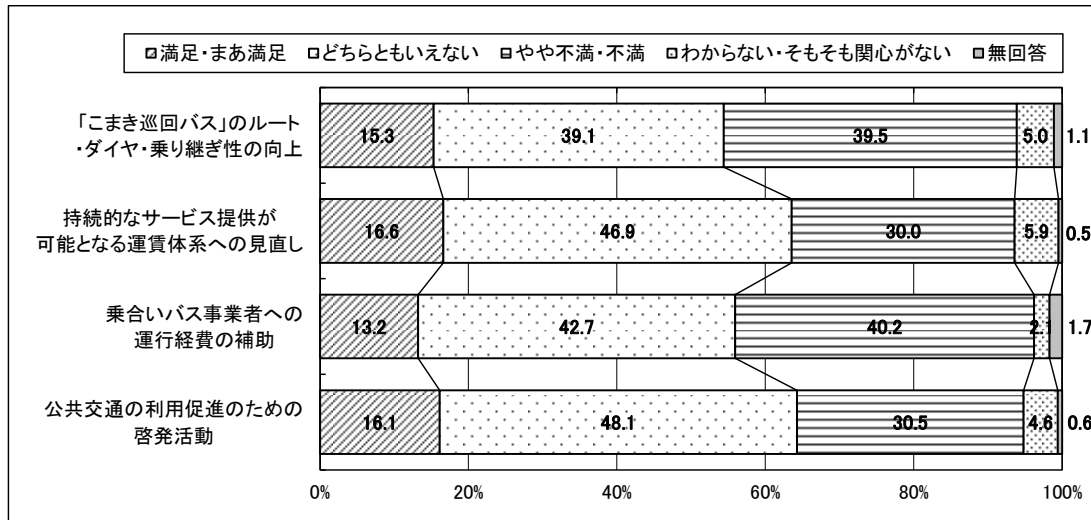
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「「こまき巡回バス」のルート・ダイヤ・乗り継ぎ性の向上(1,814件)」が最も多くなっています。

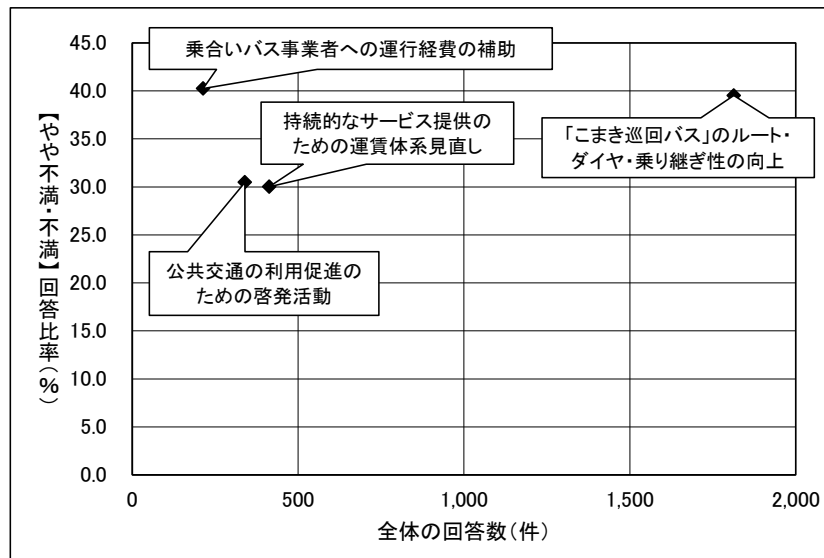
図表 3-3-87 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	「こまき巡回バス」のルート・ダイヤ・乗り継ぎ性の向上	持続的なサービス提供が可能となる運賃体系への見直し	乗合いバス事業者への運行経費の補助	公共交通の利用促進のための啓発活動	その他	無回答
3,112 (〇は1つだけ)	1,814	413	214	339	163	170

図表 3-3-88 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-89 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



③道路

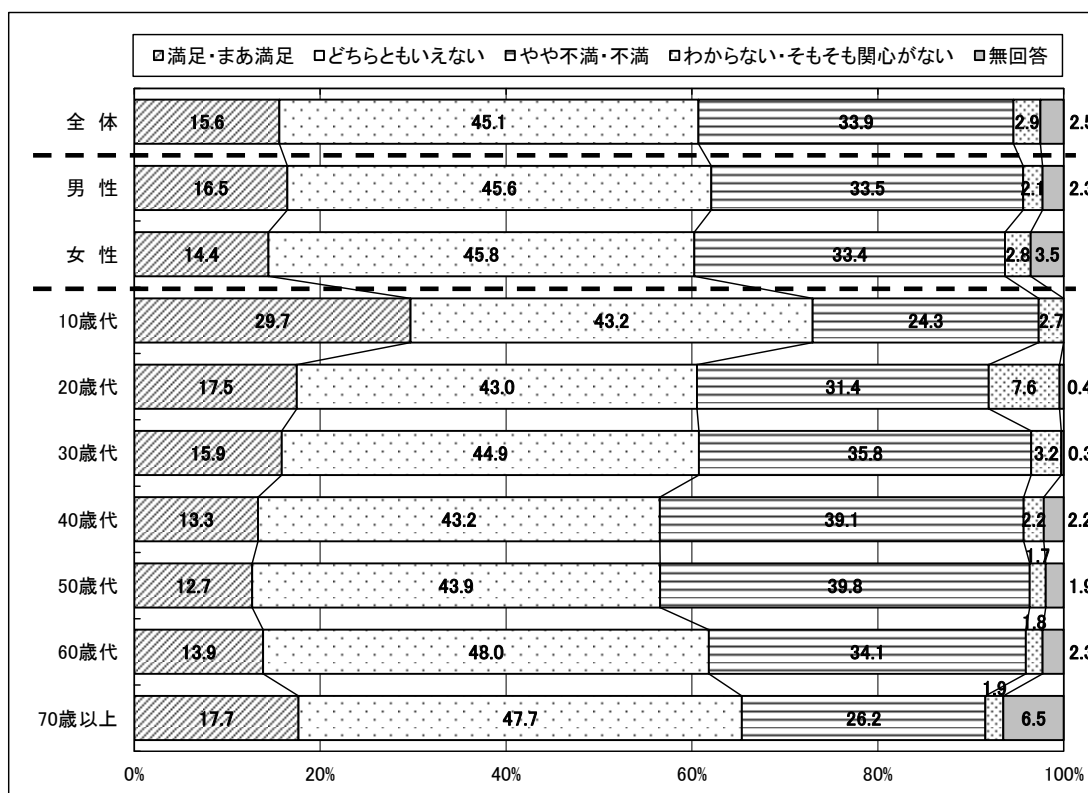
歩行者、自転車、自動車など道路を利用するすべての人々が、安全・快適で円滑に移動できる道路空間の確保に取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が45.1%で最も高く、次いで「やや不満・不満」の33.9%、「満足・まあ満足」の15.6%、「わからない・そもそも関心がない」の2.9%の順であり、「やや不満・不満」の高さと「わからない・そもそも関心がない」の低さが目立ちます。

○年代別にみると、10歳代を除きいずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を大きく下回っています。

図表3-3-90 「道路」に対する満足度



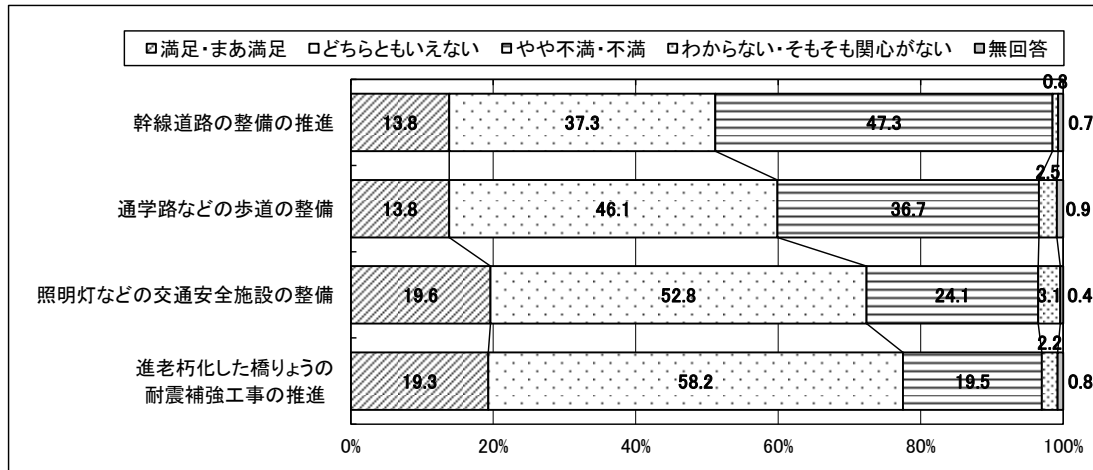
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「照明灯などの交通安全施設の整備（1,112件）」が最も多くなっています。

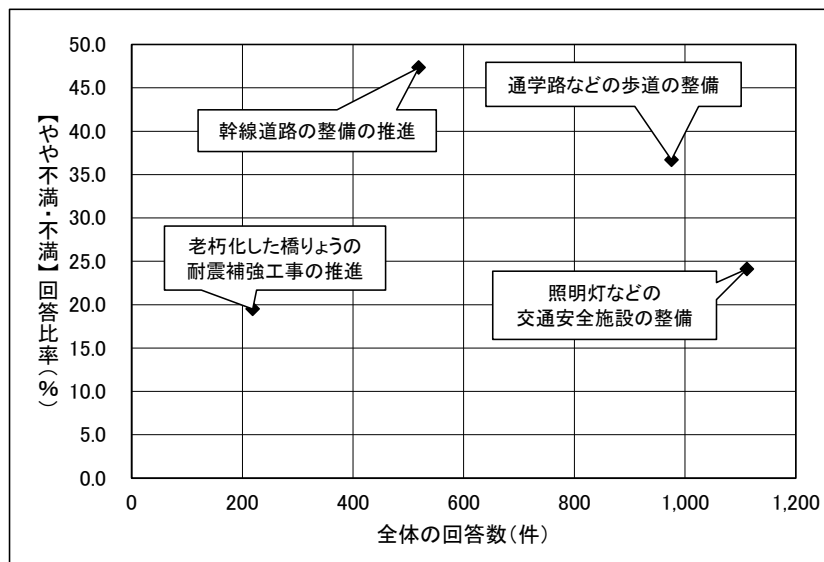
図表 3-3-91 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	幹線道路の整備の推進	通学路などの歩道の整備	照明灯などの交通安全施設の整備	進老朽化した橋りよの耐震補強工事の推進	その他	無回答
3,112 (〇は1つだけ)	519	976	1,112	219	180	107

図表 3-3-92 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-93 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



④上水道

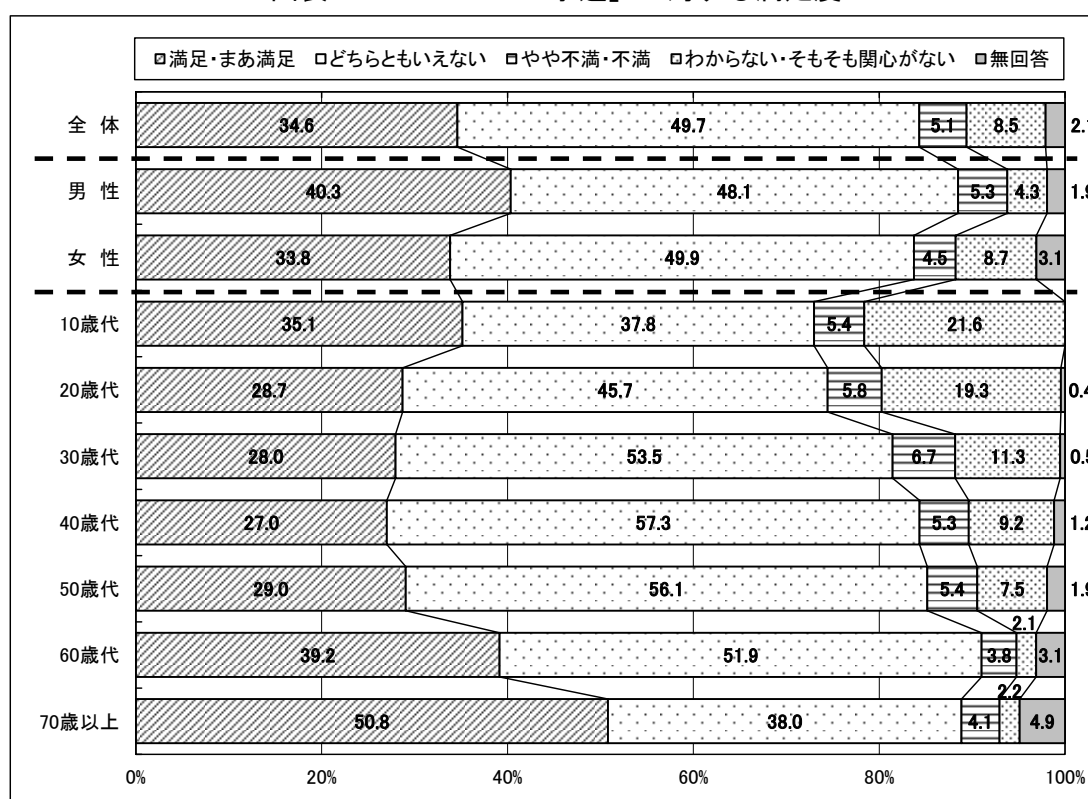
市民の暮らしや企業活動を支えるため、安全でおいしい水道水の安定供給や水道事業の健全経営などに取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が49.7%で最も高く、「満足・まあ満足」が34.6%でこれに次いでおり、他の基本施策に比べて「満足・まあ満足」の高さが目立ちます。また、「やや不満・不満」「わからない・そもそも関心がない」はそれぞれの5.1%、8.5%にとどまっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を20ポイント超上回っています。

図表3-3-94 「上水道」に対する満足度



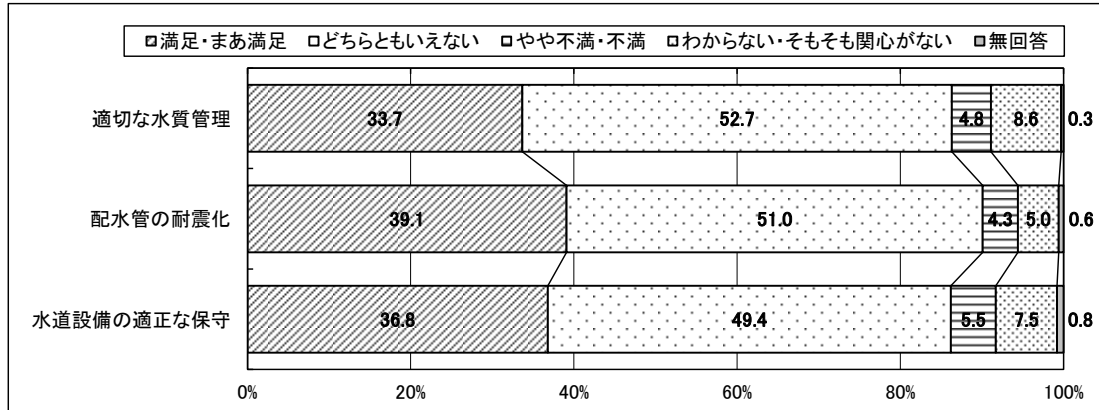
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「適切な水質管理（1,508件）」が最も多くなっています。

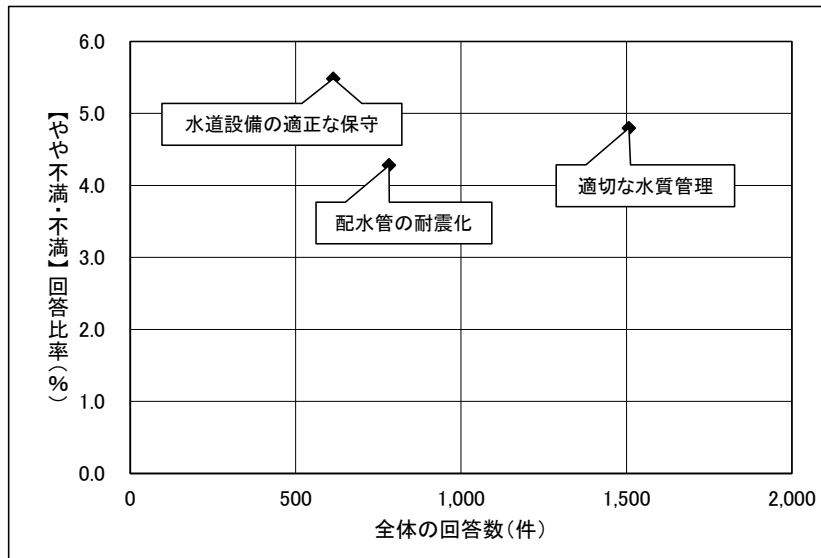
図表 3-3-95 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	適切な水質管理	配水管の耐震化	水道設備の適正な保守	その他	無回答
3,112 (○は1つだけ)	1,508	783	614	49	159

図表 3-3-96 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-97 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



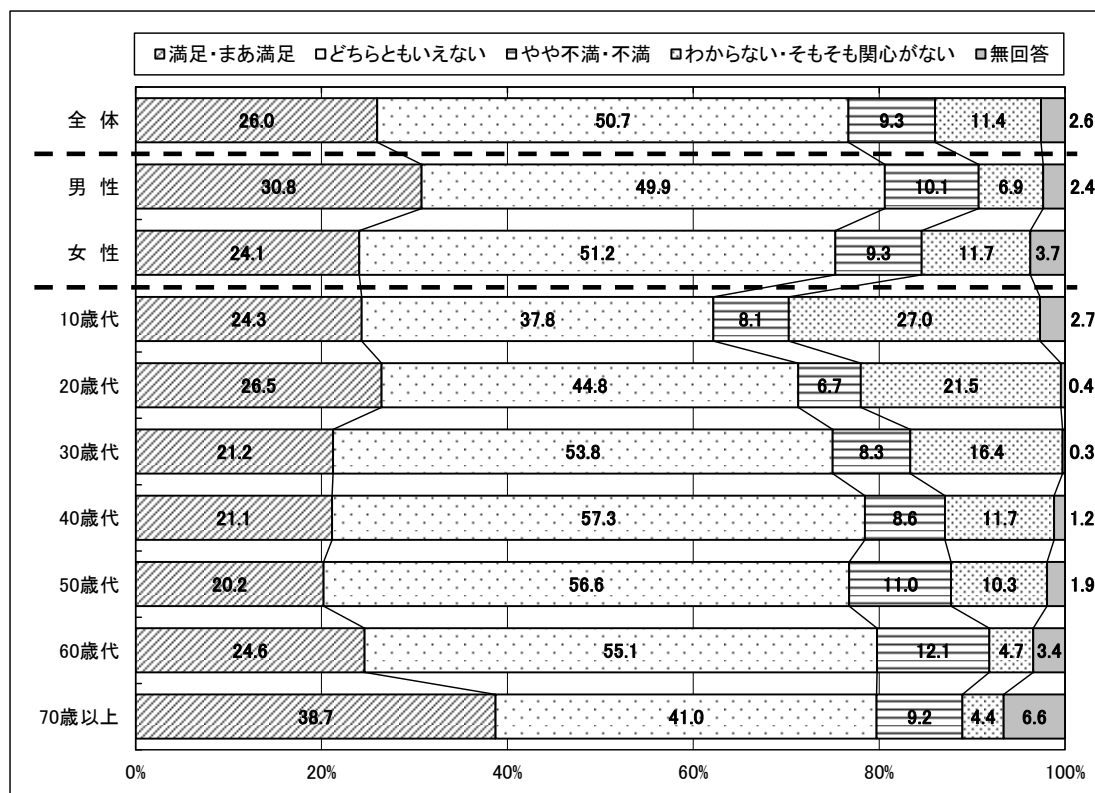
⑤下水道

公共下水道の計画的な整備、耐用年数が経過した老朽管などの更新、公共下水道への接続の促進などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 50.7% で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 26.0%、「わからない・そもそも関心がない」の 11.4% の順であり、「やや不満・不満」は 9.3% にとどまっています。
- 年代別にみると、50 歳代を除きいずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を 10 ポイント超上回っています。

図表 3-3-98 「下水道」に対する満足度



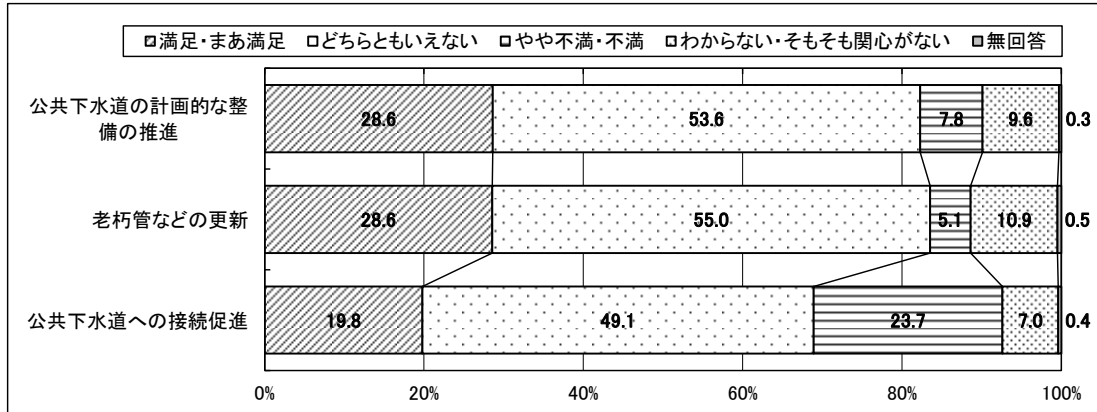
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「老朽管などの更新 (1,322 件)」が最も多く、「公共下水道の計画的な整備の推進 (1,099 件)」がこれに次いでいます。

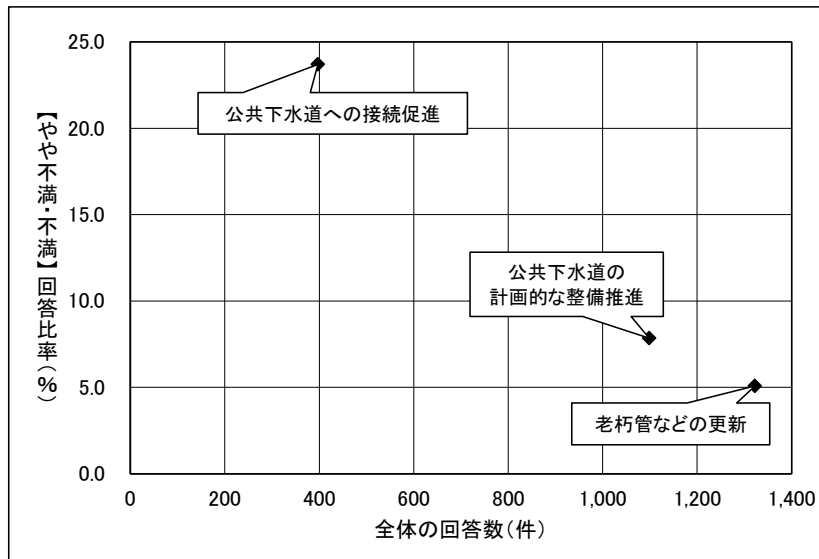
図表 3-3-99 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	公共下水道の計画的な整備の推進	老朽管などの更新	公共下水道への接続促進	その他	無回答
3,112 (〇は1つだけ)	1,099	1,322	397	80	214

図表 3-3-100 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-101 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



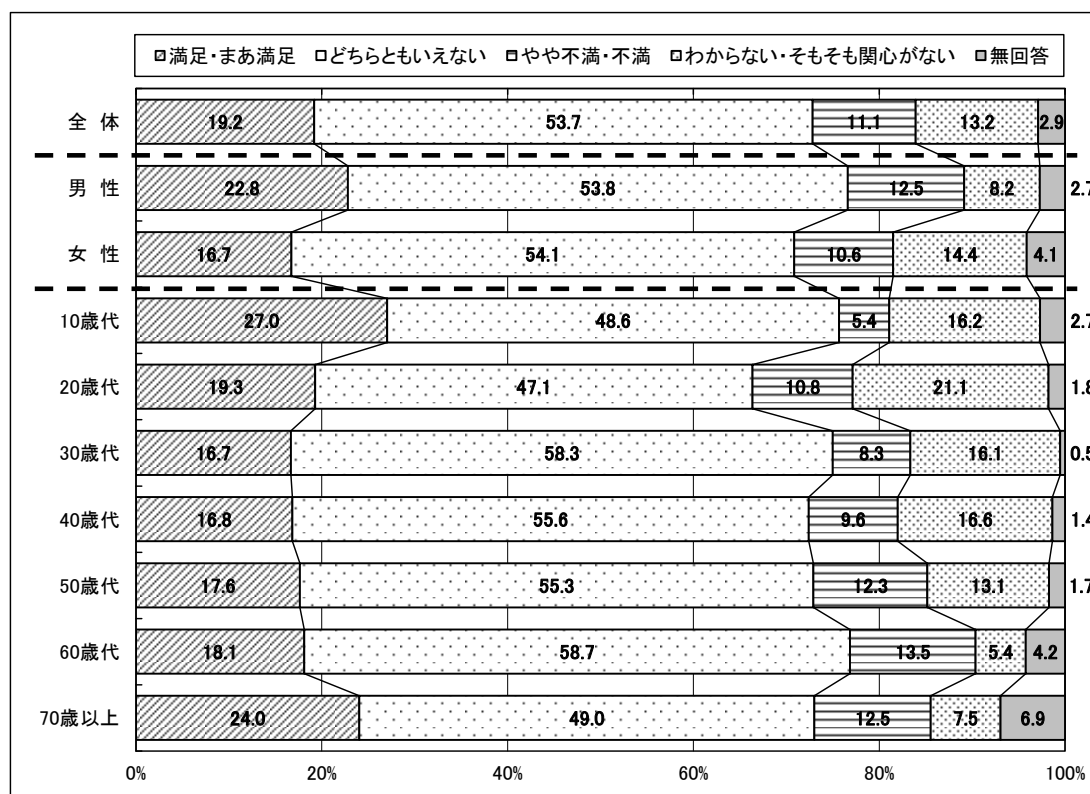
⑥河川・水路

水害が起こりにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に食い止めるため、浸水区域の解消や河川への雨水流出の抑制などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が53.7%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の19.2%、「わからない・そもそも関心がない」の13.2%、「やや不満・不満」の11.1%の順となっています。
- 年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を上回っています。

図表 3-3-102 「河川・水路」に対する満足度



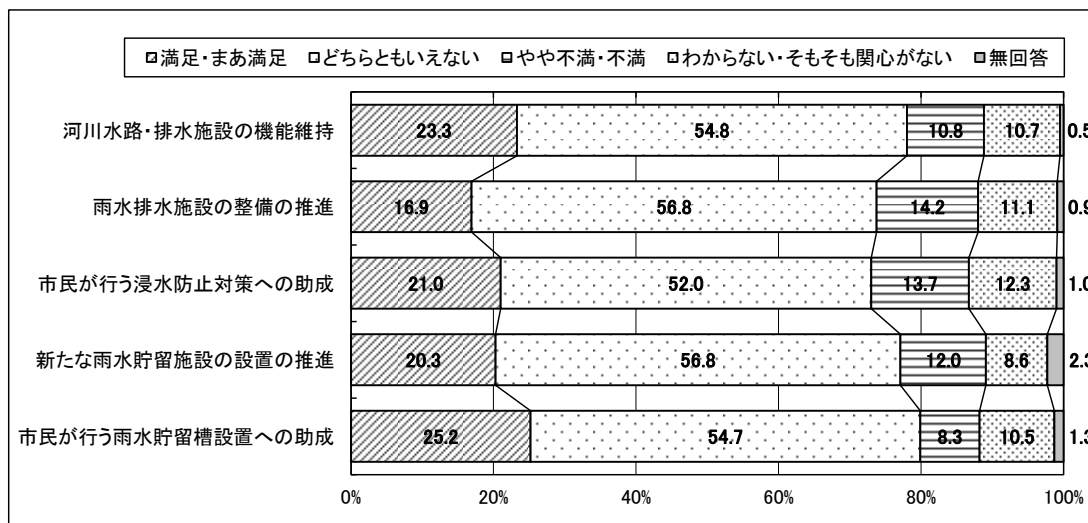
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「河川水路・排水施設の機能維持（1,621件）」が最も多く、「雨水排水施設の整備の推進（1,421件）」がこれに次いでいます。

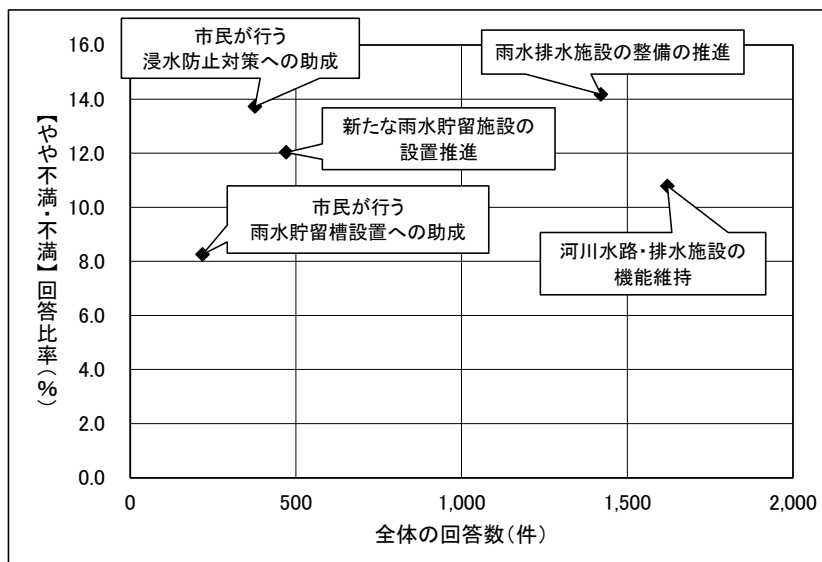
図表 3-3-103 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	河川水路・排水施設の機能維持	雨水排水施設の整備の推進	市民が行う浸水防止対策への助成	新たな雨水貯留施設の設置の推進	市民が行う雨水貯留槽設置への助成	その他	無回答
4,425 (○は2つまで)	1,621	1,421	376	471	219	74	243

図表 3-3-104 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-105 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



⑦公園・緑地・緑道

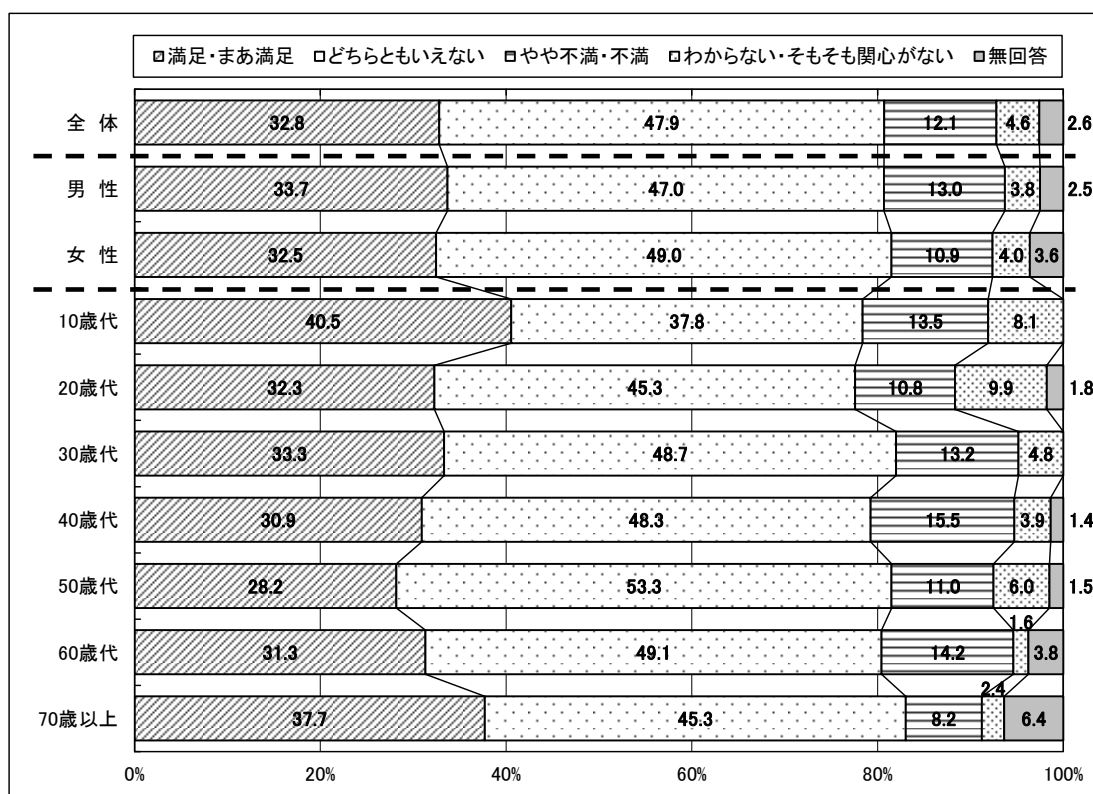
市民の緑化に対する意識啓発、安全で快適な公園の維持、公園・緑地・緑道の整備などに取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が47.9%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の32.8%、「やや不満・不満」の12.1%の順であり、「わからない・そもそも関心がない」は4.6%にとどまっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を上回っています。

図表3-3-106 「公園・緑地・緑道」に対する満足度



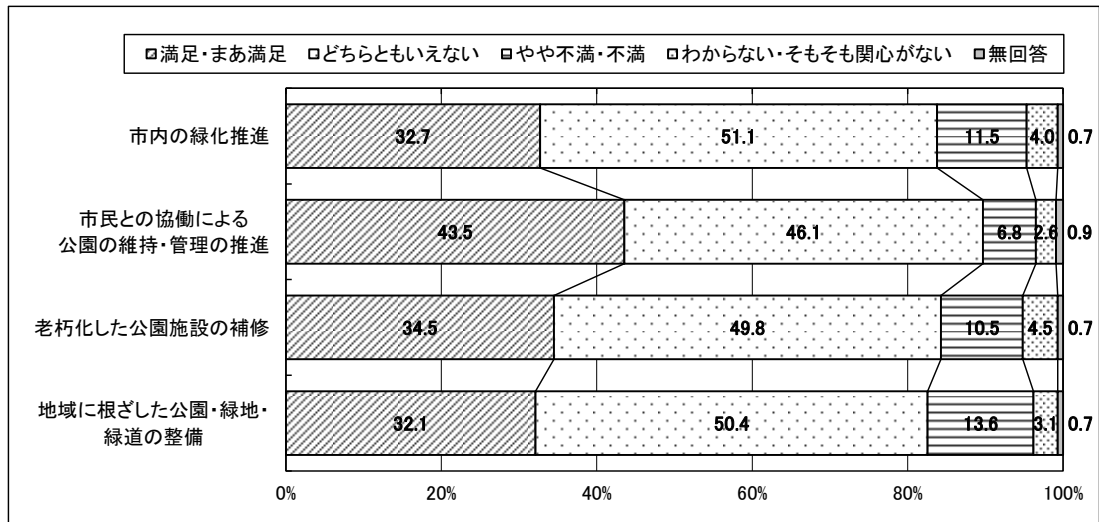
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「地域に根ざした公園・緑地・緑道の整備（1,171件）」が最も多くなっています。

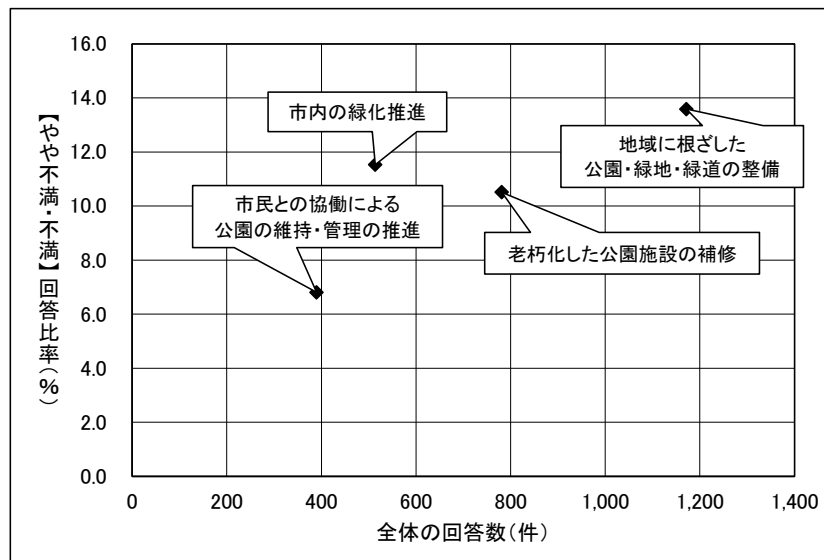
図表 3-3-107 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	市内の緑化推進	市民との協働による公園の維持・管理の推進	老朽化した公園施設の補修	地域に根ざした公園・緑地・緑道の整備	その他	無回答
3,112 (〇は1つだけ)	514	390	781	1,171	99	157

図表 3-3-108 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-109 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



⑧住宅

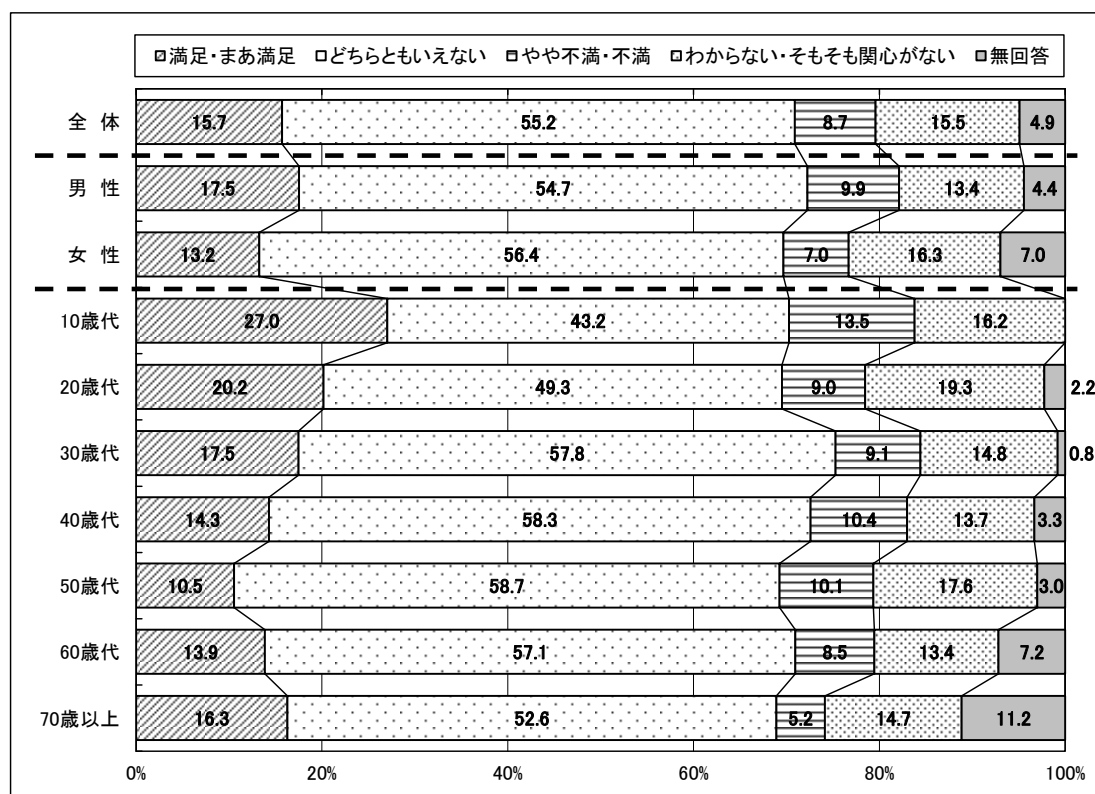
安全・安心で災害に強い良質な住宅ストックの形成、市営住宅の適正な管理・運営などに取り組んでいます。

<満足度>

○ 全体では、「どちらともいえない」が 55.2% で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 15.7%、「わからない・そもそも関心がない」の 15.5% の順であり、「やや不満・不満」は 8.7% にとどまっています。

○ 年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を上回っています。

図表 3-3-110 「住宅」に対する満足度



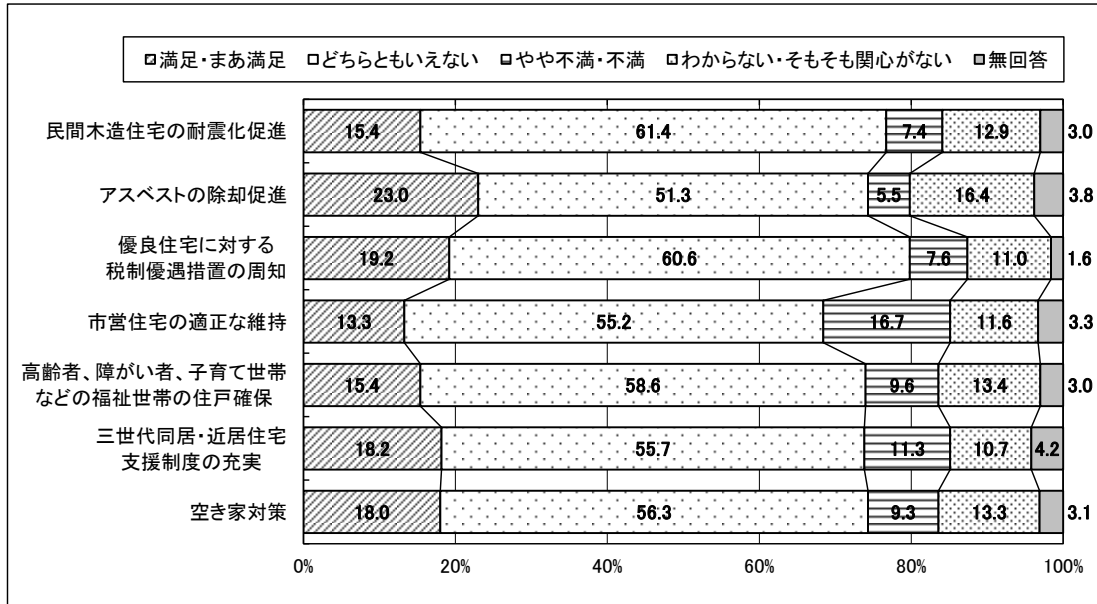
<今後より充実を図るべき取組>

○ 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「空き家対策 (1,135 件)」が最も多く、「高齢者、障がい者、子育て世帯などの福祉世帯の住戸確保 (1,002 件)」がこれに次いでいます。

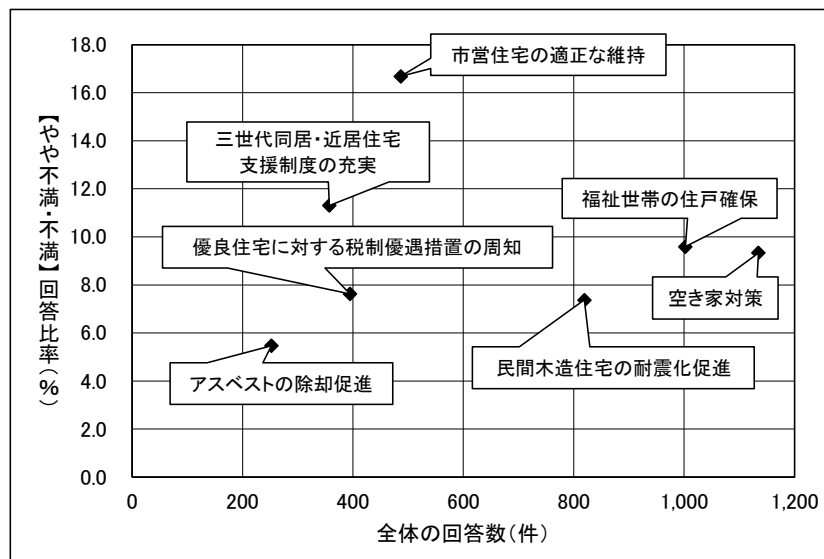
図表 3-3-111 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	民間木造住宅の耐震化促進	アスベストの除却促進	優良住宅に対する税制優遇措置の周知	市営住宅の適正な維持	高齢者、障がい者、子育て世帯などの福祉世帯の住戸確保	三世同居・近居住宅支援制度の充実	空き家対策	その他	無回答
4,723 (〇は2つまで)	819	252	395	487	1,002	357	1,135	53	222

図表 3-3-112 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-113 今後より充実を図るべき取組の回答数（横軸）とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



(7) その他

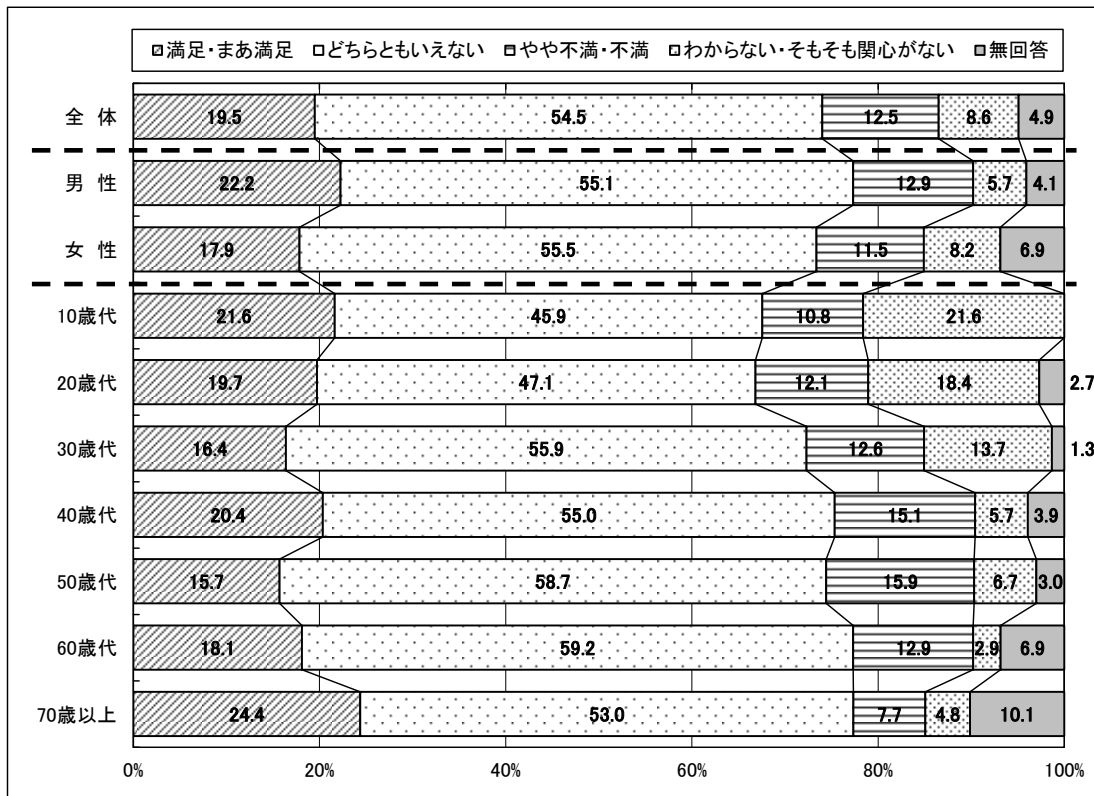
①行政サービス

行政サービスの受益者であり、負担者でもある市民の満足度を高められるよう、サービスの質の確保・向上などに取り組んでいます。

<満足度>

- 全体では、「どちらともいえない」が 54.5%で最も高く、次いで「満足・まあ満足」の 19.5%、「やや不満・不満」の 12.5%の順であり、「わからない・そもそも関心がない」は 8.6%にとどまっています。
- 年代別にみると、50 歳代では「満足・まあ満足 (15.7%) 」と「やや不満・不満 (15.9%) 」が概ね同値となっているほか、「わからない・そもそも関心がない」は年代が上がるほど低くなっています。

図表 3-3-114 「行政サービス」に対する満足度



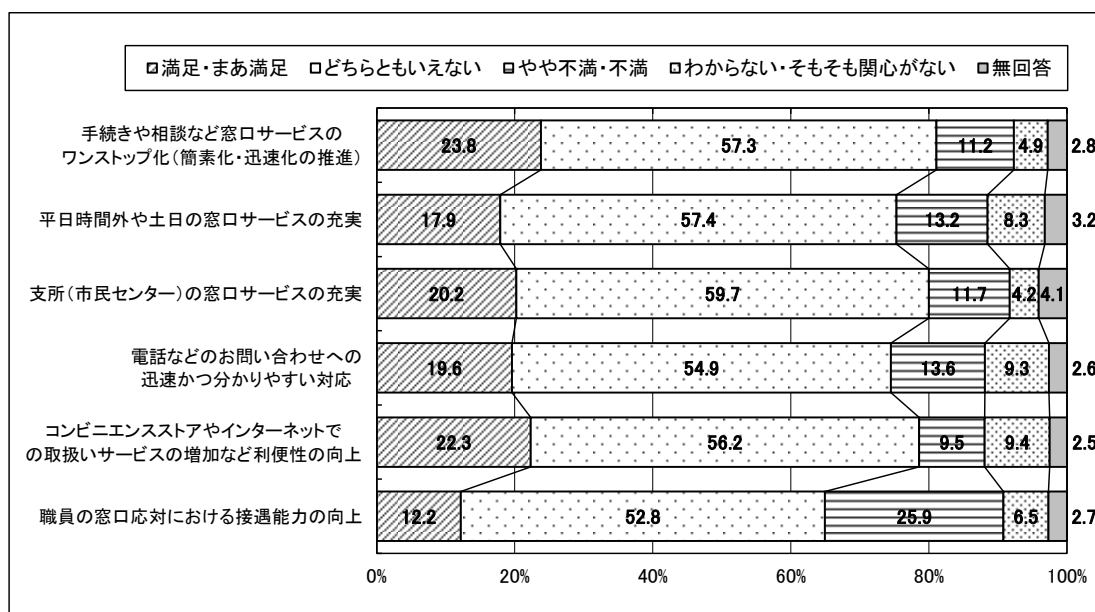
<今後より充実を図るべき取組>

- 「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「平日時間外や土日の窓口サービスの充実 (1,484 件)」が最も多く、「手続きや相談など窓口サービスのワンストップ化 (簡素化・迅速化の推進) (1,007 件)」がこれに次いでいます。

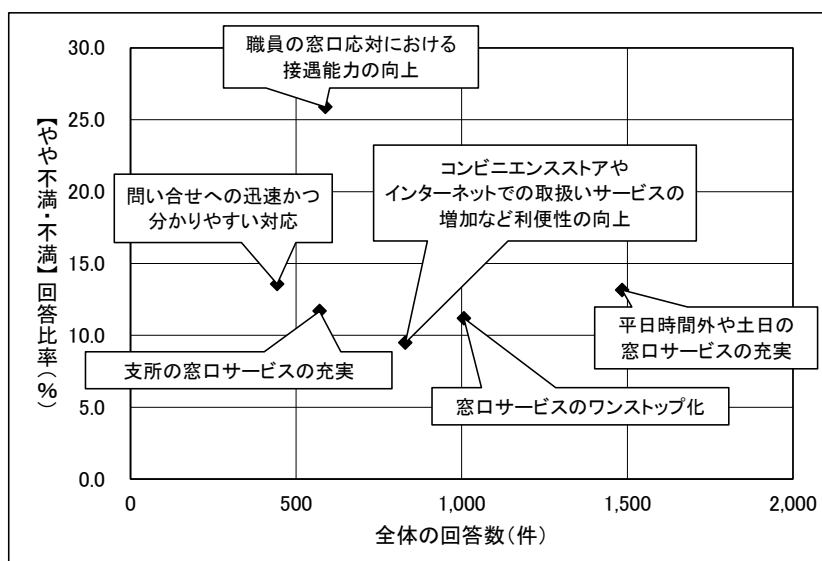
図表 3-3-115 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	手続きや相談など窓口サービスのワンストップ化(簡素化・迅速化の推進)	平日時間外や土日の窓口サービスの充実	支所(市民センター)の窓口サービスの充実	電話などのお問い合わせへの迅速かつ分かりやすい対応	コンビニエンスストアやインターネットでの取扱いサービスの増加など利便性の向上	職員の窓口対応における接客能力の向上	その他	無回答
5,176 (〇は2つまで)	1,007	1,484	571	443	830	589	81	171

図表 3-3-116 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-117 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



②地域協働

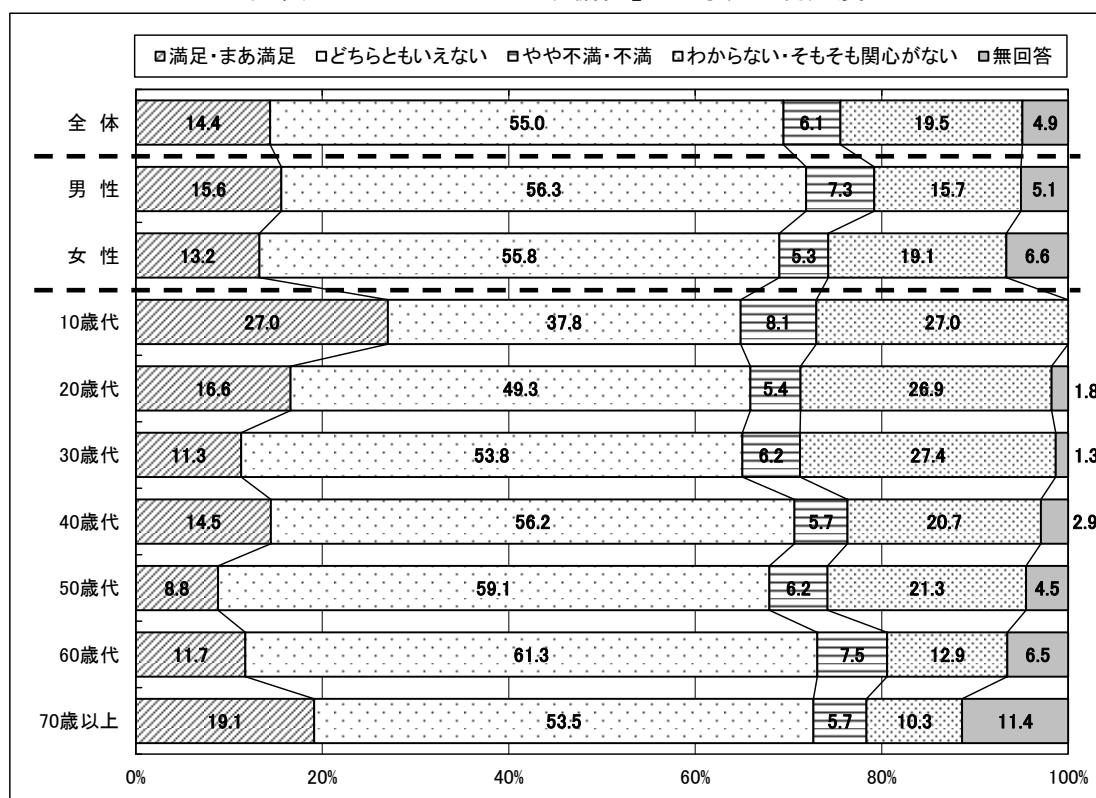
市民と行政が適切な役割分担のもと、お互いを尊重しながら、同じ目的・目標を共有し、その達成に向け、協働によるまちづくりに取り組んでいます。

<満足度>

○全体では、「どちらともいえない」が55.0%で最も高く、次いで「わからない・そもそも関心がない」の19.5%、「満足・まあ満足」の14.4%の順であり、「やや不満・不満」は6.1%にとどまっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「満足・まあ満足」が「やや不満・不満」を上回っています。

図表3-3-118 「地域協働」に対する満足度



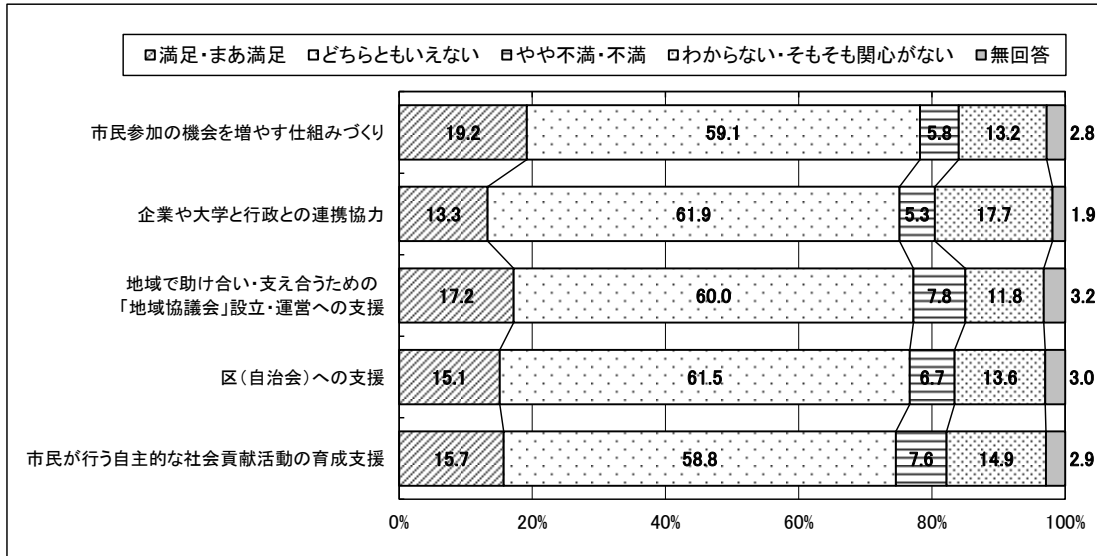
<今後より充実を図るべき取組>

○「今後より充実を図るべき取組」の回答数をみると、「市民参加の機会を増やす仕組みづくり（942件）」や「区（自治会）への支援（939件）」、「地域で助け合い・支え合うための「地域協議会」設立・運営への支援（902件）」の回答数が多くなっています。

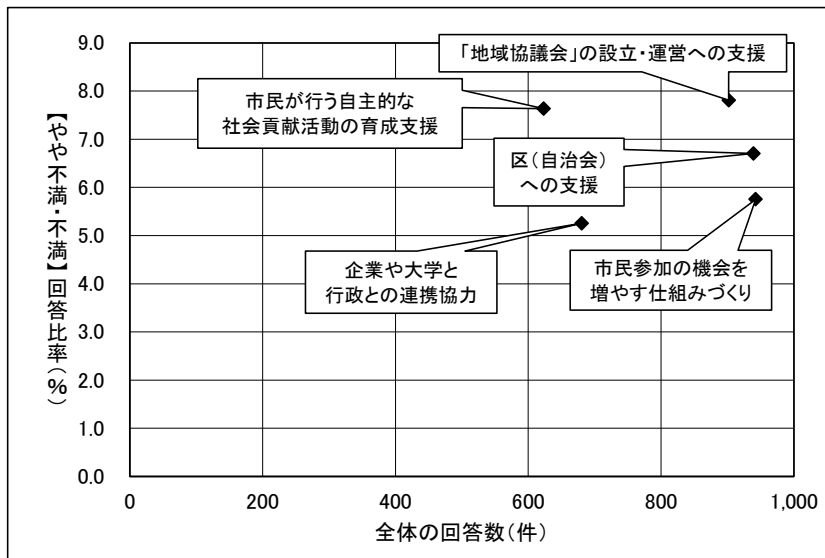
図表 3-3-119 今後より充実を図るべき取組の回答数

回答数	市民参加の機会を増やす仕組みづくり	企業や大学と行政との連携協力	地域で助け合い・支え合うための「地域協議会」設立・運営への支援	区(自治会)への支援	市民が行う自主的な社会貢献活動の育成支援	その他	無回答
4,498 (〇は2つまで)	942	680	902	939	623	76	335

図表 3-3-120 今後より充実を図るべき取組を選んだ方の基本施策に対する満足度別割合



図表 3-3-121 今後より充実を図るべき取組の回答数(横軸)とその取組を選んだ方の基本施策に対する「やや不満・不満」の回答率(縦軸)の分布図



小牧市の新しいまちづくりに向けた市民意向調査

—みなさんの声を今後のまちづくりに活かします—

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、小牧市では、市政全般に関わるまちづくりの指針となるもので、市が目指すまちづくりの方向性やそれを実現するための施策などを定めた、市の最上位計画である「第6次小牧市総合計画新基本計画（計画期間：平成26～30年度）」に基づき、さまざまな施策を推進しています。

本年、新基本計画が最終年度を迎えることから、小牧市では計画の名称を「小牧市まちづくり推進計画」と変更し、平成31～38年度を計画期間とする新たな計画を策定することとしました。

今回のアンケート調査は、計画の策定にあたっての重要な基礎資料として活用させていただくため、小牧市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度や、今後、より充実を図るべき取組などについて、市民の皆様のお考えを把握することを目的に実施するものです。

お忙しい中、誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年6月
小 牧 市

ご記入に際しての注意事項など

1 ご記入に際してのお願い

- 本調査にお答えいただくのは、小牧市に住民登録している満18歳以上の方から、無作為に選ばれた6,000人の方々です。
- 本調査は無記名で行い、回答結果は統計的に処理しますので、ご協力いただいた皆様にご迷惑をかけることは一切ありません。どうぞ思ったままをお答えください。

2 ご記入上の注意事項

- 封筒の宛名に表示のあるご本人様をご記入ください。ただし、ご本人様の記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにお答えになっていただいても構いません。
- お答えは、次ページ以降のアンケート調査票に直接ご記入ください。
- 黒のボールペンまたは鉛筆で、はっきりとご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。なお、お答えの中で「その他」を選択した場合には、カッコ内に具体的な内容をご記入ください。

3 返送期限

- ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**6月15日（金）**までに郵便ポストへ投函してください。
- 切手を貼らずにお出してください。また、返信用封筒にお名前やご住所を記入する必要はありません。

<本調査に関する問い合わせ先>

小牧市役所 市長公室 秘書政策課（担当：安藤、梅村）

TEL：0568-76-1105（直通） E-mail：hishoseisaku@city.komaki.lg.jp

1 はじめに「あなたご自身のこと」について、うかがいます。

問1) あなたの性別は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2) あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 | 5 50歳代 |
| 6 60歳代 | 7 70歳以上 | | | |

問3) あなたの職業は、次のどれにあたりますか。なお、兼業の方は、主な職業を次の中から1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 勤め人(会社員、公務員など) | 2 非常勤(パート、アルバイトなど) |
| 3 自営業 | 4 家事専業 |
| 5 学生 | 6 無職、その他 |

問4) あなたの通勤・通学先は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|------------------------------|--------|--------|---------------|-------|
| 1 小牧市内 | 2 春日井市 | 3 犬山市 | 4 江南市 | 5 岩倉市 |
| 6 大口町 | 7 扶桑町 | 8 名古屋市 | | |
| 9 その他の県内市町村(具体名 _____ 市・町・村) | | | | |
| 10 県外(具体名 _____ 県) | | | 11 通勤・通学していない | |

問5) あなたのお住いの小学校区は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| 1 小牧小学校区 | 2 村中小学校区 | 3 小牧南小学校区 | 4 三ツ渚小学校区 |
| 5 味岡小学校区 | 6 篠岡小学校区 | 7 北里小学校区 | 8 米野小学校区 |
| 9 一色小学校区 | 10 小木小学校区 | 11 小牧原小学校区 | 12 本庄小学校区 |
| 13 桃ヶ丘小学校区 | 14 陶小学校区 | 15 光ヶ丘小学校区 | 16 大城小学校区 |

※小学校区がわからない方は、町名をご記入ください。 小牧市 _____

問6) あなたは、市外から市内に引っ越しをされたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|------|
| 1 ある | 2 ない | ⇒問9へ |
|------|------|------|

問7) どちらから市内に引っ越しをされましたか。直近にお住まいになっていたところを、次の中から1つだけ選んだ上、カッコ内に県内の場合は市町村名を、県外の場合は都道府県名をご記入ください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 県内 (市町村名 _____) | 2 県外 (都道府県名 _____) |
|--------------------|---------------------|

問 8) 市外から市内に引っ越された理由は、次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 市内に土地や家屋があるため | 8 学校の都合 |
| 2 身内の面倒をみるため | 9 住環境が良いため(交通・買物・治安など) |
| 3 家業を継ぐため | 10 市民サービスが充実しているため |
| 4 故郷に愛着があるため | 11 田舎暮らしに魅力を感じたため |
| 5 市内で就職するため | 12 地域の歴史や文化に魅力を感じたため |
| 6 転勤など仕事の事情 | 13 その他 |
| 7 結婚のため | () |

問 9) あなたは、小牧市にお住まいになって、通算で何年になりますか。(○は1つだけ)

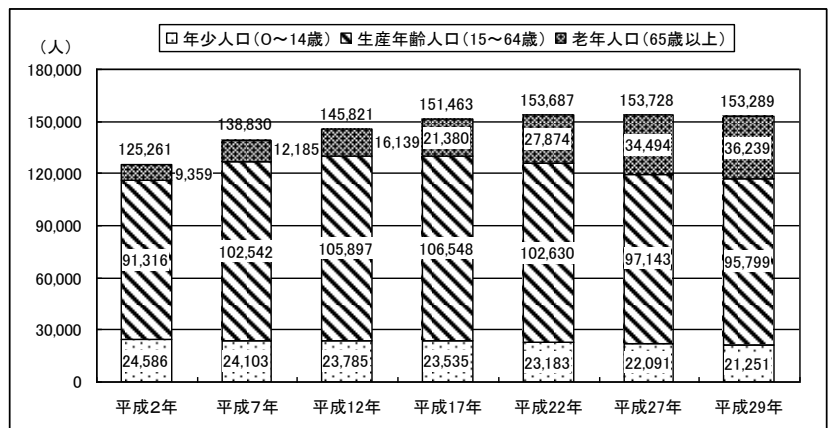
- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上5年未満 | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上 | |

2 【参考データ】小牧市の人口および財政の動向

【人口の動向】

○平成 2 (1990) 年以降、小牧市の人口は平成 27 (2015) 年まで増え続けているものの、増加人口は平成 2 (1990)～7 (1995) 年が 13,569 人であったのに対し、平成 22 (2010)～27 (2015) 年では 41 人と大幅に縮小し、平成 29 (2017) 年には減少に転じています。

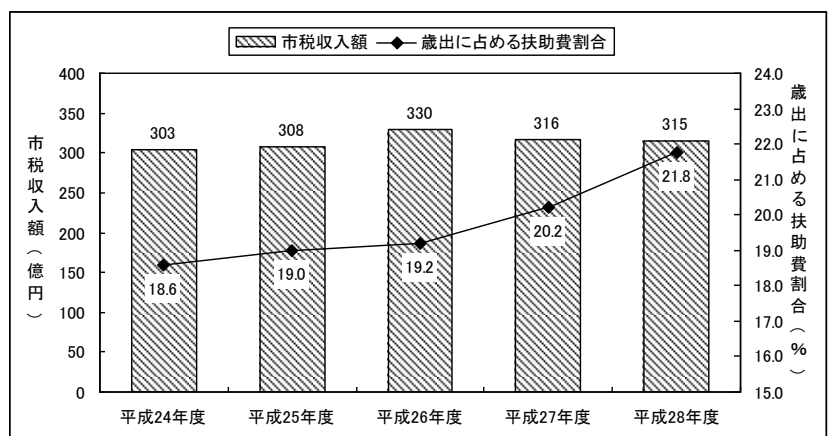
○その内訳をみると、地域の経済社会を支える中心的な世代である生産年齢人口(15～64歳)が平成 17 (2005) 年をピークに減少傾向に転じている一方、老年人口(65歳以上)が一貫して増え続けているのが特徴的といえます。



【財政の動向①】

○直近 5 年間の市税収入は、平成 26 (2014) 年度に 330 億円まで増加した以外は、横ばいまたは微増傾向となっています。

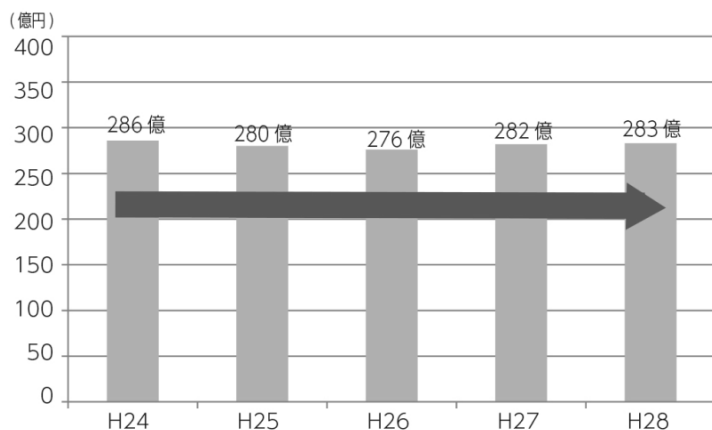
○人口構成の変化を背景に、歳出総額に占める扶助費(社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童などに対する様々な支援に要する経費)の割合は一貫して上昇傾向にあり、今後さらに上昇すると見込まれています。



【財政の動向②】

○貯金（基金）を維持し、借金（市債）を着実に減らしており、平成 28 年度には貯金より借金が少なくなっています。

貯 基金残高の推移

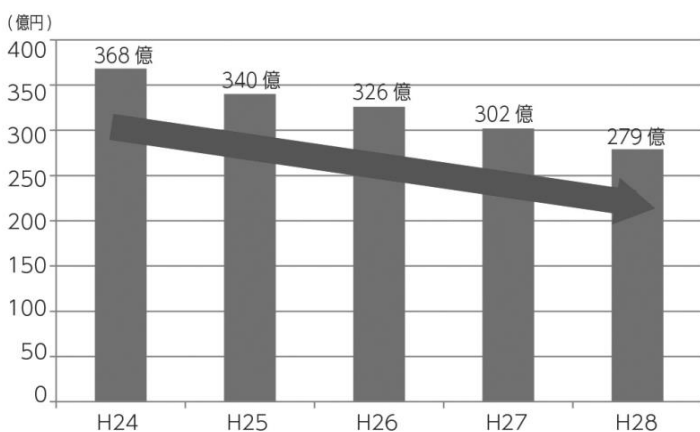


基金とは・・・

計画的な財政運営を行うための
貯金のこと

病院建設など特定の目的のために積み立てる基金と年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金などがあります。

借 市債残高の推移



市債とは・・・

市が銀行などから調達する
借入金のこと

学校や福祉施設などを建設する場合のように、長期間にわたって多くの市民が利用することができ、多額の費用が必要なときに活用しています。

財政の規模に対する市債の借入状況の指標は良好です。（県内第2位）

市債の適切な活用により、現在の市民と将来の市民の負担の公平性を担保するとともに、将来世代に過度に負担を先送りしない財政運営に努めています。

■健全化を図る指標

将来負担比率 H28 △75.3%

※将来負担比率は、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標であり、350%以上になると早期に財政の健全化を図らなければなりません。

小牧市の将来負担比率は、マイナス 75.3%となっており、実質的な将来負担額が無いため、健全であると言えます。

3 「まちの住みやすさ」「今後の定住意向」について、うかがいます。

問 10) あなたは、総合的にみて小牧市は住みよいまちだと思いますか。次の中からあてはまる番号を選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 住みよい | 2 どちらかといえば住みよい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |

問 11) あなたは、今後も小牧市で暮らしたいと思えますか。次の中からあてはまる番号を選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------|
| 1 今後も暮らしたい | ⇒問 12 へ |
| 2 暮らしたいとは思わない | ⇒問 13 へ |

問 12) 問 11 で「1 今後も暮らしたい」を選んだ方にうかがいます。次の中からあてはまる番号を3つまで選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 気軽に憩える公園や緑が多いから | 8 自慢できる資源や特産品が多いから |
| 2 医療・福祉サービスが充実しているから | 9 自然災害の危険性が低いから |
| 3 子育て支援サービスが充実しているから | 10 治安が良いから |
| 4 子どもの学校教育に満足しているから | 11 地域での人間関係が良いから |
| 5 公共交通や道路交通の便が良いから | 12 愛着があるから |
| 6 文化施設やスポーツ施設が多いから | 13 その他 |
| 7 日頃の買い物や外食が便利だから | () |

問 13) 問 11 で「2 暮らしたいとは思わない」を選んだ方にうかがいます。次の中からあてはまる番号を3つまで選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 気軽に憩える公園や緑が少ないから | 8 自慢できる資源や特産品が少ないから |
| 2 医療・福祉サービスが不十分だから | 9 自然災害の危険性が高いから |
| 3 子育て支援サービスが不十分だから | 10 治安が悪いから |
| 4 子どもの学校教育に不満があるから | 11 地域での人間関係が悪いから |
| 5 公共交通や道路交通が不便だから | 12 愛着がないから |
| 6 文化施設やスポーツ施設が少ないから | 13 その他 |
| 7 日頃の買い物や外食が不便だから | () |

4 「市がこれまで取り組んできた施策」に対する満足度について、うかがいます。

4-1 「安全・環境」に関する施策の満足度について、うかがいます。

問 14-1) 「防災」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

地域や学校など関係機関と連携した防災訓練や水防訓練、さまざまな機会を捉えた市民の防災意識の啓発、災害時に迅速に対応できる体制の強化などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 14-2) 「防災」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 防災訓練や水防訓練の実施	6 災害時における情報伝達能力の強化
2 小牧市版総合防災ガイドブックの配布	7 避難所における防災備蓄品の確保
3 他市町村や民間事業者との相互応援協定の締結	8 ミサイルなどに対する国民保護
4 地域防災計画の見直し	9 その他 ()
5 新型インフルエンザなど新感染症への対応	

問 15-1) 「生活安全」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

自主的な防犯活動に対する支援、安全に安心して共存できる交通環境の確保、市民が一人で不安や悩みを抱え込まないための相談体制の充実などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 15-2) 「生活安全」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 防犯教育などの防犯啓発活動	6 交通安全教育の実施
2 自主防犯パトロール団体への活動支援	7 各種相談窓口の周知
3 玄関錠の交換など自主的な防犯対策への支援	8 消費生活相談員による講座の開催
4 区や商店街による防犯カメラ等の設置への支援	9 空き家対策
5 「飲酒運転撲滅」などの交通安全啓発活動	10 その他 ()

問 16-1) 「消防・救急」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民の生命、身体および財産を災害や事故から守れるよう、消防・救急体制や火災予防対策の強化などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 16-2) 「消防・救急」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。

(○は2つまで)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 救急救命士の育成 | 5 住宅用火災警報器の設置及び点検の促進 |
| 2 消防団の強化 | 6 火災予防行事の開催 |
| 3 市民向け救命講習会の開催 | 7 その他 |
| 4 救急車の適正利用の啓発 | () |

問 17-1) 「環境」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

環境への負荷の少ない低炭素社会の実現、より多くの市民が身近な地域環境を良好な状態に保つための活動に主体的に取り組めるよう支援などを行っています。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 17-2) 「環境」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は

2つまで)

- | | |
|--|------------------|
| 1 市民環境講座など環境学習の実施 | 4 大気汚染などの監視測定 |
| 2 市有施設への新エネルギー（太陽光など）、省エネルギー（LEDなど）設備の導入 | 5 事業所との環境保全協定の締結 |
| 3 新エネルギー利用設備（太陽光、蓄電池など）の導入支援 | 6 その他 |
| | () |

問 18-1) 「ごみ対策」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民・事業者との適切な役割分担のもと、資源循環型社会の構築、ごみのポイ捨てなどがない快適で清潔な生活環境の確保などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 18-2) 「ごみ対策」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 生ごみの堆肥化、雑がみなどの再資源化	6 転入者や外国人市民へのごみの分別方法の周知
2 事業者に対するごみの排出指導	7 市民や事業者が実施する環境美化活動（ごみ拾い）への支援
3 PTA・子ども会などによる自主的な資源回収活動への支援	8 ごみ集積場の適正管理への支援
4 地域での資源回収機会の確保	9 その他 ()
5 ごみ分別方法の出前講座	

4-2 「保健・福祉」に関する施策の満足度について、うかがいます。

問 19-1) 「健康づくり」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民による主体的な健康づくりへの支援、病気の予防・早期発見・重症化予防、親子が心身健やかに共に育み合うための支援などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 19-2) 「健康づくり」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 健康づくりに関する相談や各種教室の開催	4 健康づくりの講座やイベントへの参加促進
2 がんをはじめとする各種検診の実施	5 こどもの発育や発達に応じた支援
3 保健連絡員による市民の健康づくり活動への支援	6 うつ病などに対するメンタルヘルス対策
	7 その他 ()

問 20-1) 「地域医療」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

地域の医療機関が機能に応じて役割を分担し、市民のだれもが個々の状況に応じた適切な医療を受けられるよう、地域医療の充実などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 20-2) 「地域医療」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 在宅医療に関する市民周知 | 5 市民が病院を選べる情報提供体制 |
| 2 市民病院の健全経営 | 6 医療・介護専門職（多職種）の連携 |
| 3 市民病院と他の病院・診療所との連携 | 7 その他 |
| 4 休日急病診療体制の整備 | () |

問 21-1) 「高齢者福祉」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

高齢者の社会参加と生きがいづくりへの支援や、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境づくりに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 21-2) 「高齢者福祉」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1 高齢者が社会参加（ボランティア、生涯学習など）しやすい環境の整備 | 4 高齢者の就労の場（機会）の確保 |
| 2 効果の高い介護予防事業の提供 | 5 高齢者の相談体制の充実 |
| 3 高齢者の見守り体制の強化 | 6 その他 |
| | () |

問 22-1) 「障がい者（児）福祉」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

障がいのある市民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、自立した生活を営み、安心して暮らすことができる環境づくりなどに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 22-2) 「障がい者（児）福祉」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 障がい者の権利を守る支援 | 5 障がいのある子と親に対する支援 |
| 2 相談支援体制の強化 | 6 グループホームなどの生活の場の充実 |
| 3 障がいのある人の就労や社会参加の支援 | 7 その他 |
| 4 障害福祉サービスの充実 | () |

問 23-1) 「地域福祉」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

地域住民みんなが支え合って共に生きるという共通認識を持ち、地域で安心して暮らせる環境・仕組みづくりなどに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 23-2) 「地域福祉」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 ボランティア意識の醸成に向けた福祉教育の充実	5 高齢者や障がい者など災害時に支援を必要とする人たちへの支援体制の充実
2 住民同士の話し合い(学び合い)の場の充実	6 地域福祉活動の支援
3 地域商品券に還元できるボランティアポイント制度の充実	7 地域における福祉活動の担い手の育成
4 地域で福祉活動を推進する組織の設立	8 その他 ()

問 24-1) 「保険・福祉医療」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

だれもが必要な医療・介護を安心して受けられるよう、保険制度の健全かつ安定的な運営と福祉医療の充実などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 24-2) 「保険・福祉医療」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 保険税納付の口座振替推進	6 介護事業所職員への研修支援
2 特定健診や疾病予防などの保健事業の推進	7 こども医療費の助成
3 後発(ジェネリック)医薬品の使用促進	8 障がいのある人や母子家庭、ひとり暮らし高齢者の医療費の助成
4 介護認定の迅速化	9 その他 ()
5 介護施設の整備	

4-3 「教育・子育て」に関する施策の満足度について、うかがいます。

問 25-1) 「学校教育」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

学校・家庭・地域との連携・協力のもと、知・徳・体の調和のとれた人格形成や、社会で自立して生きていくための基礎的な能力の育成などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 25-2) 「学校教育」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 通学路の安全対策の推進	10 複数の教員による児童生徒の理解度に応じた教育の推進
2 学校給食を通じた望ましい食習慣の習得	11 部活動への支援
3 学校給食の地産地消の推進	12 経済的理由により進学・就学が困難な児童生徒に対する経済的支援
4 食物アレルギーのある児童生徒への対応	13 ICT教育、情報モラル教育の推進
5 教職員に対する各種研修の実施	14 地域と連携した学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
6 小・中学校における英語指導の充実	15 職業体験などを通じて社会性を育む教育（キャリア教育）の推進
7 外国人児童生徒に対する日本語教育の充実	16 その他 ()
8 いじめ・不登校対策	
9 児童生徒の心を支える環境の整備	

問 26-1) 「子育て支援」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

子育てをしているだれもが、安心して子育てができる体制の強化や、こども自身が健やかに成長できる環境づくりなどに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 26-2) 「子育て支援」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援	9 一時保育や休日・延長保育等多様な保育サービスの充実
2 ひとり親家庭への経済的支援	10 保育園と地域住民との交流
3 児童虐待の防止への取り組み	11 私立幼稚園の利用料助成
4 こどもたちの夢へのチャレンジを応援する制度の充実	12 非行防止の街頭パトロールの強化
5 児童館など子育て支援拠点の機能強化	13 こども同士や地域の大人との交流の機会の充実
6 児童館での英語プログラムの充実	14 親子で参加できる体験活動事業の充実
7 保育園の低年齢児の受け入れ	15 妊娠・出産の悩みを抱える夫婦への支援
8 老朽化した園舎の改修	16 その他 ()

4-4 「文化・スポーツ」に関する施策の満足度について、うかがいます。

問 27-1) 「スポーツ」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

健康づくりの一環として、だれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツが楽しめるよう、スポーツを生活の中に取り入れる環境づくりなどに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 27-2) 「スポーツ」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 健康づくりなど気軽に楽しめるスポーツ活動の促進	6 スポーツ施設の環境設備や適切な管理・運営
2 世代や目的別に取り組むスポーツ教室などの機会増大	7 スポーツ指導者やスポーツ団体の育成・紹介制度の拡充
3 優秀なスポーツ選手の発掘・支援	8 スポーツ教室をはじめとするスポーツイベントやスポーツ施設などの情報提供
4 競技スポーツ大会の誘致による観戦機会の拡大	9 その他 ()
5 地域のスポーツクラブの活動促進	

問 28-1) 「文化振興」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

幅広い世代が自主的に文化芸術活動に取り組める環境づくりや、小牧固有の歴史や文化、伝統にふれあえる機会の充実などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 28-2) 「文化振興」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 多様な文化芸術を鑑賞する機会の確保	5 歴史・文化遺産の適切な保護
2 市民が活動成果を発表する機会の確保	6 小牧固有の歴史・文化遺産に触れられる機会の確保
3 市内に拠点を置く文化芸術団体活動への支援	7 その他 ()
4 こどもの頃から伝統文化や文化芸術活動を体験できる機会の確保	

問 29-1) 「生涯学習」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民一人ひとりが生涯にわたって、さまざまな学習活動に取り組めるよう、学習機会の提供や学習活動への支援、図書館サービスの充実などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 29-2) 「生涯学習」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 生涯学習活動への参加機会の確保	5 図書館での多種多様な資料の提供
2 学んだ成果を地域で活かせる仕組みの充実	6 小中学校への図書館司書の配置
3 生涯学習施設の計画的な整備	7 乳幼児向けの読み聞かせ会の開催
4 生涯学習に関連する団体の活動への支援	8 その他 ()

問 30-1) 「男女共同参画」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

男女共同参画意識の広報・啓発活動、あらゆる分野への男女共同参画の促進、男女共同参画を推進するための体制の充実などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 30-2) 「男女共同参画」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 男女共同参画に対する市民意識の把握	6 経済的に困難な女性の自立への支援
2 男女共同参画の学習機会の充実	7 女性からの相談体制の充実
3 性別によって役割を決める考え方から脱却するための啓発活動	8 男性が抱える悩み(育児や介護参加に対する周囲の理解など)への対応
4 男女共同参画普及員の地域への配置	9 こどもの頃からのキャリア教育の推進
5 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及啓発	10 その他 ()

4-5 「産業・交流」に関する施策の満足度について、うかがいます。

問 31-1) 「シティプロモーション」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

本市に「訪れたい人」が増えるよう、さまざまな地域資源を活用し、まちのブランド力の向上や、まちの魅力の市内外への発信などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 31-2) 「シティプロモーション」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 地域資源のブランド化の推進 | 5 魅力あるイベントやまつりの開催 |
| 2 各種媒体を活用した情報発信 | 6 中心市街地の活性化 |
| 3 地域資源を活用した観光事業の実施 | 7 姉妹都市や友好都市との交流の推進 |
| 4 近隣市町村を含めた広域的な観光地域づくりの推進 | 8 日本人市民と外国人市民の交流の推進 |
| | 9 その他
() |

問 32-1) 「農業」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民の農業に対する理解の促進、安定した農業経営と農業生産基盤の維持・向上への支援、優良な農地の保全などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 32-2) 「農業」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 新規就農者や農業後継者への補助制度や融資制度の情報提供 | 5 ため池整備などによる農業用水の安定的な確保 |
| 2 意欲のある農業者の発掘 | 6 直売所や朝市などの情報発信 |
| 3 「しのおかの桃」など市内農作物の高付加価値化の推進 | 7 イベントでの市内産農作物のPR |
| 4 鳥獣による農作物への被害防止 | 8 市民が農業と触れ合える機会の確保 |
| | 9 その他
() |

問 33-1) 「商工業」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

工業用地の整備と企業誘致、既存商工業の経営の支援、起業・創業希望者への支援、就職希望者や未就労者の就労への支援などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 33-2) 「商工業」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 新たな工業用地の確保	7 起業希望者への情報提供
2 航空宇宙産業分野の参入企業への支援	8 求人情報の提供や職業相談
3 企業立地促進のための支援	9 市内の中小企業で働く人の福利厚生支援
4 中小企業の負担軽減のための支援	10 その他
5 中小企業への助言等の経営支援	()
6 商店街や商業団体などが実施する事業への支援	

4-6 「都市基盤」に関する施策の満足度について、うかがいます。

問 34-1) 「市街地整備」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

名鉄小牧線沿線を中心に、より多くの市民が便利で快適に暮らせる生活空間の確保や、都市景観の保全などに取り組んでいます。

- 1 満足 2 まあ満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満
6 わからない・そもそも関心がない

問 34-2) 「市街地整備」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1 複数の交通手段が集結する都市の拠点における広場や道路の整備	3 コンパクトな都市構造への転換
2 土地区画整理事業による市街地の整備	4 その他
	()

問 35-1) 「都市交通」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

より効果的・効率的な公共交通ネットワークの形成、公共交通の利用の促進などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 35-2) 「都市交通」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1 「こまき巡回バス」のルート・ダイヤ・乗り継ぎ性の向上 | 3 乗合いバス事業者への運行経費の補助 |
| 2 持続的なサービス提供が可能となる運賃体系への見直し | 4 公共交通の利用促進のための啓発活動 |
| | 5 その他
() |

問 36-1) 「道路」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

歩行者、自転車、自動車など道路を利用するすべての人々が、安全・快適で円滑に移動できる道路空間の確保に取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 36-2) 「道路」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 幹線道路の整備の推進 | 4 老朽化した橋りょうの耐震補強工事の推進 |
| 2 通学路などの歩道の整備 | 5 その他
() |
| 3 照明灯などの交通安全施設の整備 | |

問 37-1) 「上水道」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民の暮らしや企業活動を支えるため、安全でおいしい水道水の安定供給や水道事業の健全経営などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 37-2) 「上水道」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 適切な水質管理 | 3 水道設備の適正な保守 |
| 2 配水管の耐震化 | 4 その他
() |

問 38-1) 「下水道」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

公共下水道の計画的な整備、耐用年数が経過した老朽管などの更新、公共下水道への接続の促進などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 38-2) 「下水道」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 公共下水道の計画的な整備の推進 | 3 公共下水道への接続促進 |
| 2 老朽管などの更新 | 4 その他
() |

問 39-1) 「河川・水路」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

水害が起こりにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に食い止めるため、浸水区域の解消や河川への雨水流出の抑制などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 39-2) 「河川・水路」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 河川水路・排水施設の機能維持	4 新たな雨水貯留施設の設置の推進
2 雨水排水施設の整備の推進	5 市民が行う雨水貯留槽設置への助成
3 市民が行う浸水防止対策への助成	6 その他 ()

問 40-1) 「公園・緑地・緑道」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民の緑化に対する意識啓発、安全で快適な公園の維持、公園・緑地・緑道の整備などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 40-2) 「公園・緑地・緑道」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1 市内の緑化推進	4 地域に根ざした公園・緑地・緑道の整備
2 市民との協働による公園の維持・管理の推進	5 その他 ()
3 老朽化した公園施設の補修	

問 41-1) 「住宅」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

安全・安心で災害に強い良質な住宅ストックの形成、市営住宅の適正な管理・運営などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 41-2) 「住宅」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 民間木造住宅の耐震化促進	5 高齢者、障がい者、子育て世帯などの福祉世帯の住戸確保
2 アスベストの除却促進	6 三世帯同居・近居住宅支援制度の充実
3 優良住宅に対する税制優遇措置の周知	7 空き家対策
4 市営住宅の適正な維持	8 その他 ()

4-7 「その他」の施策に関する満足度について、うかがいます。

問 42-1) 「行政サービス」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

行政サービスの受益者であり、負担者でもある市民の満足度を高められるよう、サービスの質の確保・向上などに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 42-2) 「行政サービス」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 手続きや相談など窓口サービスのワンストップ化(簡素化・迅速化の推進)	5 コンビニエンスストアやインターネットでの取扱いサービスの増加など利便性の向上
2 平日時間外や土日の窓口サービスの充実	6 職員の窓口対応における接遇能力の向上
3 支所(市民センター)の窓口サービスの充実	7 その他 ()
4 電話などのお問い合わせへの迅速かつ分かりやすい対応	

問 43-1) 「地域協働」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市民と行政が適切な役割分担のもと、お互いを尊重しながら、同じ目的・目標を共有し、その達成に向け、協働によるまちづくりに取り組んでいます。

- | | | | | |
|-------------------|--------|-------|--------|------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 ふつう | 4 やや不満 | 5 不満 |
| 6 わからない・そもそも関心がない | | | | |

問 43-2) 「地域協働」について、今後、より充実を図るべき取組は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1 市民参加の機会を増やす仕組みづくり | 4 区(自治会)への支援 |
| 2 企業や大学と行政との連携協力 | 5 市民が行う自主的な社会貢献活動の育成支援 |
| 3 地域で助け合い・支え合うための「地域協議会」設立・運営への支援 | 6 その他
() |

最後に、小牧市の施策や事業、提供している行政サービス、地域の課題など、市政全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

まちづくり（市民アンケート）調査報告書
平成 30 年 11 月

編集・発行：小牧市市長公室秘書政策課

〒485-8650

愛知県小牧市堀の内三丁目 1 番地

TEL 0568-72-2101（代表）